

第115図 遺構外出土石器(9)

### 石篋(第108図1～9)

第108図1はきわめて小型であるが表裏両面に二次加工が施され刃部も作出されている。2・3・5は表裏両面の全面に二次加工が施され素材面は残っていない。刃部は短辺の一端に作出されている。4は打面調整剥離技法による整形である。6・7は裏面中央に素材面が残る。7は再生加工により刃部が斜めになったものと推測する。8・9は断面形が蒲鋒形である。8は裏面に全く二次加工を施さず、9基部と刃部のみを調整している。

### トランシェ様石器(第107図10)

第107図10は横長剥片を素材とし、両側縁に表裏両面から二次加工を施して撥形に整形している。刃部は素材剥片の縁辺をそのまま使用している。

### 縦型石匙(第109図1～3)

第109図1は打面調整剥離技法による整形で表面右側縁が刃部である。先端が全体に磨滅しており、側縁の刃部とともに先端を大型の石錐として使用したことが分かる。2は表面左側縁が刃部、右側縁は刃つぶしの二次加工が施されている。3は小型の横長剥片の側縁につまみを作成し、他の側縁から末端側全面に小さな二次加工を施して刃部の形状を整えたものである。

### 横型石匙(第109図4～8)

第109図4はつまみの対辺が刃部で、裏面は植物の切削によると思われる光沢が著しい。5はつまみの対辺のほか、表面左側縁に残る素材剥片の鋭利な縁辺にも刃こぼれと推測する微小剥離痕がある。6・7はつまみの対辺の刃部に刃こぼれの微小剥離痕がある。8は黒曜石製で比較的大きい突起状のつまみがあり、その対辺が刃部である。

### スクレイパー(第109図9・10、第110図1～6、第111図1～3・5)

素材剥片の末端に二次加工を施し急角度の凸刃を作成した石器で、用途は搔器と推定する。素材剥片の打面を残し表裏面と周縁に二次加工を施すもの(第109図9・10、第110図1～3)、素材剥片の打面側を折り去り半円形ないし馬蹄形に整形するもの(第110図4・5、第111図1～3)、その他(第110図6・第111図5)に大別できる。

第109図9は縦長剥片を素材とし、表面全体に二次加工を施して左右対称に整形し、ヒンジ気味の末端に刃部を作成している。10は縦長剥片の末端左側の角に刃部を作成し、右側縁には刃つぶしの二次加工を施している。第110図1は大型で板状の縦長剥片を素材とし、末端に刃部を作成し、左側縁にも整形の二次加工が施されている。2・3はともに側縁全体に二次加工を施して整形している。素材剥片の厚さに相当の差があるが、刃部の角度は差がほとんどない。4は打面側に二次加工を施して先端部を作成している。第110図5・第111図1～3は打面側を折り去った折れ面には二次加工を施しておらず鋭い面がそのまま残っている。5は小ぶりの石核を素材とし、フェザーの縁辺に二次加工を施して急角度の刃部を作成している。

### 不定形石器(第111図4・6、第112図1・3～5)

素材剥片に二次加工を施し刃部を作成したもの、素材剥片の鋭い縁辺を刃部としその他の縁辺や表裏面に刃つぶしや整形のための二次加工を施したものである。用途は搔器、削器、カッター(ナイフ)が考えられる。

第111図4は縦長剥片の両側縁に二次加工を施し左右対称に整形している。刃部は表面左側縁であ

る。6は打面を折り去り表面左側縁に二次加工を施して撥型に整形し刃部を作出している。第112図1は先端が開く撥型に整形されている。刃部は末端側または表面左側縁である。3は末端側に刃部を作出し、打面を折り去った折れ面にも刃つぶしの二次加工を施している。4は横長剥片の末端側の一部のみに小規模な二次加工を施して刃部を作出している。5は素材剥片の末端側を折り去り、両側縁に二次加工を施している。刃部は左側縁で、右側縁は刃つぶしである。

#### 磨製石斧(第112図6～9、第113図1～3)

第112図8はきわめて小型で通常の斧としては実用性が疑わしい。6・7・9は比較的小型であるが刃部に刃こぼれがあり実用品と考える。第113図1～3は大型で、2は刃部に刃こぼれがあり、3は刃部が大きく折損している。

#### 礫器(第113図4・5)

第113図4は小型で板状の円礫を素材とし、周縁に二次加工を施して急角度の刃部を作出している。素材礫の凹凸に加えて刃部以外の側縁にも二次加工を施して握りやすい凹凸を作出したものと推測する。5は縦長で板状の円礫を素材とし、一端に表裏両面から二次加工を施して刃部を作出している。刃部以外の整形加工はない。

#### 石錘(第113図6)

第113図6は楕円形で板状の円礫の3か所に打ち欠きがある。

#### 半円状扁平打製石器(第113図7、第114図1)

第113図7は周縁に二次加工痕があるが磨り面はない。第114図1は直辺の一部に磨り面がある。

#### 石皿(第114図4)

推定平面形は楕円形で、内面は周縁が高く中央部がなだらかに低くなる。裏面も周縁全体が土手状に中央部より高くなっている。中央部の厚さは約1cmである。脚はない。表裏両面に幅約3cmの帯状整形痕が残っている。

#### 凹石(第114図2・3・5～8)

素材礫の形状は円形、楕円形、方形のものがある。表裏両面に1～3個の敲打による凹部がある。

#### 垂飾品(第112図2)

黒曜石の剥片を素材とし、表裏両面二次加工を施して小型の薄い円盤状に整形している。1か所につまみ状の突起があり垂飾品と推定した。

#### 岩版(第115図1)

第115図1は三角形の岩版の下半部である。軟質の凝灰岩の表裏両面に中心孔から上部に延びる中心線が描かれている。

#### 円盤状石製品(第115図2)

第115図2は凝灰岩製で全面を研磨して楕円形の板状に整形している。

#### 砥石(第115図5・6)

第115図5は礫素材の仕上げ砥である。全面に使用痕があるが、特に裏面のほとんどと左側面がよく使用されている。上部に紐通しの孔が穿たれている。6も仕上げ砥である。本来は角柱状の形状であったと推測する。全面に使用痕がある。長軸の片側が摩耗し薄くなっている。

### 基石(第115図7)

第115図7は淡色で薄い円盤状の小礫である。白石と推定する。

### 有孔礫・円盤状礫(第115図3・4)

いずれも自然礫である。縄文時代の搬入礫である可能性を考慮して選択し掲載した。

## 3 陶磁器(第116～118図)

### 珠洲系陶器(第116・117図)

第116図1～8、第117図1～5は片口鉢である。第117図4・5はおろし目がないタイプである。第117図6は壺T種である。第116図4・5・8は山側調査区北端の旧河道の堆積土中から出土した。4は珠洲系陶器編年の第Ⅳ期(14世紀前半)、5は第Ⅴ期(15世紀前半)と推定する。第116図6・7、第117図1・3・5は、山側調査区南部のS B6314・6315掘立柱建物跡付近から出土した。第116図6は第Ⅳ期(14世紀前半)、7は内削ぎ状の口唇部に波状文が描かれており第Ⅵ期(15世紀後半)、第117図1は第Ⅲ期から第Ⅳ期(13世紀後半～14世紀前半)、3は第Ⅴ期から第Ⅵ期(15世紀代)と推定する。第117図2・4は山側調査区中央部の小埋没谷の低地に堆積したⅡ層中から出土した。この区域は柱根や礎板が残る柱穴様ピットが分布し、北宋銭、明銭、和鏡が出土した。2は第Ⅴ期以降(15世紀以降)、5は第Ⅳ期(14世紀前半)と推定する。第117図6は川側調査区北端部低地から出土した。

### その他の陶磁器(第118図)

第118図4・15は青磁で15世紀代と推定する。13も青磁の小片である。3・5・10・11・12は灰釉で16世紀代と推定する。近世陶磁器は17世紀前半のものではなく、9が17世紀後半の唐津、7・14が肥前Ⅲ期、2・6・8は肥前Ⅳ期と推定する。16は須恵器である。

## 4 金属製品(第119図・第120図)

### 釘(第119図1～4・6～8)

第119図1～4・6～8はいずれも鉄製の角釘で、1・4には平坦な頂部、7には先端部が残る。

### 刀子(第119図5)

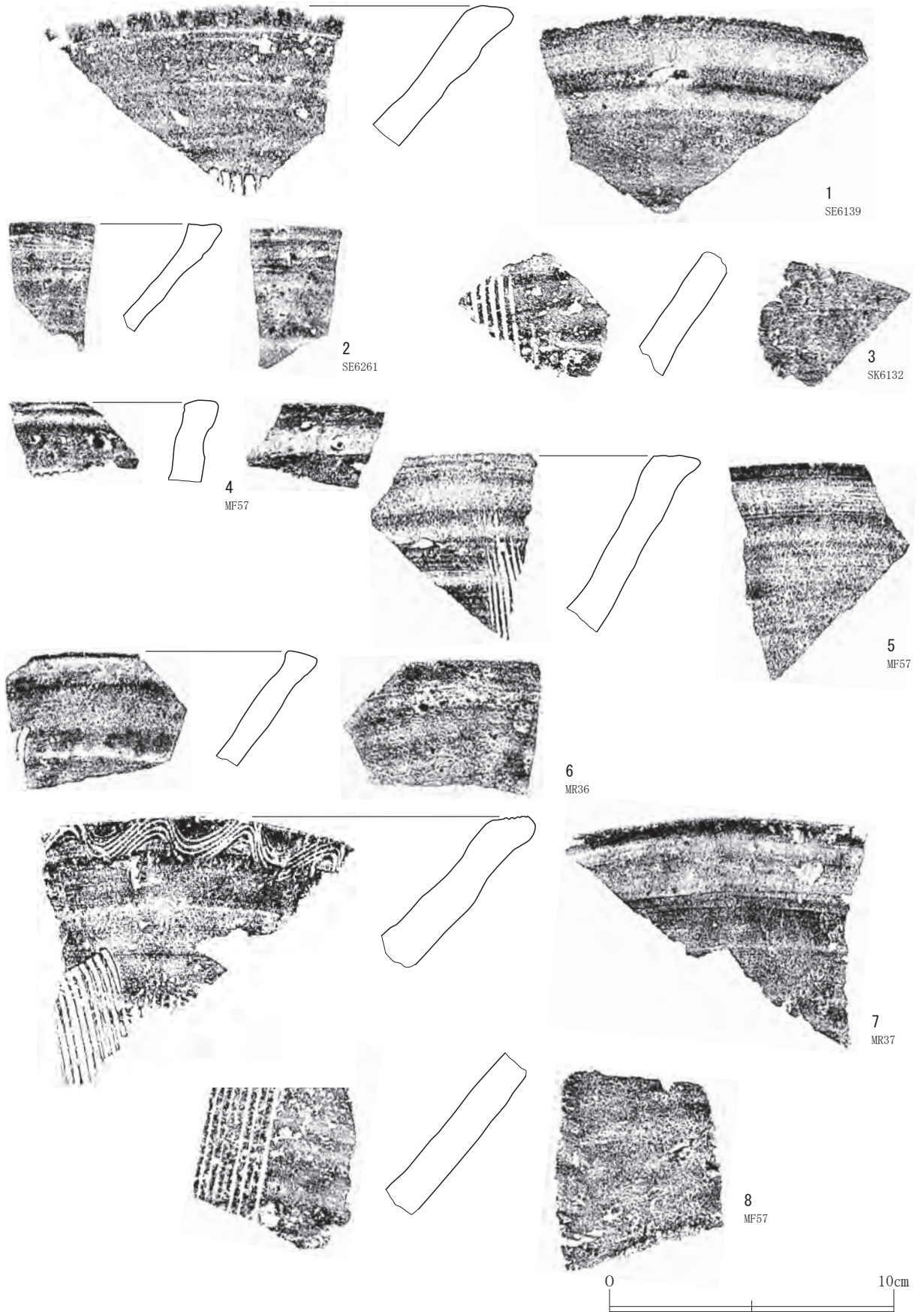
第119図5は刀子と推定したが、刃部の幅が広いので、鉄鎌の可能性もある。

### 筭(第119図10)

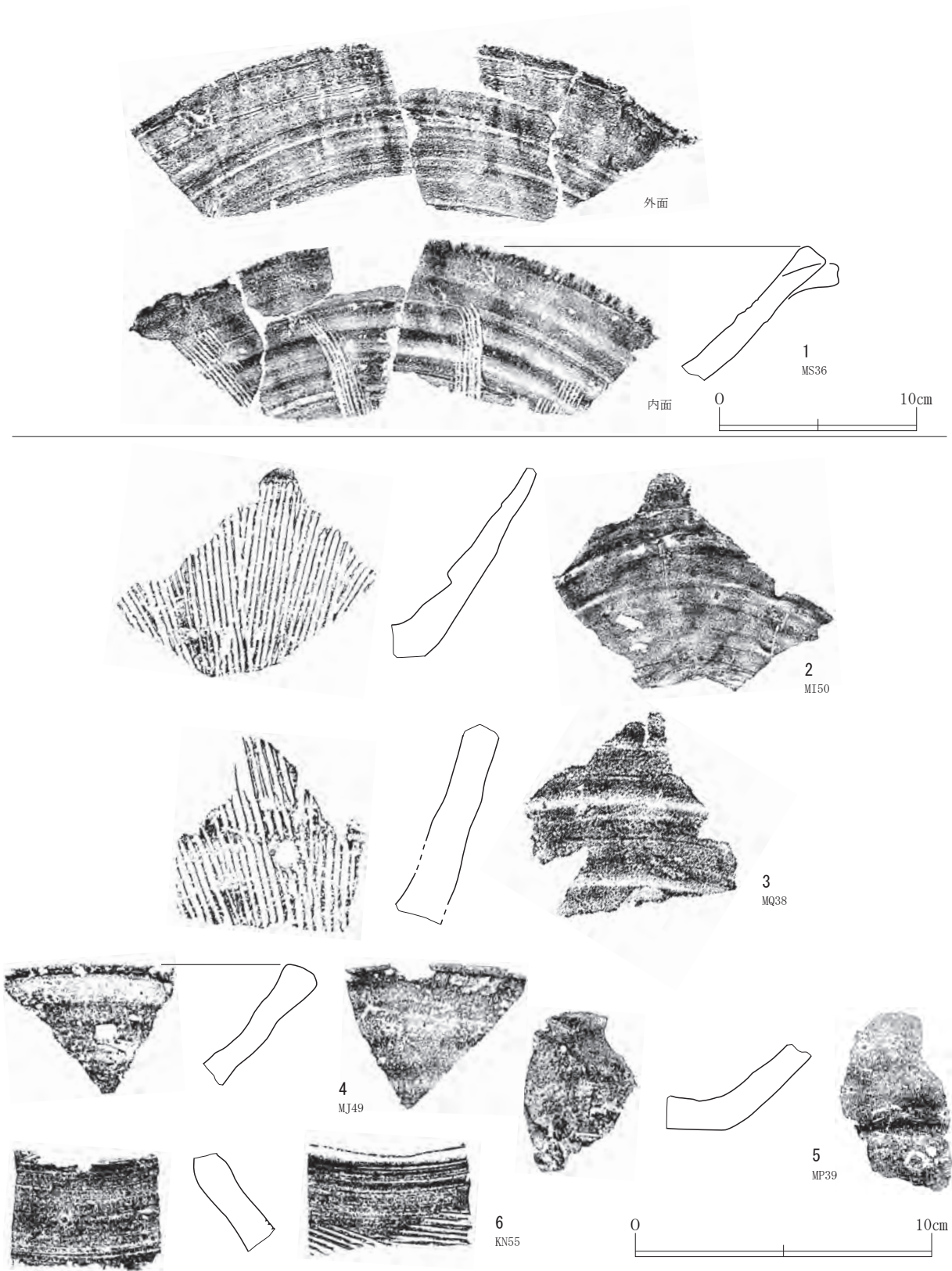
第119図10は山側調査区北端の旧河道の堆積土中から出土した樋定規図筭である。上部約3分の1付近で大きく折れ曲がっている。復元長17.3cm(約5寸7分)、幅約1.1cm(約3分5厘)、色調は暗褐色である。耳搔きはやや長めの逆さ耳で、肩はなだらかに下り、胴から雉子股を経て丸みを帯びる穂先まで、筭の両側縁は屈曲がなく、直線的に細くなる形態である。胴は魚子地の中央に樋定規図を肉合彫りで描出する。毛彫りの蕨手から眉形は左右の対称形がやや崩れている。

### 和鏡(第119図11)

第119図11は山側調査区中央部の小埋没谷の低地に堆積した第Ⅱ層中から出土した。遠山形素鈕、管状式二重圈、直角式中縁の円鏡である。径7.6cm、厚さ3mm、色調は暗赤褐色である。文様は左右相対の竹一対で、葉の先端が界圈上から外区に及んでいる。竹特有の節の表現はないが、全体の形状、枝葉のつき方から竹と判断した。内区中央上部に五三桐紋が添加されている。



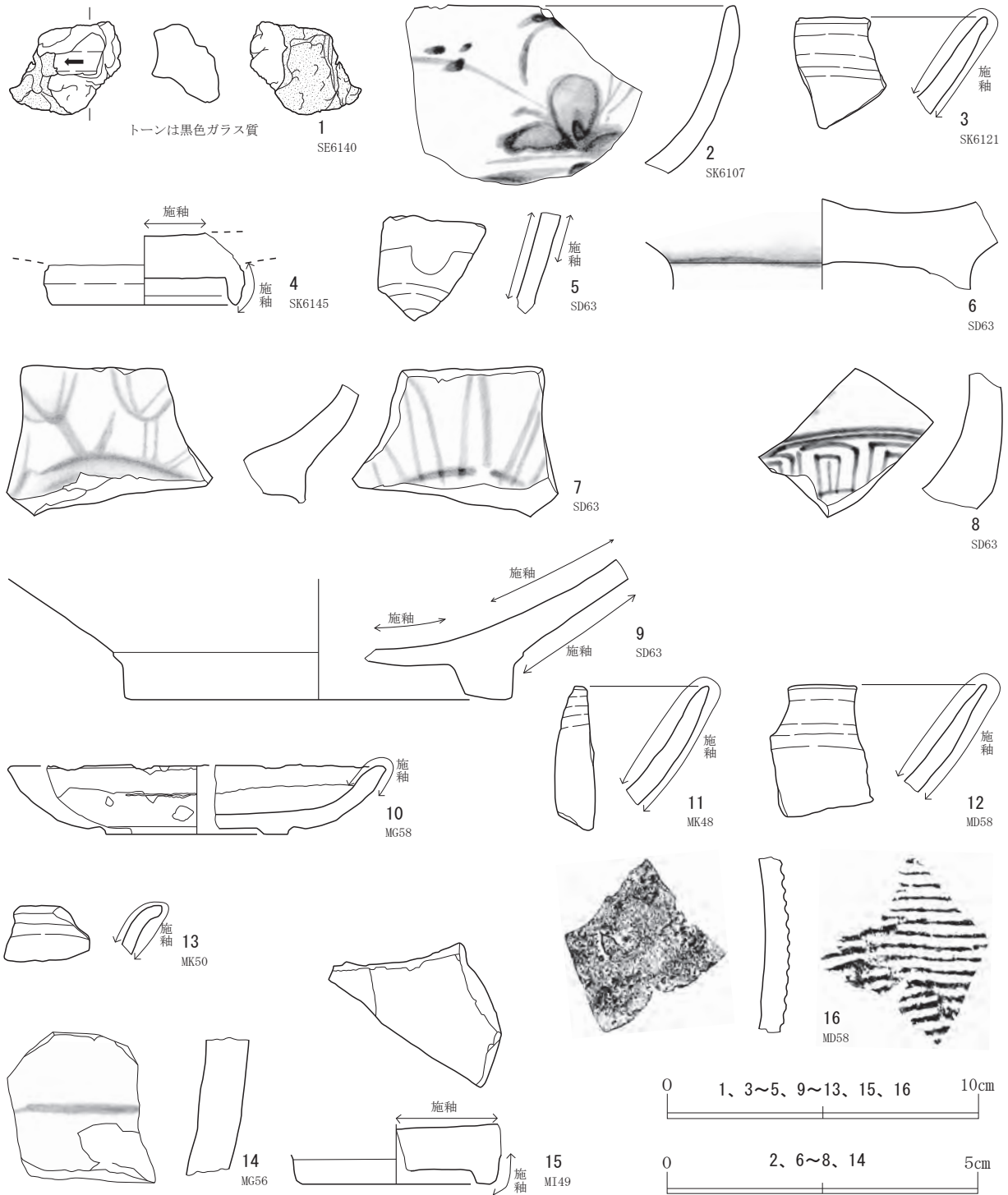
第116圖 遺構内外出土珠洲系陶器(1)



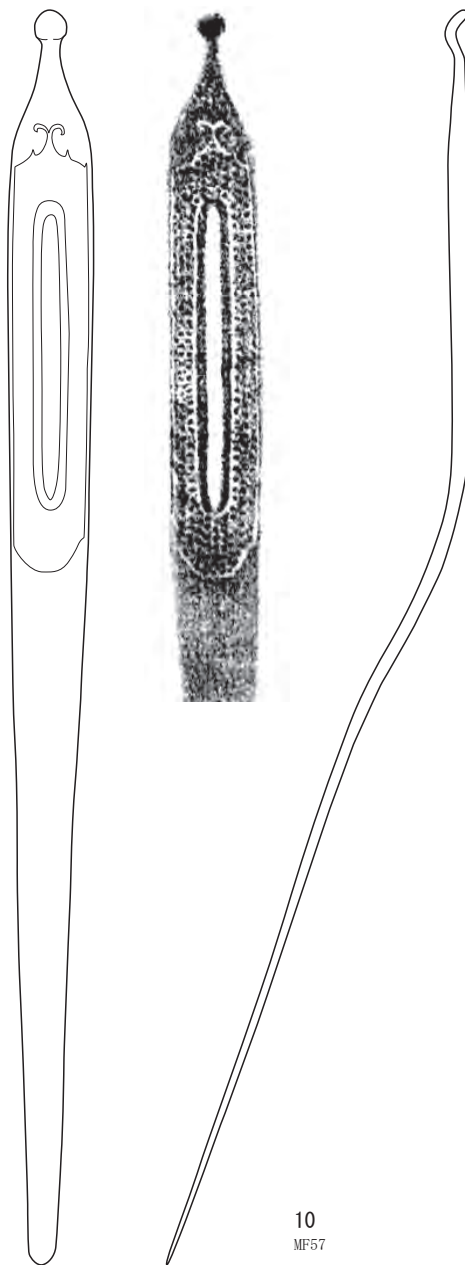
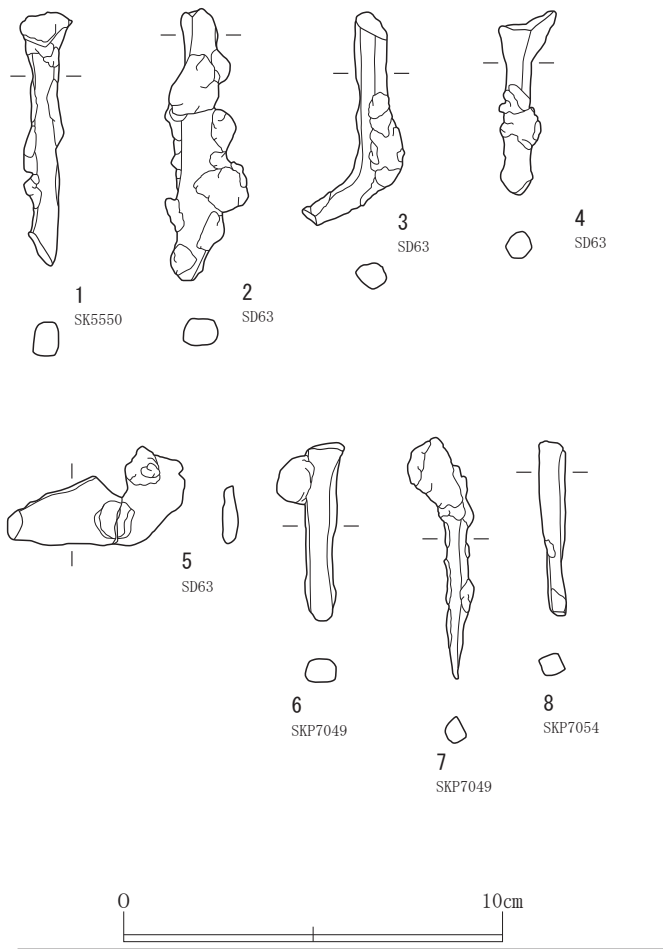
第117図 遺構内外出土珠洲系陶器(2)

銭貨(第120図)

第120図5～140は北宋銭である。いずれも直径、重量、文字や郭の潰れ具合から鋳写しの模鑄銭と推定する。9は上部外縁にわずかな凸部が認められる。湯道に続く堰の痕跡と考える。15～17は明銭である。15・16は山側調査区中央部の小埋没谷の低地に堆積したII層中から重なって出土した。18～22は寛永通宝である。22は裏面に波形のある四文銭である。

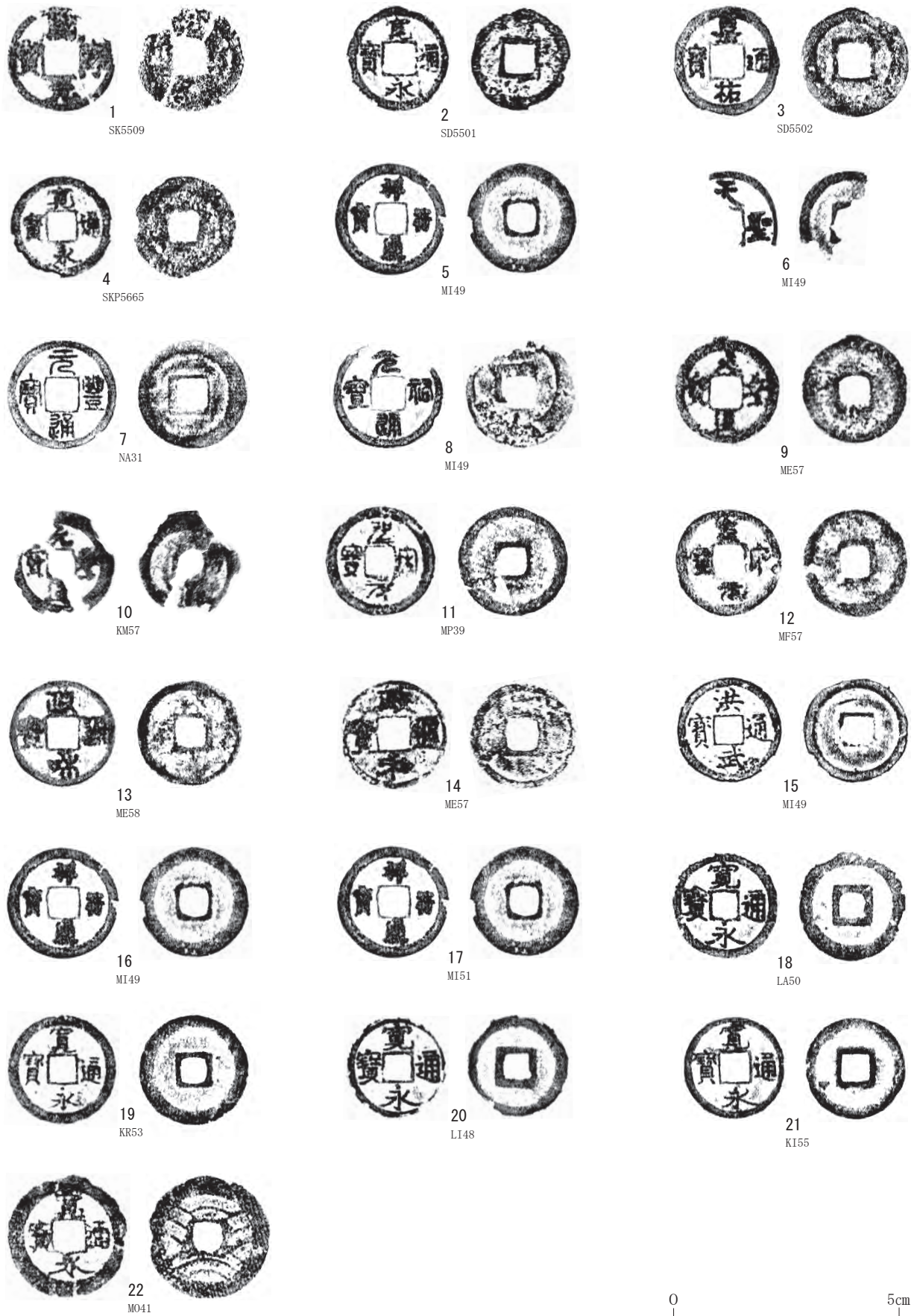


第118図 遺構内外出土陶磁器



第119図 遺構内外出土金属製品





第120圖 遺構内外出土錢貨



第6表 土坑一覽表(1)

遺構番号	調査区	グリッド	規模(cm)			掲載遺物	重複遺構	時代・時期	性格	備考
			長軸	短軸	深さ					
SK5001	川側	LA50・51、LB50・51	144	114	35	第40図1、第53図1・2		縄文前	土坑墓	
SK5002	川側	LA・LB50	88	86	98	第40図2		中世	大型柱穴	
SK5006	川側	LA・LB48	112	108	29	第40図3		縄文晩		
SK5007	川側	LA49	140	94	88	第40図4～6、第53図3・4		中世	大型柱穴	
SK5008	川側	LD・LE47	100	48	92			中世	大型柱穴	
SK5009	川側	LE47	81	79	68	第40図7、第53図5・6		中世	大型柱穴	
SK5012	川側	LD47・48	55	48	40			中世	大型柱穴	
SK5013	川側	LG47	115	98	18	第40図8		縄文前	土坑墓	
SK5014	川側	LG48	100	94	18			縄文前	土坑墓	
SK5030	川側	LH・LI47	131	118	32	第40図9、第53図7		縄文前	土坑墓	
SK5035	川側	LJ46	76	74	36			縄文		
SK5037	川側	LL44・45	57	52	7					
SK5038	川側	LL44	116	107	8					
SK5039	川側	LK・LL44	114	104	6					
SK5040	川側	LK43	180	176	34	第40図10～14、第54図1		縄文後	土坑墓	
SK5041	川側	LL42・43	96	92	10					
SK5042	川側	LL41	85	80	10		SK5043→SK5042	縄文後	土坑墓	
SK5043	川側	LL41	114	112	8		SK5043→SK5042	縄文後	土坑墓	
SK5044	川側	LL41・42	125	115	17	第54図2		縄文	土坑墓	
SK5045	川側	LM42	106	99	14					
SK5046	川側	LM・LN42	92	92	30			縄文後	土坑墓	
SK5047	川側	LL・LM40	104	102	38	第40図15・16	SI5083→SK5047	縄文後	土坑墓	
SK5048	川側	LL40	119	118	32			縄文後	土坑墓	
SK5049	川側	LM40・41	86	82	10					
SK5050	川側	LL40	100	86	20			縄文後	土坑墓	
SK5051	川側	LN40	82	69	6					
SK5053	川側	LM・LN39	100	(98)	21	第40図17		縄文後	土坑墓	
SK5054	川側	LM39	73	68	14					
SK5055	川側	LM39	124	105	76		SI5083・SK5056→SK5055	中世	大型柱穴	
SK5056	川側	LM39	120	114	34	第41図1	SK5056→SK5055、SI5083・SK5078→SK5056	縄文後	土坑墓	
SK5057	川側	LM38・39、LN38・39	210	146	42	第41図2～7	SI5083→SK5057	縄文後	土坑墓	
SK5059	川側	LN39	83	80	16	第41図8		縄文後	土坑墓	
SK5070	川側	LN・LO43	84	73	17			縄文後	土坑墓	
SK5071	川側	LK40	108	102	56	第41図9～11、第53図8、第54図3		縄文後	土坑墓	
SK5072	川側	LJ40	120	103	56	第41図12・13		縄文後	土坑墓	
SK5074	川側	LB48	108	84	30					
SK5075	川側	LJ41	137	92	26					
SK5076	川側	LL39、LM38・39	284	196	57	第42図1・2	SI5083→SK5076、SK5076→SK5078	縄文後	土坑墓	
SK5078	川側	LM39	122	113	21		SK5078→SK5056、SK5076→SK5078	縄文後	土坑墓	
SK5079	川側	LN38	116	114	23					
SK5081	川側	LO37	137	(120)	46	第54図4・5	SK5081→SI5073	縄文中		
SK5082	川側	LN・LO37	152	(114)	50	第42図3	SK5082→SI5073	縄文後	土坑墓	
SK5085	川側	LI43	66	58	48		SK5085→SI5060	縄文中	柱穴	
SK5086	川側	LI43	63	62	55			縄文中	柱穴	
SK5087	川側	LH・LI44	80	74	36			縄文中	柱穴	
SK5088	川側	LH44	68	60	68			縄文中	柱穴	
SK5103	川側	KP・KO55	114	106	40	第42図4		中世	土坑墓	
SK5104	川側	KO55・56	114	94	16			中世	土坑墓	
SK5105	川側	KO55	92	90	26			中世	土坑墓	焼骨
SK5106	川側	KN55・56	120	114	36			中世	土坑墓	
SK5107	川側	KO56	78	78	28		SK5113→SK5107、SK5107→SKP7578・5903・5907	中世	土坑墓	
SK5109	川側	KO56・57	84	74	16		SKP5860→SK5109	中世	土坑墓	
SK5110	川側	KL58	100	84	30		SK5110→SKP5729・5731	縄文前	土坑墓	
SK5111	川側	KK59	84	82	30		SK5111→SK5154	中世	土坑墓	
SK5113	川側	KO56	(58)	52	13		SK5113→SK5107	中世	土坑墓	
SK5114	川側	KO55	66	60	13			中世	土坑墓	
SK5115	川側	KO55	88	84	16			中世	土坑墓	
SK5116	川側	KN55	100	93	26			中世	土坑墓	
SK5117	川側	KP61	96	72	13		SK5117→SKP7580	中世	土坑墓	
SK5124	川側	KO56	(116)	95	14			中世	土坑墓	
SK5127	川側	KO59	(80)	72	16		SK5127→SKP5493	中世	土坑墓	
SK5128	川側	KO59	38	32	24			中世		
SK5131	川側	KP59	110	(102)	31		SKP5704→SK5131	中世	土坑墓	
SK5132	川側	KN55	88	66	26			中世	土坑墓	
SK5133	川側	KO・KP59	(112)	94	20		SK5133→SKP7581	中世	土坑墓	
SK5134	川側	KP59	74	(64)	12			中世	土坑墓	
SK5135	川側	KN・KO56	128	66	34			中世	土坑墓	
SK5136	川側	KO58	126	(90)	9		SK5136→SKP5782・5783・5786・5787	中世	土坑墓	
SK5137	川側	KO57・58	94	62	10			中世	土坑墓	
SK5138	川側	KP59	48	40	11			中世	土坑墓	焼骨
SK5139	川側	KN58	—	—	20		SK5140・5141→SK5139	中世		
SK5140	川側	KN58	—	—	18		SK5140→SK5139・SKP5936	中世		
SK5141	川側	KN58	—	—	22		SK5141→SK5139	中世		
SK5144	川側	KM57	64	52	16					
SK5146	川側	KO58	96	74	28			中世	土坑墓	
SK5147	川側	KO58	78	58	8		SK5147→SKP7528	中世	土坑墓	
SK5148	川側	KN59	86	58	10			中世	土坑墓	
SK5149	川側	KN59	(98)	92	34		SK5149→SKP5439・5440	中世	土坑墓	
SK5153	川側	KN58	92	(82)	32		SK5153→SKP5940・7529・7530	中世	土坑墓	
SK5154	川側	KK59	80	64	20		SK5111→SK5154	中世	土坑墓	
SK5509	川側	LD・LE62	164	106	25			中世	土坑墓	銭貨

第4章 調査の記録

第6表 土坑一覧表(2)

遺構番号	調査区	グリッド	規模(cm)			掲載遺物	重複遺構	時代・時期	性格	備考
			長軸	短軸	深さ					
SK5523	川側	LF 57	64	42	20			中世	土坑墓	焼骨
SK5525	川側	LG 58	88	49	44		SK5525→SKP 7116	中世	土坑墓	焼骨
SK5529	川側	LG 57	37	36	12			中世	土坑墓	焼骨
SK5531	川側	LC 61	(58)	—	28		SK5531→SKP 5664			
SK5537	川側	LF 59・60	154	136	56	第42図 6～8		弥生	土坑墓	
SK5539	川側	LF 57	62	49	22		SK5541→SK5539	中世	土坑墓	焼骨
SK5540	川側	LF 57	34	26	6			中世	土坑墓	焼骨
SK5541	川側	LE・LF 57	(76)	44	20		SK5541→SK5539	中世	土坑墓	焼骨
SK5543	川側	LF・LG 58	154	84	90		SK5551→SK5543	中世	大型柱穴	
SK5549	川側	LF 58	80	52	26			中世	土坑墓	
SK5550	川側	LF 58	80	54	34		SK5562→SK5550、SK5550→SKP 5678	中世	土坑墓	
SK5551	川側	LF・LG 58	76	(50)	36		SK5551→SKP 5543	中世		
SK5552	川側	LF 58	96	80	48	第54図 11	SK5561・5567→SK5552、SK5552→SKP 5681	中世	土坑墓	
SK5553	川側	LF 58	86	76	13		SK5567→SK5553、SK5553→SKP 5679・5688	中世	土坑墓	
SK5554	川側	LF 58	144	65	63	第42図 9	SN5513→SK5554	中世	大型柱穴	スロープ
SK5555	川側	LF 58	78	33	8		SK5567→SK5555			
SK5556	川側	LH・LI 59	86	72	10			中世	土坑墓	
SK5557	川側	LG・LH 59	88	86	9			中世	土坑墓	
SK5561	川側	LF 58	(62)	—	6		SK5561→SK5552・SKP 5681、SK5567→SK5561	中世	土坑墓	
SK5562	川側	LF 58	100	80	66		SK5562→SK5550・SKP 7004	中世	大型柱穴	
SK5564	川側	LF 60・61、LG 60	186	92	86			中世	大型柱穴	スロープ
SK5565	川側	LF 60	152	140	42	第42図 10・11	SKP 7108→SK5565	縄文中	土坑墓	
SK5566	川側	LF 62	106	75	24		SK5566→SK5509、SKP 7085→SK5566	中世	土坑墓	
SK5567	川側	LF 58	207	195	28		SK5567→SK5552・5553・5555・5561・SKP 5679・5681・5685・5688			
SK5568	川側	LH 61	77	67	29		S I 5522→SK5568	中世	土坑墓	
SK6010	山側	MP 38	86	74	26		SK6058→SK6010	中世		
SK6050	山側	MP 39	118	98	24			中世		
SK6053	山側	MO 40	76	66	16					
SK6056	山側	MO 40・41	96	79	13		SE 6055→SK6056	中世		
SK6058	山側	MP・MO 38	146	112	28		SK6058→SK6010	中世		
SK6059	山側	MP 38	118	70	22					
SK6060	山側	MQ 38	62	—	12			中世		
SK6103	山側	MF・MG 55	132	112	5			中世		
SK6104	山側	MG 55	117	85	10			中世		
SK6106	山側	MH 53	73	46	16		SK6106→SKP 6145	中世		
SK6107	山側	MH 53	130	108	20		SK6107→SKP 6410、SK6107→SKP 6414			
SK6108	山側	MI 53	78	78	4		SK6108→SKP 6414	中世		
SK6109	山側	MH 52	93	92	13		SKP 6409→SK6109	中世	土坑墓	
SK6110	山側	MG 53	100	40	36		SB 6144P5・SKP 6703→SK6110			
SK6111	山側	MG・MH 55	109	103	11			中世		
SK6112	山側	MG 53	98	74	12					
SK6113	山側	MI 53	86	—	10			中世		
SK6114	山側	MI 53	98	94	16			中世	土坑墓	
SK6115	山側	MI・MJ 53	(90)	(80)	9			中世		
SK6118	山側	MJ 52	62	56	8			中世		
SK6119	山側	MJ 51	117	106	12			中世	土坑墓	
SK6120	山側	MJ 51	88	84	8			中世		
SK6121	山側	MJ 51	186	116	24			中世	土坑墓	
SK6122	山側	MJ 51・52	114	100	30			中世	土坑墓	
SK6124	山側	MJ 51・52、MK 50	196	158	8			中世	土坑墓	焼骨
SK6125	山側	MJ 51	129	87	7			中世		
SK6126	山側	MK・ML 49	129	87	7			中世		
SK6128	山側	MH 50	90	88	20			中世		
SK6130	山側	MI 50・51	131	113	17			中世	土坑墓	
SK6131	山側	MI 50	141	135	20			中世	土坑墓	
SK6132	山側	MI 52	84	72	12			中世		粘土塊
SK6133	山側	MI 50	112	72	16			中世		
SK6134	山側	MI 53	58	36	40			中世	土坑墓	焼骨
SK6135	山側	MH・MI 53	(100)	(90)	10			中世		
SK6137	山側	MK 45・46	125	118	24			中世	土坑墓	
SK6145	山側	MJ 52	148	102	26			中世	土坑墓	
SK6146	山側	MJ・MI 51	102	68	8			中世		
SK6147	山側	MJ・MI 51	76	48	10			中世		
SK6149	山側	MK 50・51	116	104	12			中世	土坑墓	
SK6150	山側	MK 51	(95)	77	10		SN 6123→SK6150、SK6152→SK6151→SK6150、SKP 6702→SK6151→SK6150	中世		
SK6151	山側	MK 51	(90)	56	13		SK6152→SK6151→SK6150、SKP 6702→SK6151→SK6150	中世		
SK6152	山側	MK 51	(72)	(60)	10		SKP 6152→SK6151→SK6150、SK6152→SKP 6472	中世		
SK6153	山側	MK 51	(85)	62	6		SK6153→SK6121	中世		
SK6155	山側	MK 52・53	(200)	(170)	12		SKP 6701→SK6156→SK6155	中世		
SK6156	山側	MK 52・53	(115)	101	14		SKP 6701→SK6156→SK6155	中世		
SK6157	山側	MJ 53	86	84	10			中世		
SK6158	山側	MJ 53	66	54	8			中世		
SK6159	山側	MJ 53	(120)	110	22		SK6159→SK6160	中世	土坑墓	
SK6160	山側	MJ 53	103	(105)	20		SK6159→SK6160	中世		
SK6162	山側	MK 52	90	84	8			中世		
SK6165	山側	MK 48	63	51	11			中世		
SK6166	山側	MK 49	84	82	12			中世		
SK6167	山側	MK 49	72	68	8			中世		
SK6171	山側	MK 51	(90)	57	13			中世		
SK6172	山側	MK・MJ 51	—	—	—			中世		
SK6173	山側	MH 51	48	40	12			中世		

第7表 柱穴様ピット一覧表(1)

SKP番号	グリッド	深さ	底面標高
5003	LC52	13.2	150.930
5004	LB52	10.6	151.090
5005	LB52	7.7	151.132
5010	LB52	4.9	151.144
5026	LI47	64.4	149.921
5027	LI46・47	35.5	150.163
5028	LI46	34.5	150.184
5029	LH47	40.8	150.102
5061	LL45	9.1	150.401
5062	LL45	8.0	150.416
5063	LL45	6.1	150.439
5064	LL45	8.6	150.425
5065	LM44	30.3	150.192
5066	LM44	9.0	150.400
5067	LM44	27.6	150.241
5068	LM44	10.7	150.329
5069	LN43	17.3	150.248
5201	KQ60・61	8.4	149.109
5202	KP・KQ61	82.9	149.134
5203	KP・KQ61	6.9	149.208
5204	KP61	3.4	149.290
5205	KP61	5.8	149.270
5206	KP61	10.8	149.226
5207	KP61	2.3	149.311
5208	KP61	17.4	149.147
5209	KP61	4.6	149.268
5210	KP61	13.7	149.241
5211	KP61	32.2	149.010
5212	KP61	10.4	149.324
5213	KP61	21.1	149.235
5214	KP61	8.3	149.353
5215	KP61	8.9	149.348
5216	KP61	13.0	149.300
5218	KP61	16.8	149.239
5219	KP61	6.0	149.327
5220	KP61	12.6	149.258
5221	KP61	11.7	149.287
5222	KP61	17.2	149.190
5223	KP61	25.9	149.171
5224	KP61	16.7	149.251
5225	KP61	23.4	149.183
5226	KP61	14.7	149.254
5227	KP61	22.0	149.198
5228	KP61	14.6	149.272
5229	KP61	15.0	149.255
5230	KP61	25.3	149.169
5231	KO61	10.4	149.310
5232	KO61	9.1	149.310
5233	KO61	12.3	149.268
5236	KO61	8.9	149.311
5237	KO61	11.5	149.290
5238	KO61	14.6	149.268
5239	KO61	8.6	149.281
5240	KO61	10.6	149.280
5242	KO61	9.0	149.307
5243	KO61	7.8	149.307
5244	KO61	4.5	149.338
5245	KO61	11.0	149.274
5246	KO61	6.8	149.323
5248	KO61	8.7	149.300
5249	KO61	7.0	149.324
5250	KO61	10.8	149.287
5251	KO61	13.7	149.255
5252	KO61	11.0	149.275
5254	KO61	7.3	149.329
5255	KO61	7.6	149.297
5259	KN61	27.3	149.241
5261	KN61	24.2	149.283
5262	KM60	20.3	148.914
5263	KM60	8.0	149.049
5264	KM60	20.6	148.912
5265	KM60	13.8	149.049
5266	KM60	14.0	149.044
5267	KM60	13.4	149.115
5268	KM60	14.3	149.137
5269	KM60	21.4	149.070
5270	KN60	9.5	149.150
5271	KN60	6.8	149.150
5272	KN60	12.0	149.110

SKP番号	グリッド	深さ	底面標高
5273	KN60	16.0	149.090
5276	KN60	16.0	149.185
5277	KN60	11.0	149.235
5278	KN60	24.4	149.073
5279	KN60	14.5	149.175
5280	KM・KN60	20.5	149.097
5281	KN60	14.5	149.205
5283	KN60	15.7	149.200
5284	KN60	9.4	149.186
5285	KN60	19.2	149.168
5286	KN60	5.3	149.217
5287	KN60	28.7	149.066
5288	KN60	17.5	149.110
5289	KN59・60	12.7	149.127
5290	KN59・60	18.6	149.170
5291	KN59・60	12.9	149.155
5292	KN59・60	14.0	149.240
5294	KN59・60	14.5	149.225
5295	KN59・60	8.9	149.286
5296	KN59・60	9.5	149.290
5297	KN59・60	6.0	149.230
5298	KO60	25.4	148.996
5299	KO60	24.3	148.934
5300	KO59・60	5.3	149.135
5301	KO60	12.0	149.056
5302	KO60	16.3	149.230
5303	KO60	14.3	149.206
5304	KO60	6.3	149.278
5305	KO60	16.2	149.056
5306	KO60	3.8	149.266
5307	KO60	8.7	149.203
5308	KO60	198.1	149.019
5309	KO60	14.4	149.248
5310	KO60	13.1	149.244
5311	KO60	19.8	149.192
5312	KO60	24.4	149.163
5313	KO60	6.8	149.322
5314	KO60	15.4	149.168
5315	KO60	11.5	149.140
5316	KO60	24.1	149.100
5317	KO60	32.7	149.054
5318	KO60	12.8	149.057
5319	KO60	6.5	149.175
5320	KO60	16.9	149.155
5326	KO60	5.9	149.151
5334	KO60	11.2	149.277
5335	KO60	30.9	149.094
5336	KO60	14.7	149.249
5337	KP60	20.3	148.967
5338	KP60	23.0	148.942
5339	KP60	6.3	149.106
5340	KP60	12.3	149.060
5341	KP60	12.3	149.187
5342	KP60	8.0	149.215
5343	KP60	6.9	149.161
5344	KP60	14.1	149.158
5346	KP60	17.7	149.103
5347	KP60	7.0	149.170
5348	KP60	14.7	149.055
5349	KP60	13.5	149.060
5350	KP60	10.9	149.080
5351	KP59・60	23.5	148.950
5352	KP60	22.9	148.938
5353	KP60	8.7	149.138
5354	KP60	25.6	148.964
5355	KP60	33.3	148.913
5356	KP60	14.7	149.095
5357	KP60	12.4	149.156
5358	KP60・61	14.7	149.146
5359	KP60	12.7	149.143
5360	KP60	12.6	149.144
5361	KP60	3.6	149.234
5362	KP60	7.0	149.206
5363	KP60	22.1	148.966
5370	KK59	11.1	149.381
5371	KK59	10.3	149.384
5372	KK59	17.8	149.247
5373	KK59	11.3	149.282
5374	KK58・59	14.3	149.247

SKP番号	グリッド	深さ	底面標高
5375	KL59	20.6	149.229
5376	KL59	31.6	149.115
5377	KL59	38.5	149.043
5378	KL59	0.8	149.417
5379	KL59	30.4	149.114
5380	KL59	15.5	149.260
5381	KL59	38.1	149.028
5382	KL59	19.6	149.180
5383	KL59	34.8	149.005
5385	KL59	21.7	149.197
5386	KL59	11.2	149.330
5387	KL59	12.5	149.350
5388	KL59	23.0	149.240
5389	KL59	6.8	149.384
5391	KL59	24.0	149.180
5392	KL59	23.5	149.188
5393	KL・KM59	33.8	149.025
5394	KL59	37.6	148.995
5395	KL59	25.2	149.102
5396	KL59	22.6	149.132
5397	KL59	20.9	149.160
5398	KL59	26.3	149.101
5399	KL59	18.8	149.198
5400	KL59	16.6	149.212
5402	KL・KM59	38.1	148.955
5404	KL59	13.5	149.152
5406	KL59	31.0	149.170
5407	KL・KM59	10.0	149.085
5410	KM59	16.2	149.004
5411	KM59	14.3	149.035
5413	KM59	19.5	149.145
5414	KM59	27.4	149.066
5415	KM59	31.5	149.051
5416	KM59	19.4	149.176
5417	KM59	29.3	148.982
5420	KM59	17.4	149.151
5422	KM59	23.6	149.110
5423	KM59	10.5	148.994
5428	KM59	0.0	151.000
5429	KM59・60	22.9	149.088
5431	KM59	14.4	149.174
5432	KM・KN59	15.2	149.133
5433	KM59	16.8	149.135
5434	KM59	17.7	149.137
5436	KN59	21.6	149.099
5437	KN59	17.5	149.125
5438	KN59	5.3	149.254
5439	KN59	37.5	148.940
5440	KN59	41.9	148.905
5442	KN59	16.6	149.175
5443	KN59	19.7	149.108
5444	KN59	16.6	149.153
5445	KN59	25.5	149.050
5447	KN59	19.9	149.126
5448	KN59	19.2	149.137
5449	KN59	16.6	149.167
5450	KN59	32.7	149.011
5452	KN59	25.1	149.087
5453	KN59	17.2	148.884
5454	KN59	4.0	149.050
5456	KN59	16.3	148.957
5457	KN59	20.1	149.097
5458	KN59	24.2	149.034
5459	KN59	17.0	149.098
5460	KN59	8.0	149.092
5461	KN59	12.0	149.044
5462	KN59	19.5	148.964
5463	KN59	11.8	149.050
5464	KN59	0.7	149.165
5467	KO59	11.1	149.153
5468	KO59	10.2	149.165
5469	KO59	9.9	149.172
5470	KO59	9.6	149.148
5471	KO59	11.1	149.133
5473	KO59	13.1	149.154
5475	KO59	16.5	149.102
5476	KO59	17.6	149.117
5477	KO59	12.4	149.174
5479	KO59	28.8	149.111

第7表 柱穴様ピット一覧表(2)

SKP番号	グリッド	深さ	底面標高
5480	KO59	12.8	149.181
5481	KO59	23.0	149.085
5482	KO59	25.9	149.055
5484	KO59	21.2	149.096
5487	KO59	35.2	148.988
5488	KO59	63.1	149.223
5489	KO59	9.2	149.155
5490	KO59	22.4	149.003
5491	KO58・59	27.1	148.989
5492	KO58・59	37.1	148.888
5493	KO59	6.8	149.229
5495	KO59	29.1	148.927
5497	KO59	15.1	149.152
5498	KP59	12.7	149.158
5500	KP59	24.6	149.012
5545	LF58	14.3	151.928
5548	LG58	30.5	151.531
5602	LD63	26.7	151.835
5603	LD63	0.2	152.111
5605	LD・LE63	31.8	151.852
5607	LE63	10.9	152.011
5608	LE63	15.9	152.011
5609	LE63	22.0	151.898
5610	LE63	1.2	152.115
5611	LE62・63	46.8	151.718
5612	LE62・63	30.2	151.884
5613	LE63	2.6	152.010
5614	LE・LF62	47.5	151.766
5615	LE62	24.3	151.951
5616	LE62	37.4	151.864
5618	LD62	63.2	151.505
5619	LF62	3.9	152.170
5620	LD62・63	16.9	152.016
5621	LE62	13.6	152.078
5622	LE62	45.5	151.721
5623	LE62	14.9	152.044
5624	LE62	29.8	151.828
5625	LE62	11.0	152.112
5626	LE62	42.5	151.802
5628	LE61・62	0.0	153.000
5630	LF62	29.6	151.916
5631	LF62	20.6	151.867
5632	LF62	24.5	151.727
5633	LF62	7.2	151.968
5634	LF62	16.9	151.933
5635	LF62	27.4	151.798
5638	LF62	3.8	151.948
5640	LF61	9.9	152.039
5641	LD62	22.3	151.750
5642	LD61	29.5	151.728
5643	LD61	24.9	151.622
5645	LD61	50.9	151.328
5646	LD61	25.6	151.542
5647	LD・LE61	15.0	151.900
5648	LD61	35.0	151.697
5649	LD60	17.5	151.896
5650	LD60	63.4	151.434
5651	LD60	50.2	151.555
5656	LC60	8.6	151.504
5657	LC60	12.5	151.397
5658	LD60	24.3	151.773
5660	LD60	50.1	151.476
5661	LD59	13.6	151.850
5662	LD59	24.7	151.751
5663	LD60	48.4	151.516
5664	LC61	63.2	151.327
5665	LD60	31.3	151.605
5666	LD60	16.0	151.570
5667	LH60	9.5	151.990
5668	LI60	20.0	151.900
5669	LH60	26.0	151.858
5670	LI60	8.1	151.983
5671	LI60	30.1	151.753
5672	LD58	16.0	151.746
5673	LE58	21.2	151.701
5674	LE58	15.1	151.760
5675	LE58	4.7	151.855
5676	LE57・58	33.4	151.621
5677	LE・LF58	1.4	151.956

SKP番号	グリッド	深さ	底面標高
5678	LF58	1.0	151.980
5679	LF58	19.5	151.737
5680	LH60	27.4	151.850
5681	LF58	30.0	151.645
5682	LF58	12.7	151.801
5683	LF58	35.3	151.616
5684	LF58	14.9	151.833
5685	LF58	14.4	151.787
5686	LF57	13.5	151.733
5687	LF58	0.0	153.000
5688	LF58	21.0	151.724
5689	LH58	23.9	151.828
5690	LH58	35.3	151.729
5691	LH58	27.9	151.784
5692	LH58	24.7	151.814
5693	LH59	9.0	151.966
5694	LH59	24.0	151.805
5695	LH59	30.4	151.754
5696	LH59	4.9	152.006
5697	LG59	35.8	151.729
5698	LG58	19.0	151.904
5700	LH59	11.4	151.961
5701	KP59	10.3	149.085
5702	KP59	10.2	149.087
5704	KP59	10.4	149.074
5706	KP59	20.7	148.967
5708	KP59	27.2	149.025
5709	KP59	26.4	149.024
5710	KP59	17.8	148.906
5711	KP59	27.4	148.985
5712	KP59	26.4	148.975
5713	KP58・59 KO58・59	10.8	149.120
5714	KP59	16.3	149.040
5715	KP59	29.0	148.898
5716	KP59	27.2	148.893
5717	KP59	24.4	148.906
5718	KQ59	7.8	149.209
5726	KR59	7.7	149.270
5727	KR59	25.5	149.353
5728	KK58	7.0	149.242
5729	KK58	22.0	149.111
5730	KK58	7.1	149.154
5731	KK58	17.7	149.071
5732	KK58	35.3	148.765
5733	KL58	38.1	148.996
5734	KL58・59	18.0	149.220
5735	KL58・59	23.9	149.159
5736	KL58	22.0	149.137
5737	KL58	28.8	149.062
5738	KL58	18.8	149.158
5740	KL58	14.9	149.211
5742	KL58	22.9	149.169
5743	KL58	30.9	149.047
5745	KL58	44.9	148.894
5746	KL58	31.8	149.037
5747	KL58	15.4	149.190
5748	KL58	35.8	149.030
5749	KL58	25.5	149.102
5751	KL58・59	27.9	149.090
5752	KL58	19.3	149.071
5753	KL58	32.4	149.044
5754	KL58	39.0	148.990
5755	KL・KM58	26.5	149.077
5756	KM58	33.8	148.877
5757	KM58	29.9	149.001
5758	KM58	22.3	148.954
5760	KM・KN58	14.5	149.030
5762	KM58	37.5	149.017
5763	KN58	19.5	148.982
5764	KN58	27.5	148.833
5765	KN58・59	43.0	149.884
5767	KN58・59	34.3	148.945
5768	KN58	11.2	149.059
5769	KN58	16.0	149.038
5770	KN58	108.6	148.174
5771	KN・KO58	46.1	148.779
5772	KN58	39.7	148.755
5773	KN58	13.2	148.952

SKP番号	グリッド	深さ	底面標高
5774	KN58	22.9	148.818
5775	KN58	7.2	149.017
5776	KN58	—	—
5777	KN58	9.4	149.034
5782	KO58	45.8	148.771
5783	KO58	18.5	149.045
5784	KO58	21.6	148.991
5785	KO58	24.7	148.957
5786	KO58	30.2	148.930
5787	KO58	98.9	148.919
5791	KO58・59	27.1	149.989
5792	KO58・59	37.1	148.888
5793	KO58・59	20.3	149.051
5794	KO58	22.6	149.006
5795	KO58	14.4	149.077
5797	KO59	20.1	149.052
5798	KO58	20.2	149.000
5800	KP・KO58	25.3	148.917
5802	KP58	20.3	149.020
5803	KP58	33.2	148.895
5804	KP58	23.6	149.018
5805	KP58	21.9	149.075
5806	KP・KQ58	21.7	149.180
5809	KP58	22.9	148.974
5810	KP58	30.0	148.898
5811	KP58	18.1	148.952
5812	KQ58	17.8	149.032
5813	KQ58	15.3	149.200
5814	KQ58	21.5	149.158
5815	KQ58	11.5	149.304
5816	KQ58	10.6	149.315
5818	KQ58	13.0	149.256
5821	KQ58	9.3	149.363
5822	KQ58	12.5	149.516
5823	KQ58	15.1	149.502
5824	KR58	15.0	149.566
5827	KL57	25.2	148.870
5828	KL57	21.4	148.711
5829	KM57	45.6	148.907
5830	KN57・58	33.6	149.107
5831	KN57	41.3	149.055
5832	KN58	7.4	149.383
5833	KN57	41.7	149.028
5834	KN57	25.5	149.125
5835	KN57	33.8	149.114
5836	KN57	44.5	148.998
5837	KN57	42.3	148.993
5838	KN57	34.6	149.069
5839	KN57	35.7	149.035
5841	KO57	21.1	148.846
5842	KO57	33.0	149.013
5843	KO57	20.9	148.949
5844	KO57	47.2	148.927
5845	KO57	28.4	149.095
5846	KO57	32.9	149.050
5847	KO57	13.4	149.292
5848	KO57	26.7	149.124
5849	KO57	28.8	149.106
5850	KN57	35.0	149.088
5851	KN・KO57	48.4	148.938
5852	KO57	36.2	149.026
5853	KN57	34.2	149.042
5854	KN57	36.9	149.075
5855	KN57	37.5	149.075
5856	KN57	45.0	149.024
5858	KN57	44.0	149.001
5859	KN57	38.0	149.078
5860	KO57	36.4	149.066
5861	KO57	32.2	149.066
5862	KO57	22.5	149.189
5863	KO57	16.4	149.094
5864	KO57	15.0	149.102
5866	KO57	25.1	148.982
5867	KP57	7.2	149.300
5868	KP57	7.5	149.280
5869	KP57	40.6	148.949
5870	KP57	16.7	149.194
5871	KP57	16.5	149.222
5872	KP57	15.4	149.105

第7表 柱穴様ピット一覧表(3)

SKP番号	グリッド	深さ	底面標高
5873	KP 57・58	14.8	149.102
5875	KP 57	22.0	149.134
5876	KP 57	21.2	149.146
5877	KP 57	9.2	149.337
5878	KP 57	12.0	149.308
5879	KP 57	23.9	149.159
5880	KP 57	16.2	149.266
5881	KP 57	13.3	149.144
5883	KQ 57	19.2	149.273
5884	KQ 57	25.5	149.213
5885	KQ 57	12.8	149.337
5886	KQ 57	29.2	149.196
5887	KQ 57	12.4	149.439
5889	KQ 57	14.5	149.417
5890	KQ 57	8.9	149.490
5891	KR 57	22.8	149.379
5893	KR 57	17.7	149.459
5895	KR 57	14.6	149.490
5896	KN 56	35.1	149.090
5897	KN 56	42.0	149.004
5898	KN・KO 56	28.1	149.170
5899	KO 56	35.3	149.117
5902	KO 56	13.7	149.330
5903	KO 56	15.4	149.332
5904	KO 56	34.0	149.135
5906	KO 56	24.2	149.202
5907	KO 56	30.1	149.165
5908	KO 56	29.1	149.173
5909	KO 56	14.8	149.265
5912	KO 56	11.0	149.357
5913	KO 56	23.1	149.188
5915	KO 56	10.9	149.337
5916	KO 56	16.1	149.280
5919	KO 56	16.6	149.243
5920	KO 56	7.6	149.325
5921	KO 56	7.9	149.421
5922	KO・KP 56	17.6	149.263
5923	KP 56	18.3	149.225
5924	KP 56	9.0	149.394
5925	KP 56	11.7	149.381
5926	KP 56	1.4	149.440
5927	KP 56	24.9	149.177
5928	KP 56	22.4	149.202
5929	KP 56	18.2	149.308
5930	KP 56	11.3	149.290
5932	KP 56	37.8	149.339
5933	KO 55	26.4	149.258
5934	KO 55	30.2	149.204
5935	KO 55	83.0	148.570
5936	KN 58	16.8	149.178
5937	KN 58	18.6	149.144
5938	KN 58	16.8	149.168
5939	KM 58	17.6	149.170
5940	KN 58	23.8	148.958
5941	KO 60・61 KP 60・61	14.3	149.199
5942	KP 61	15.9	149.191
5943	KM 58	11.4	149.131
5944	KM 58	17.0	149.069
5945	KM 58	12.8	149.095
5946	KM 58	29.0	148.950
5947	KM 57・58	24.5	148.999
5948	KM 57	32.8	148.929
5949	KM 57	12.1	149.129
5950	KM 57	22.7	149.045
5951	KM 57	15.1	149.109
5952	KM 57	2.8	149.223
5953	KM 57	14.9	149.111
5954	KM 57	10.7	149.161
5955	KM 57	17.0	149.091
5956	KM 57	16.6	149.086
5957	KM 57	4.1	149.173
5958	KM 57	23.0	148.954
5959	KM 57	7.3	149.097
5960	KM 57	18.4	148.997
5961	KM 57	4.3	149.135
5962	KM 57	10.0	149.087
5963	KM 57	17.5	149.024
5964	KM 57	19.8	149.036

SKP番号	グリッド	深さ	底面標高
5965	KN 57	25.5	149.005
5966	KN 57	18.8	149.082
5967	KN 57	15.4	149.031
5968	KN 57	18.8	149.076
5969	KN 57	16.6	149.088
5970	KN 57	11.0	149.039
5971	KN 57	28.1	148.878
5972	KN 57	23.3	148.924
5973	KN 57	15.4	149.018
5974	KN 57	19.3	148.979
5975	KN 57	21.8	148.974
5976	KN 57	8.5	149.077
5977	KN 57	17.3	149.000
5978	KN 57	23.9	148.931
5979	KN 57	16.3	148.951
5980	KN 57	31.7	148.794
5981	KN 57	17.3	148.953
5982	KN 56	23.0	149.000
5983	KN 56	9.6	149.155
5984	KN 56	32.7	148.927
5985	KN 57	20.9	148.900
5986	KN 57	9.5	149.025
5987	KN 58	29.8	148.792
5988	KN 58	12.3	149.017
5989	KN 58	29.1	148.792
5990	KN 57	17.2	148.988
5991	KN 56	24.3	149.047
5992	KN 56	17.3	149.175
5993	KN 58	17.2	148.977
5994	KN 58	41.4	148.734
5995	KN 58	13.7	149.023
5996	KO 58	18.8	148.967
5997	KN 58	3.3	148.982
5998	KO 56	23.9	149.148
5999	KO 56	19.5	149.188
6000	KO 57	9.4	148.901
6002	MT 32	2.8	147.138
6003	MT 32	17.4	147.058
6004	MT 32	15.1	147.015
6005	MS 33	3.6	147.180
6009	MQ 34	2.2	147.272
6015	MQ 35	6.5	147.436
6020	MQ 36	10.5	147.222
6023	MR 35	9.1	147.285
6024	MR 35	8.3	147.270
6025	MR 36	23.0	147.106
6027	MQ 36	15.1	147.337
6029	MQ 36	26.3	147.248
6030	MQ 36	7.1	147.407
6035	MR 35	13.7	147.205
6042	MQ 37	5.6	147.407
6043	MS 32	19.1	147.064
6061	MP 38	5.0	147.400
6062	MP 38	16.8	147.282
6063	MP 38	15.7	147.267
6065	MP 38	15.7	147.282
6066	MP 38	7.2	147.450
6067	MO 39	14.2	147.405
6068	MO 39	24.4	147.401
6069	MO 39	15.9	147.495
6070	MO 40	10.3	147.616
6071	MO 40	9.0	147.638
6072	MO 40	15.9	147.584
6073	MO 40	20.0	147.555
6074	MN 40	25.0	147.480
6075	MN 40	9.9	147.631
6076	MN 40	16.4	147.588
6077	MN 40	12.2	147.640
6078	MN 40	12.1	147.619
6079	MN 40	5.4	147.720
6081	MO 40	7.1	147.669
6082	MO 40・41	20.4	147.554
6086	MN 41	15.0	147.622
6087	MN・MO 41	38.0	147.395
6088	MO 41	10.3	147.645
6090	MO 41	7.6	147.684
6094	MN 41	26.9	147.494
6096	MN・MO 42	4.4	147.716
6100	MP 37	6.5	147.330

SKP番号	グリッド	深さ	底面標高
6205	MQ 36	12.1	147.351
6206	MP 37	8.0	147.380
6208	MP 37	16.3	147.297
6209	MP 37	3.6	147.418
6210	MP 37	3.5	147.421
6211	MQ 37	17.8	147.207
6212	MQ 37	34.6	147.073
6213	MP 37	23.6	147.167
6215	MP・MQ 38	4.8	147.357
6216	MQ 38	20.2	147.116
6217	MP 38	13.5	147.390
6218	MP 38	31.2	147.194
6220	MP 39	14.6	147.196
6222	MP 39	21.6	147.397
6224	MO 40	7.9	147.609
6226	MO 40	21.3	147.482
6228	MO 39	10.3	147.552
6229	MO 39	22.3	147.461
6230	MQ 39	3.6	147.239
6231	MO 40	9.0	147.642
6232	MO 40	36.7	147.325
6234	MO 40	9.3	147.650
6235	MO・MP 40	12.8	147.546
6236	MO 40	21.7	147.460
6237	MO 40	6.0	147.635
6238	MO 40	7.1	147.664
6239	MO 41	18.8	147.542
6240	MO 41	18.5	147.487
6246	MN 42	4.7	147.728
6248	MM 42	8.8	147.692
6249	MM 42	29.9	147.729
6250	MM 42	19.7	147.750
6252	MM・MN 43	14.5	147.745
6253	MM 43	17.6	147.712
6257	MO 41	5.7	147.683
6258	MM 43	8.1	147.835
6259	MM 42	21.6	147.758
6260	MM 42	29.0	147.676
6266	MM 43	12.7	147.738
6267	MM 43	10.2	147.778
6269	MM 44	10.7	147.755
6270	MM 44	24.5	147.628
6271	ML 44	12.0	147.735
6272	MQ 37	13.5	147.137
6273	MR 36	5.6	147.427
6274	MQ 36	9.8	147.282
6286	MO 39	13.2	147.440
6287	MO 39	18.1	147.342
6288	MP 40	30.5	147.307
6290	MO 39	13.6	147.411
6291	MQ 35	11.4	147.308
6293	MQ 34	22.0	147.182
6296	MN 42	3.7	147.760
6297	MN 42	10.1	147.685
6302	MM 42	12.6	147.800
6303	MO・MN 41	13.0	147.640
6305	MM 42	16.5	147.883
6307	MO 39	29.1	147.362
6308	MO 39	12.9	147.530
6309	MP 39	19.3	147.420
6316	MO 40	12.7	147.613
6317	MP 38	5.2	147.456
6318	MR 36	13.8	147.392
6402	MH 53	13.5	148.592
6403	MH 53	19.3	148.527
6404	MH 53	12.5	148.618
6405	MH 53	8.8	148.710
6406	MI 53	16.3	148.444
6407	MI 53	12.6	148.491
6408	MH 53	22.2	148.518
6409	MH 52	12.4	148.505
6410	MH 53	6.2	148.667
6411	MI 53	12.6	148.488
6412	MH 53	16.6	148.494
6413	MH 52・53	7.6	148.560
6414	MH 53	13.2	148.579
6415	MH 53	11.1	148.684
6416	MG・MH 53	18.2	148.639
6417	MI 53	13.5	148.480

第7表 柱穴様ピット一覧表(4)

SKP番号	グリッド	深さ	底面標高
6418	MI 53	10.5	148.495
6420	MI 53	13.6	148.459
6421	MI 53	5.8	148.547
6422	MI 53	14.8	148.450
6424	MG 52	14.5	148.680
6425	MG 52・53	8.0	148.707
6426	MG 53	8.8	148.474
6430	MH 52	22.3	148.545
6431	MJ 53	14.7	148.361
6432	MJ 53	13.7	148.371
6436	MJ 52	11.2	148.402
6437	MH 52	20.5	148.550
6438	MH 52	23.3	148.522
6439	MG 52	2.0	148.750
6440	MG 52	5.8	148.677
6441	MG 52	9.1	148.657
6442	MG 52	9.5	148.655
6444	MH 52	10.3	148.587
6448	MH 52	20.0	148.535
6450	MH 52	9.3	148.637
6451	MH 52	13.0	148.597
6452	MH 52	21.2	148.498
6453	MH 52	14.6	148.592
6454	MH 52	8.3	148.677
6455	MH 52	12.8	148.600
6456	MH 52	6.0	148.650
6457	MH 52	10.8	148.525
6458	MH 52	7.8	148.546
6460	MI 52	18.7	148.407
6461	MI 52	18.9	148.402
6462	MI 52・53	18.2	148.428
6463	MI 52	5.2	148.500
6464	MI 52	16.1	148.395
6465	MJ 52	21.1	148.342
6466	MJ 52	19.6	148.318
6467	MJ 52	24.3	148.288
6468	MG 53	6.9	148.708
6470	MJ 51	7.2	148.339
6472	MK 51	15.6	148.283
6473	MJ 52	0.6	148.542
6474	MI・MJ 52	17.7	148.409
6475	MK 51	9.9	148.357
6476	MI 52	4.2	148.523
6478	MH 52	12.5	148.482
6479	MI 52	3.9	148.556
6480	MI 52	5.2	148.606
6481	MI 51・52	8.3	148.482
6482	MI 52	8.1	148.501
6483	MI 51	9.7	148.464
6484	MI 51	9.2	148.461
6485	MI 51	4.1	148.524
6486	MI 51	15.6	148.432
6487	MH 52	12.2	148.495
6489	MJ 52	4.8	148.447
6490	MH 51	15.3	148.462
6491	MI 53	1.3	148.574
6492	MI 53	12.3	148.472
6493	MI 52	14.9	148.406
6494	MI 52	24.5	148.331
6495	MF 53	13.3	148.775
6496	MF 53	14.2	148.795
6497	MF 53	10.2	148.773
6498	MF 53・54	12.7	148.750
6499	MG 53・54	14.2	148.722
6500	MG 53	7.7	148.701
6501	MG 54	11.3	148.774
6502	MG 53	17.8	148.685
6503	MG 53・54	18.0	148.658
6504	MG 54	10.6	148.765
6505	MG 54	19.2	148.690
6506	MG 54	13.3	148.722
6507	MG 54	13.4	148.725
6508	MG 54	19.7	148.688
6509	MG 54	14.7	148.760
6510	MG 54	11.9	148.783
6511	MF 54	10.5	148.765
6514	MH 52	11.0	148.569
6515	MF 54	10.9	148.563
6516	MH 52	11.5	148.540

SKP番号	グリッド	深さ	底面標高
6517	MH 52	10.6	148.565
6518	MH 52	10.5	148.610
6519	MH 52	5.2	148.671
6520	MH 51	12.3	148.550
6521	MH 51	12.0	148.540
6522	MH 51	20.1	148.527
6523	MH 51	14.3	148.508
6524	MH 51	10.0	148.440
6525	MH 50・51	13.6	148.375
6526	MH 50	7.8	148.416
6527	MH 51	8.3	148.507
6528	MH・MI 51	10.0	148.460
6529	MH 51	9.5	148.485
6530	MH 51	11.3	148.448
6531	MH 51	8.9	148.416
6532	MH 51	10.0	148.463
6534	MI 51	9.0	148.415
6535	MI 51	11.6	148.420
6536	MI 51	7.3	148.480
6538	MH 51	11.5	148.377
6539	MI 50	9.7	148.383
6540	MH・MI 50	6.9	148.412
6543	MI 50	10.5	148.361
6544	MH 50	30.2	148.179
6545	MH 50	13.9	148.346
6546	MH 50	18.5	148.209
6547	MI 51	12.2	148.394
6548	MI・MJ 51	5.7	148.469
6549	MJ 51	10.7	148.337
6550	MI 51	13.6	148.365
6552	MI 51	10.4	148.421
6553	MJ 51	12.5	148.283
6554	MI 51	6.6	148.432
6556	MG・MH 52	18.8	148.650
6557	MI 51	9.3	148.418
6558	MI 51	11.8	148.384
6560	MK 52	11.6	148.342
6561	MK 52	5.0	148.413
6562	MK 52	7.0	148.424
6563	MK 52	14.6	148.327
6564	MK 52	13.1	148.363
6565	MK 52	9.7	148.382
6566	MJ・MK 53	14.1	148.369
6567	MK 53	27.3	148.252
6569	MJ 53	27.3	148.269
6570	MJ 53	25.8	148.283
6571	MJ 52	8.7	148.443
6572	MJ 52	11.0	148.420
6573	MJ 53	17.0	148.400
6574	MJ 53	14.5	148.463
6575	MK 53	14.6	148.393
6576	MK 52	23.0	148.210
6577	MK 52	24.3	148.227
6578	MJ 52	12.1	148.415
6579	MJ 52	13.8	148.372
6580	MJ・MK 52	13.3	148.395
6583	MJ 52	28.4	148.244
6584	MJ 52	29.0	148.240
6585	MJ 53	12.5	148.479
6586	MK 53	11.3	148.426
6587	MJ・MK 53	10.0	148.450
6588	MJ 53	10.5	148.494
6589	MJ 53	11.2	148.492
6590	MJ 53	16.0	148.461
6591	MJ 53	10.8	148.521
6592	MJ 53	9.2	148.545
6593	MK 50	5.8	148.254
6594	MK 50	12.1	148.207
6595	MK 49	8.1	148.257
6596	MK 49	14.2	148.190
6597	MJ 51	7.3	148.306
6599	MJ・MK 51	7.5	148.267
6601	MJ・MK 48	24.9	147.660
6602	MJ・MK 48	15.9	147.725
6603	MJ 48	19.6	147.719
6604	MJ・MK 48	13.6	147.754
6605	MJ 48	9.7	147.708
6606	MJ 48	13.7	147.687
6607	MJ 48	17.2	147.628

SKP番号	グリッド	深さ	底面標高
6608	MJ 48	20.1	147.627
6609	MJ 48	14.6	147.782
6610	MJ 48	17.6	147.689
6611	MJ 48	19.1	147.761
6612	MJ 48	23.5	147.705
6613	MJ 48	22.1	147.717
6614	MJ 48	16.9	147.804
6615	MJ 48	19.9	147.768
6616	MJ 48	22.7	147.780
6617	MJ 48	11.2	147.885
6618	MJ 48	31.6	147.708
6619	MJ 48	28.5	147.733
6620	MJ 48	30.6	147.718
6621	MJ 48	25.3	147.768
6622	MJ 48	18.4	147.844
6623	MJ 48・49	27.9	147.734
6624	MJ 49	33.2	147.678
6625	MI 52	14.9	148.440
6626	MI 52	8.8	148.474
6627	MI 52	18.0	148.371
6628	MI 51	8.7	148.480
6629	MJ 52	15.7	148.375
6630	MJ 52	2.2	148.504
6631	MJ 52	18.3	148.334
6632	MJ 52	83.0	148.428
6633	MJ 52	13.3	148.374
6634	MI 50	11.5	148.280
6635	MI 50	15.1	148.217
6636	MI 50	18.1	148.212
6637	MI 50	9.1	148.322
6638	MI・MJ 50	8.6	148.278
6641	MI 49・50	26.1	148.093
6642	MI 49	23.0	148.020
6643	MI 49	30.0	147.860
6644	MI 50	29.0	147.983
6645	MI 49・50	39.3	147.728
6646	MI 49	68.9	147.417
6647	MI 49	21.9	148.024
6648	MJ 49	11.0	148.038
6649	MJ 49	25.5	147.818
6650	MJ 49	24.8	147.849
6651	MJ 49	24.7	147.818
6652	MJ 49	23.4	147.827
6653	MJ 49	10.9	147.957
6654	MJ 49	17.7	147.884
6655	MJ 49	24.3	147.827
6657	MJ 49	24.4	147.784
6658	MJ 49	33.9	147.798
6659	MI 49	17.4	147.907
6661	MJ 49	27.8	147.731
6662	MJ 49	33.5	147.693
6663	MI・MJ 49	13.9	147.932
6664	MI・MJ 49	14.3	147.945
6665	MJ 49	27.6	147.783
6666	MJ 49	57.1	147.457
6667	MI 49	24.4	147.898
6668	MI 49	20.9	147.898
6669	MI 49	21.5	147.903
6670	MI 49	11.5	147.916
6671	MK 48	12.4	147.811
6672	MK 47	26.2	147.556
6673	MJ・MK 47	—	—
6674	MK 47	21.6	147.559
6675	MK 47	10.9	147.673
6676	MJ 47・48	19.0	147.656
6677	MK 47	16.7	147.561
6678	ML 44・45	26.0	147.540
6679	ML 45	11.3	147.759
6680	ML 45	15.3	147.761
6681	ML 45	11.1	147.831
6682	ML 45	10.2	147.854
6683	ML 45	11.9	147.841
6684	ML 45	21.4	147.740
6685	ML 45	16.3	147.801
6686	MK 45	11.7	147.798
6687	MK 45	10.8	147.848
6688	ML 47	17.2	147.751
6689	ML 47	14.1	147.854
6690	ML 47	16.2	147.820



第7表 柱穴様ピット一覧表(5)

SKP番号	グリッド	深さ	底面標高
6701	MK53	9.5	148.380
6702	MK51	—	—
6703	MG52・53	9.5	148.692
6704	M153	11.5	148.464
6706	M150	17.2	148.180
6711	MJ51	13.3	148.277
6713	M150	9.2	148.452
6714	MJ51	—	—
6716	MH53	20.8	148.563
6717	M153	12.9	148.449
6718	MJ52	14.8	148.366
6719	M152	9.3	148.688
6721	M151	10.5	148.456
6723	MJ51	11.8	148.348
6725	MH・M150	15.1	148.327
6726	MK52	12.3	148.376
6727	MK52	12.7	148.332
6729	M152・53	26.0	148.340
6730	MH53	15.2	148.486
6731	MH52・53	16.0	148.490
6732	M152	6.3	148.482
6733	M152	4.4	148.511
6734	M150	11.3	148.287
6735	MH55	8.6	148.796
6736	MF54	8.4	148.758
6737	M148・49	27.2	147.828
6738	M149	35.8	147.884
6739	M150	17.4	148.177
6740	MJ49	18.5	147.858
6741	M1・MJ50	16.0	148.180
6742	MH50	19.0	148.300
6743	MG53	17.6	148.625
7001	L159	15.7	151.916
7002	L159	13.0	151.881
7003	LG60	13.3	151.924
7004	LF58	19.2	151.776
7005	LF61	18.0	151.863
7006	LF61	16.5	151.879
7007	LF61	18.1	151.853
7008	LF61	22.3	151.857
7009	LF61	20.5	151.875
7010	LF60	12.0	151.926
7011	LE60	26.0	151.787
7012	LE・LF60	18.6	151.848
7013	LF60	17.8	151.857
7014	LF60・61	19.4	151.847
7015	LE・LF61	17.5	151.880
7016	LE60・61	18.2	151.914
7017	LE61	12.4	151.982
7018	LG61	11.2	152.013
7019	LG61	18.4	151.940
7020	LG61	11.3	152.006
7021	LG61	10.9	152.000
7022	LG61	20.2	151.956
7023	LG61	—	—
7024	LG61	20.8	151.928
7025	LG61	8.7	152.069
7026	LG61	9.3	152.053
7027	LG61	10.7	152.049
7028	LG61	7.6	152.072
7029	LG61	13.6	151.996
7030	LG61・62	14.0	151.988
7031	LF61	24.9	151.890
7032	LF・LG61	34.3	151.796
7033	LF61	7.2	152.049
7034	LF61	10.2	152.026
7035	LF61	17.0	151.971
7036	LF61	24.2	151.882
7037	LF61	24.2	151.882
7038	LF61	28.3	151.841
7039	LF61	28.3	151.841
7040	LF61	28.3	151.841
7041	LF61	29.8	151.786
7042	LF61	26.2	151.819
7043	LF61	27.2	151.782
7044	LF61	23.4	151.829
7045	LF61	17.2	151.880
7046	LF61	20.6	151.866
7047	LF61	15.9	151.940

SKP番号	グリッド	深さ	底面標高
7048	LF61	21.9	151.912
7049	LF61	47.5	151.656
7050	LF61	21.2	151.919
7051	LF61・62	20.2	151.929
7052	LF62	19.7	151.934
7053	LF62	37.0	151.761
7054	LF61・62	13.2	151.999
7055	LF62	12.4	151.994
7056	LF62	0.0	153.000
7057	LF62	30.2	151.816
7058	LF62	19.4	151.924
7060	LF62	29.9	151.831
7061	LE・LF61	19.5	151.858
7062	LE61	16.3	151.902
7064	LE61	46.8	151.656
7065	LE61	36.4	151.716
7066	LE61	8.7	152.068
7067	LE61	37.5	151.816
7068	LE61・62	27.2	151.932
7069	LE61・62	39.0	151.808
7070	LE61	20.6	151.924
7071	LD61	25.8	151.785
7072	LD61	32.5	151.718
7073	LD61	34.8	151.695
7074	LE62	28.3	151.924
7075	LE62	13.1	152.100
7076	LE62	44.8	151.793
7077	LE62	42.1	151.820
7079	LE61・62	21.4	151.983
7080	LE62	37.7	151.702
7081	LF61	31.3	151.818
7082	LF62	22.9	151.863
7083	LE63	20.7	151.920
7084	LE62	30.2	151.886
7085	LE62	31.7	151.752
7086	LE62	43.4	151.807
7087	LE58・59	35.1	151.619
7089	LE60	21.0	151.838
7090	LE60	35.8	151.690
7091	LE60	39.4	151.643
7092	LE62	39.4	151.815
7093	LE62	43.9	151.747
7094	LE62	34.0	151.846
7095	LE62	18.3	152.003
7096	LD60	32.5	151.740
7097	LD62	17.2	151.977
7098	LH59	4.5	152.027
7099	LH59	30.7	151.766
7100	LF60・61	23.1	151.809
7101	LF61	40.6	151.616
7102	LD・LE60	27.5	151.765
7103	LD62	17.9	151.960
7104	LD62	29.6	151.843
7105	LE60・61	29.3	151.803
7106	LE60	18.1	151.914
7107	LE60	19.2	151.833
7108	LE60	44.6	151.566
7109	LD60	26.2	151.795
7110	LD60	25.2	151.805
7111	LD・LE61	41.2	151.697
7112	LD・LE61	28.9	151.820
7113	LE60	21.3	151.827
7114	LD・LE59	37.3	151.601
7115	LD・LE59	31.3	151.661
7116	LG58	43.7	151.646
7501	KO56・57	11.7	149.172
7502	KM58	13.5	149.065
7503	KM58	16.1	149.046
7504	KM58	18.4	149.000
7505	KN59	10.4	149.125
7506	KM58	4.6	149.144
7507	KM58	16.5	149.025
7508	KM58	27.6	148.917
7509	KM58	15.1	149.025
7510	KM58	18.3	149.052
7515	KM58	20.9	148.985
7516	KL・KM58	13.4	148.984
7517	KR59	77.2	148.842
7518	KP58	9.0	148.943

SKP番号	グリッド	深さ	底面標高
7520	KO59	17.0	149.014
7521	KO59	11.8	149.128
7522	KP58	8.9	149.011
7523	KN58	15.7	149.003
7524	KO59	20.2	148.975
7525	KR57	14.3	149.595
7526	KR59	14.3	149.457
7528	KO58	14.7	149.000
7529	KN58	39.7	148.660
7530	KN58	8.5	148.855
7576	KO56	—	—
7577	KO56	—	—
7578	KP61	—	—
7579	KL59	21.7	149.153
7580	KP61	5.2	149.206
7581	KP59	20.8	149.122
7582	KO55	27.7	149.128

深さはcm、底面標高はm

第8表 土器観察表(1)

遺構	図	番号	出土地点	器種	時期	分類	縄文原体	縄文回転方向	文様	備考
遺構内	34	1	SI 5060	鉢	後	Ⅲ b	L R	横	入組弧状隆線文、平行沈線文	波状口縁、口縁部内傾
		2	SI 5060	深鉢	後	Ⅲ a	L R	横	波状沈線文	波状口縁
		3	SI 5060	深鉢	後	Ⅲ c	L R	横	帯状区画内縄文充填	波状口縁
		4	SI 5060	深鉢	後	Ⅲ c	L R	横	帯状区画内縄文充填	波状口縁、口縁部内湾
		5	SI 5060	深鉢	後	Ⅲ b	—	—	横位隆線文	口縁部内湾
		6	SI 5060	深鉢	後	Ⅲ c	L R	横	横位平行沈線文間縦位短弧線連結	
		7	SI 5060	深鉢	後	Ⅲ c	L R	横、斜(条横走)	帯状区画内縄文充填	
		8	SI 5060	深鉢	後	Ⅲ c	L R	横、斜(条横走)	沈線区画内縄文充填	
		9	SI 5060	壺	後	Ⅲ b	—	—	無文	表面ひび割れにアスファルト
		10	SI 5060	壺	後	Ⅲ b	—	—	無文	
		11	SI 5060	小型深鉢	後	Ⅲ b	—	—	無文	
		12	SI 5060	小型深鉢	後	Ⅲ b	—	—	無文	
		13	SI 5060	壺	後	Ⅲ b	—	—	弧線文	
		14	SI 5060	深鉢	後	Ⅲ b	R L	横、斜(条横走)		
		15	SI 5060	深鉢	後	Ⅲ b	L R	斜(条横走)		
	35	1	SI 5060	深鉢	後	Ⅲ b	L R	横、斜(条横走)	口唇縄文施文	
	2	SI 5073	深鉢	中	Ⅱ b	L R	縦	H字状区画文・楕円形区画内縄文充填		
	36	1	SI 5073	深鉢	中	Ⅱ b	R L	横	口縁部幅広無文帯	
	2	SI 5080	深鉢	中	Ⅱ b	R L	横	口縁部無文、頸部刺突列、逆U字状区画文	3単位波状口縁	
	37	1	SI 5073	注口	中	Ⅱ b	L R	縦	口縁部無文、頸部刺突列	
	2	SI 5080	深鉢	中	Ⅱ	—	—			
	3	SI 5080	深鉢	中	Ⅱ b	R L	縦	3本一組の垂下沈線文	第37図3・4同一個体	
	4	SI 5080	深鉢	中	Ⅱ b	R L	縦		第37図3・4同一個体	
	5	SI 5080	深鉢	中	Ⅱ c	R L R	縦	波頭文状沈線区画文		
	38	1	SI 5080	深鉢	中	Ⅱ b	L R	縦	底面周縁部に網代文	
	2	SI 5080	深鉢	中	Ⅱ b	R L	縦	楕円形・逆U字状沈線区画内縄文充填	接合個体	
	39	1	SI 5083	深鉢	中	Ⅲ b	L R	斜(条横走)	口唇縄文施文	
	2	SI 5522	深鉢	中	Ⅱ b	R L	縦	口縁部無文、頸部刺突列、逆U字状沈線区画文	口縁部内傾、第39図2～4同一個体	
	3	SI 5522	深鉢	中	Ⅱ b	R L	縦	縦位沈線区画内縄文充填	第39図2～4同一個体	
	4	SI 5522	深鉢	中	Ⅱ b	R L	縦	縦位沈線区画内縄文充填	第39図2～4同一個体	
	5	SI 5560	深鉢	中	Ⅱ c	R L	縦			
	6	SI 5560	深鉢	中	Ⅱ b	L R	縦	逆U字状沈線区画内縄文充填	口縁部外反、第39図6・7同一個体	
	7	SI 5560	深鉢	中	Ⅱ b	R L R	—	逆U字状沈線区画内縄文充填	口縁部外反、第39図6・7同一個体	
	8	SI 5560	深鉢	中	Ⅱ c	L	横、縦	弧状沈線区画内縄文充填		
	9	SI 5560	深鉢	後	Ⅲ c	L R	横	口唇縄文施文	口縁部内傾	
	40	1	SK 5001	深鉢	前	I b	L R + R L	横	結束羽状縄文	
	2	SK 5002	深鉢	中	Ⅱ c	—	—	刺突文、縦位隆線上に斜位刻み目文		
	3	SK 5006	深鉢	後	Ⅲ c	L R	横	細縄文		
	4	SK 5007	鉢	後	Ⅲ b	—	—	2本一組の弧状沈線文		
	5	SK 5007	深鉢	後	Ⅲ b	—	—	無文		
	6	SK 5007	深鉢	後	Ⅲ a	R L	横	2本一組の弧状沈線文		
	7	SK 5009	深鉢	前	I c	R 撻	縦	口縁部籠状撻糸文		
	8	SK 5013	深鉢	前	I b	L 撻・R 撻	横	口縁部撻紐原体側面押圧、頸部列点文		
	9	SK 5030	深鉢	前	I b	L R + R L	横	口縁部・胴部結束羽状縄文、頸部絡条体側面押圧+刺突列		
	10	SK 5040	深鉢	後	Ⅲ b	—	—	波頂部に弧線文、胴部横位沈線文	4単位波状口縁	
	11	SK 5040	鉢	後	Ⅲ b	—	—	方形区画隆沈線文		
	12	SK 5040	壺	後	Ⅲ b	L R	横	弧状文、沈線区画内縄文充填		
	13	SK 5040	壺	後	Ⅲ c	L R	横	口唇縄文施文、平行沈線文		
	14	SK 5040	深鉢	後	Ⅲ b	R 撻	縦	口唇部平行沈線文、網目状撻糸文		
	15	SK 5047	鉢	後	Ⅲ b	—	—	無文		
	16	SK 5047	深鉢	後	Ⅲ b	L R	横	弧状沈線区画内縄文充填、沈線端部刺突		
	17	SK 5053	鉢	後	Ⅲ b	L R	横	口縁部無文	波状口縁	
41	1	SK 5056	浅鉢	後	Ⅲ c	R L	横	口縁部無文、胴部横位平行沈線文	口縁部内傾	
2	SK 5057	深鉢	後	Ⅲ c	R L	横	沈線区画内縄文・列点文充填			
3	SK 5057	深鉢	後	Ⅲ c	R L	横	沈線区画内縄文充填、列点文帯			
4	SK 5057	深鉢	後	Ⅲ a	R L	横	2本一組の縦位・横位・斜位沈線文			
5	SK 5057	深鉢	後	Ⅲ c	L R	横	口唇部縄文施文	口縁部外反、第41図5・6・7同一個体		
6	SK 5057	深鉢	後	Ⅲ c	L R	横		第41図5・6・7同一個体		
7	SK 5057	深鉢	後	Ⅲ c	L R	横		第41図5・6・7同一個体		
8	SK 5059	深鉢	後	Ⅲ a	L R	横	2本一組の沈線文			
9	SK 5071	深鉢	後	Ⅲ b	—	—	弧状沈線文	橋状把手		
10	SK 5071	壺	後	Ⅲ b	—	—	無文、頸部横位沈線			
11	SK 5071	浅鉢	後	Ⅲ c	L R	横	沈線区画内縄文充填			
12	SK 5072	壺	後	Ⅲ c	L R	横、縦、斜	沈線区画内縄文充填、縄文は同一原体で回転方向不定			

第8表 土器観察表(2)

遺構	図	番号	出土地点	器種	時期	分類	縄文原体	縄文回転方向	文様	備考		
41	13	SK5072	壺	後	III c	LR	横	沈線区画文内縄文充填、縄文は同一原体で回転方向不定				
		SK5076	深鉢	後	III c	LR	横	口唇沈線、胴部横位平行沈線文	口唇部突起あり			
		SK5076	深鉢	後	III c	LR	横	横位平行沈線文内縄文充填、縦位弧状短沈線文	4単位波状口縁			
		SK5082	壺	後	III b	—	—	沈線区画文内縄文充填				
		SK5103	深鉢	後	III a	LR	縦	弧状沈線文				
		SK5521	深鉢	前	I b	LR	横	口縁部撚紐原体側面押圧				
		SK5537	深鉢	中	II e	—	—	細粘土紐貼付による格子文、竹管押引文				
		SK5537	台付鉢	晩	IV b	—	—	変形工字文、2個一対の貼り瘤文	台付鉢の台部、すかしあり			
		SK5537	深鉢	晩	IV b	RL	縦	表裏両面に刷毛目あり				
		SK5554	鉢	晩	IV b	LR	斜(条縦走)	口唇部表裏両面横位沈線、工字文、2個一対の貼り瘤文	小波状口縁			
		SK5565	深鉢	中	II b	RLR	縦	逆U字状沈線区画文内縄文充填				
		SK5565	深鉢	中	II b	RL	縦	3本一組の垂下沈線文				
		SR5527	深鉢	後	III a	LR	縦					
SN5510	深鉢	前初	—	RL(多)	横	ループ文横位多段施文、口唇部刻み目文						
42	1	SR5506	深鉢	後	III a	—	—	垂下隆線上連続刺突、胴部連続刺突文				
		SR5507	深鉢	後	III a	LR	縦					
		SN5511	深鉢	後	III a	LR	縦					
		SN5526	深鉢	後	III a	LR	縦					
		SN5563	深鉢	後	III a	LR	縦	口唇部撚紐原体側面押圧1条				
		SD5501	鉢	晩	IV b	RL	横	工字文、2個一対の貼り瘤文				
		SD5503	深鉢	中	II b	RL	縦		折り返し口縁			
		SD5503	深鉢	後	III a	—	—	口唇部横位列点文、2本一組の撚紐原体側面押圧による三角形文				
		SD5503	深鉢	後	III a	—	—	連続刺突文				
		SD5503	深鉢	後	III a	RL	横	連続刺突文				
		SD5503	深鉢	晩	IV b	LR(多)	斜(条縦走)	表裏両面に刷毛目あり				
43	1	SKP5651	深鉢	中	II d	LR	横	隆線文、隆線上縄文施文				
		SKP7013	深鉢	中	II a	LR	横	隆線文	キャリバー形			
		SKP7064	深鉢	中	II d	—	—	隆線文、隆線上刺突				
		SKP7042	深鉢	中	II b	RLR	縦	沈線区画文内縄文充填				
		SN6129	鉢	晩	IV b	—	—	変形工字文				
		ST5101(KQ57)	深鉢	前	I a	LR	横					
		ST5101(KS58)	深鉢	前	I a	L燃	横、縦	口縁部横位施文、胴部縦位施文				
		ST5101(KS58)	深鉢	前	I a	R燃	横、縦	口縁部横位施文、胴部縦位施文				
		ST5101(KS58)	深鉢	前	I a	R燃	斜、縦	口唇部縄文施文				
		ST5101(KR57)	深鉢	前	I b	LR+RL	横	結束羽状縄文				
		ST5101(KS57)	深鉢	前	I b	LR+RL	横	結束羽状縄文	小波状口縁			
		ST5101(KS58)	深鉢	前	I b	LR+RL	横	結束羽状縄文				
		ST5101(KQ56)	深鉢	前	I b	LR+RL	横	結束羽状縄文				
		ST5101(KR58)	深鉢	前	I b	LR+RL	横	結束羽状縄文				
		ST5101(KS59)	深鉢	前	I b	—	—	頸部横位連続爪形刺突文4段以上				
ST5101(KS58)	深鉢	前	I b	LR+RL	横	頸部横位連続爪形刺突文3段以上、結束羽状縄文						
ST5101(KR57)	深鉢	前	I b	LR(+RL)	横	頸部横位連続爪形刺突文2段以上						
ST5101(KS59)	深鉢	前	I b	—	—	頸部横位連続爪形刺突文2段以上						
ST5101(KS59)	深鉢	前	I b	LR(+RL)	横	頸部横位刺突列1段以上、結束羽状縄文						
ST5101(KS58)	深鉢	前	I b	LR+RL	横	結束羽状縄文、頸部撚紐原体側面押圧2条						
ST5101(KR57)	深鉢	前	I b	LR+RL	横	結束羽状縄文、頸部撚紐原体側面押圧2条						
ST5101(KS58)	深鉢	前	I b	LR+RL	横	結束羽状縄文、頸部撚紐原体側面押圧2条						
ST5101(KS57)	深鉢	前	I b	LR+RL	横	結束羽状縄文、頸部撚紐原体側面押圧3条						
44	1	ST5101(KS58)	深鉢	前	I c	LR+RL	横	口縁部・胴上半部結束羽状縄文、胴下半部多軸絡条体縦位回転施文、頸部撚紐原体側面押圧3条				
		ST5101(KS58)	深鉢	前	I c	LR+RL	横	結束羽状縄文、頸部撚紐原体側面押圧3条・絡条体側面押圧2条				
		ST5101(KR57)	深鉢	前	I c	RL(+LR)	横	口縁部撚紐原体側面押圧2条				
		ST5101(KR57)	深鉢	前	I c	LR	横、縦	口縁部縦位・頸部横位撚紐原体側面押圧2条、結束羽状縄文				
		ST5101(KQ56)	深鉢	前	I b	LR+RL	横	結束羽状縄文、頸部撚紐原体側面押圧2条				
		ST5101(KS58)	深鉢	前	I b	LR(+RL)	横	頸部撚紐原体側面押圧4条				
		ST5101(KS58)	深鉢	前	I c	RL(+LR)	横	頸部撚紐原体側面押圧3条・絡条体側面押圧2条				
		ST5101(KR58)	深鉢	前	I b	LR(+RL)	横	頸部撚紐原体側面押圧3条				
		ST5101(KS57)	深鉢	前	I b	LR+RL	横	結束羽状縄文、頸部撚紐原体側面押圧2条				
		45	1	ST5101(KS58)	深鉢	前	I b	LR+RL	横	結束羽状縄文		
				ST5101(KS57)	深鉢	前	I b	LR+RL	横	結束羽状縄文		
				ST5101(KS58)	深鉢	前	I b	LR+RL	横	結束羽状縄文		
				ST5101(KQ56)	深鉢	前	I b	LR+RL	横	結束羽状縄文		

第8表 土器観察表(3)

遺構	図	番号	出土地点	器種	時期	分類	縄文原体	縄文回転方向	文様	備考		
遺構内	47	5	ST5101 (KP55)	深鉢	前	I b	LR+RL	横	結束羽状縄文			
		6	ST5101 (KS59)	深鉢	前	I b	LR+RL	横	結束羽状縄文			
		7	ST5101 (KS59)	深鉢	前	I b	LR+RL	横	結束羽状縄文			
		8	ST5101 (KR56)	深鉢	前	I b	LR+RL	横	口縁部撚紐原体側面押圧2条、結束羽状縄文			
		9	ST5101 (KR57)	深鉢	前	I b	LR+RL	横	結束羽状縄文			
		10	ST5101 (KR57)	深鉢	前	I b	L+R	横	口縁部撚紐原体側面押圧3条、結束羽状縄文			
		11	ST5101 (KS58)	深鉢	前	I b	L+R	横	口縁部撚紐原体側面押圧2条、結束羽状縄文			
		12	ST5101 (KS57)	深鉢	前	I b	LR+RL	横	結束羽状縄文、頸部撚紐原体側面押圧2条以上			
		13	ST5101 (KS58)	深鉢	前	I c	R	横	口縁部鋸歯状撚紐原体側面押圧4条以上・頸部2条以上			
		14	ST5101 (KS58)	深鉢	前	I b	RL(+LR)	横	口縁部撚紐原体側面押圧8条、結束羽状縄文			
		15	ST5101 (KR57)	深鉢	前	I b	LR+RL	横	口縁部撚紐原体側面押圧3条以上			
		16	ST5101 (KS58)	深鉢	前	I b	LR+RL	横	口縁部撚紐原体側面押圧8条、結束羽状縄文			
		17	ST5101 (KS57)	深鉢	前	I b	LR+RL	横	結束羽状縄文、頸部撚紐原体側面押圧2条以上			
		18	ST5101 (KR57)	深鉢	前	I c	LR(+RL)	横	頸部撚紐原体側面押圧2条以上			
		19	ST5101 (KS58)	深鉢	前	I c	LR(+RL)	横	頸部撚紐原体側面押圧2条以上・絡条体側面押圧2条以上			
		20	ST5101 (KS58)	深鉢	前	I c	LR+RL	横	結束羽状縄文、頸部撚紐原体側面押圧2条以上・絡条体側面押圧2条以上			
		遺構内	48	1	ST5101 (KS59)	深鉢	前	I c	LR+RL	横	口縁部鋸歯状撚紐原体側面押圧8条・頸部3条、結束羽状縄文	
				2	ST5101 (KR57)	深鉢	前	I	LR+RL	横	結束羽状縄文	
				3	ST5101 (KR57)	深鉢	前	I	LR+RL	横	結束羽状縄文	
				4	ST5101 (KQ56)	深鉢	前	I	LR+RL	横	結束羽状縄文	
5	ST5101 (KQ56)			深鉢	前	I	LR+RL	横	結束羽状縄文			
6	ST5101 (KP56)			深鉢	前	I	LR+RL	横	結束羽状縄文			
7	ST5101 (KQ56)			深鉢	前	I	LR+RL	横	非結束羽状縄文			
8	ST5101 (KQ56)			深鉢	前	I	LR(+RL)	横	非結束羽状縄文			
9	ST5101 (KQ56)			深鉢	前	I	LR+RL	横	非結束羽状縄文			
10	ST5101 (KQ55)			深鉢	前	I	LR+RL	横	結束羽状縄文			
11	ST5101 (KQ57)			深鉢	前	I	LR+RL	横	非結束羽状縄文			
12	ST5101 (KS59)			深鉢	前	I	LR+RL	横	結束羽状縄文	補修孔あり		
13	ST5101 (KR58)			深鉢	前	I	LR+RL	横	結束羽状縄文			
14	ST5101 (KS58)			深鉢	前	I a	LR	横	結束羽状縄文			
15	ST5101 (KR57)			深鉢	前	I c	R	縦	口縁部絡条体側面押圧3条、撚糸文			
16	ST5101 (KR58)			深鉢	前	I c	R	縦、横	撚糸文			
17	ST5101 (KR58)			深鉢	前	I c	R	縦	撚糸文			
18	ST5101 (KR58)			深鉢	前	I c	R	縦	撚糸文			
19	ST5101 (KS58)			深鉢	前	I c	R	縦	撚糸文			
遺構内	49	1	ST5101 (KS58)	深鉢	前	I	R	縦	撚糸文			
		2	ST5101 (KS58)	深鉢	前	I	R	縦	撚糸文			
		3	ST5101 (KS57)	深鉢	前	I	LR	(横)	底面縄文施文			
		4	ST5101 (KR57)	深鉢	前	I b	LR+RL、R	縦、横	撚糸文+結束羽状縄文			
		5	ST5101 (KS58)	深鉢	前	I b	LR、RL、R	横、縦	縄文+撚糸文+縄文			
		6	ST5101 (KQ57)	深鉢	前	I c	L	縦	多軸絡条体縦位回転施文			
		7	ST5101 (KS58)	深鉢	前	I c	R	縦	多軸絡条体縦位回転施文			
		8	ST5101 (KS58)	深鉢	前	I c	RL、R	横、縦	縄文+多軸絡条体回転縦位施文			
遺構内	50	1	ST5101 (KS58)	深鉢	前	I d	R	縦	木目状撚糸文			
		2	ST5101 (KR58)	深鉢	前	I d	R	縦	木目状撚糸文			
		3	ST5101 (KR58)	深鉢	前	I d	R	縦	木目状撚糸文			
		4	ST5101 (KR58)	深鉢	前	I d	R	縦	木目状撚糸文			
		5	ST5101	深鉢	中	II b	RL	縦	縦位沈線区画内縄文充填			
		6	ST5101	深鉢	中	II b	RL	縦	縦位沈線区画内縄文充填			
		7	ST5101	深鉢	後	III b	—	—	横位平行沈線文			
		8	ST5101	深鉢	後	III b	RL	横	2本一組の弧状沈線文			
		9	ST5101 (KS57)	深鉢	後	III c	LR	横	横位平行沈線区内縄文充填			
		10	ST5101	深鉢	後	III c	—	—	無文			
		11	ST5101 (KS57)	深鉢	後	III b	—	—	無文			
		12	ST5101	深鉢	後	III b	—	—	無文			
遺構外	106	1	KP57	深鉢	前	I c	RL	横	口縁部斜格子状撚紐原体側面押圧、頸部絡条体側面押圧2条以上			
		2	KR57	深鉢	前	I b	LR	横	頸部連続爪形刺突列3段以上			
		3	KP53	深鉢	後	III b	—	—	2本一組の弧状沈線文			
		4	MF57	鉢	晩	IV b	LR	横	口縁部横位沈線文			
		5	LF58	鉢	晩	IV b	—	—	表裏両面に平行沈線2条	波状口縁		

第9表 石器観察表(1)

図	番号	出土地点	器種	長さ (mm)	幅 (mm)	厚さ (mm)	重さ (g)	備考		
遺 構 内	51	1	SI 5060	凹石	97.0	93.0	59.0	733.1	両面磨面	
		2	SI 5060	石皿	75.0	51.0	26.0	82.7		
		3	SI 5060	縦型石匙	54.5	24.7	8.3	9.1		
		4	SI 5060	石皿	194.0	169.0	30.0	1,218.0	両面磨面	
		5	SI 5060	石皿	175.0	173.0	27.0	757.9	両面磨面	
	52	1	SI 5060	石皿	222.0	187.0	27.0	916.1	両面磨面	
		2	SI 5073	石筥	58.3	44.8	12.2	38.6	打面調整剥離技法	
		3	SI 5080	スクレイパー	47.5	41.4	9.8	10.4		
		4	SI 5083	二次加工のある剥片	43.2	35.0	13.4	21.6		
		5	SI 5083	不定形石器	33.1	31.5	11.7	13.2	左側縁刃部	
		6	SI 5083	凹石	98.0	80.0	51.0	551.8	両面磨面	
		7	SI 5083	石鏃	24.7	18.3	4.4	1.2	平基有茎	
	53	1	SK5001	石筥	99.4	37.3	17.7	51.9		
		2	SK5001	磨製石斧	84.0	34.0	16.0	86.3		
		3	SK5007	スクレイパー	43.2	39.3	14.4	23.8		
		4	SK5007	半円状扁平打製石器	94.1	133.6	24.9	330.0	半欠	
		5	SK5009	石鏃	60.0	64.0	21.0	137.6	2箇所打ち欠き	
		6	SK5009	凹石	118.0	96.0	60.0	801.7	片面磨面	
		7	SK5030	縦型石匙	56.2	41.4	8.9	18.3		
		8	SK5071	縦型石匙	36.9	19.0	6.2	2.7		
	54	1	SK5040	石鏃	22.7	13.4	3.5	0.9	凸基有茎	
		2	SK5044	石鏃	22.7	12.0	6.4	1.3	先端摩滅	
		3	SK5071	石鏃	21.1	12.6	5.8	1.0	凸基有茎	
		4	SK5081	石鏃	23.9	18.7	5.1	1.4	平基有茎	
		5	SK5081	石鏃	15.4	11.2	2.8	0.3	凹基無茎、先端欠、アスファルト付着	
		6	SD63(LH45)	石鏃	26.1	15.5	3.6	0.9	平基有茎、基部端欠、アスファルト付着	
		7	SD63(LJ 47)	石鏃	45.7	14.8	6.4	2.9	凸基有茎、基部端欠、アスファルト付着	
		8	SD63(LG44)	ピエス・エスキーユ	34.0	16.3	9.0	5.2	黒曜石	
		9	SD5102(KQ55)	石鏃	33.7	15.3	4.1	1.7	凸基無茎(円基)	
		10	SD5102(KQ54)	ピエス・エスキーユ	20.8	17.4	4.9	1.6	黒曜石	
		11	SK5552	凹石	120.0	75.0	51.0	768.4	全面磨面	
	55	1	SD63(LH45)	縦型石匙	82.4	44.4	14.1	33.8		
		2	SD63(LG45)	スクレイパー	43.5	56.2	23.9	58.4		
		3	SD63(LI 46)	磨製石斧	106.0	51.0	21.0	158.9		
		4	SD63(LI 46)	磨製石斧	77.0	38.0	25.0	125.3		
		5	SD63(LI 46)	石鏃	51.0	58.0	23.0	94.8	2箇所打ち欠き	
		6	SD63(LH45)	凹石	74.0	107.0	31.0	249.9	全面磨面	
		7	SD63(LI 46)	石棒	23.0	19.0	5.0	2.1	基部	
		8	SD5102(KP54)	石筥	83.0	36.4	13.7	39.4		
		9	SD5102(KP54)	不定形石器	39.2	65.7	18.7	40.8	末端側側縁刃部	
	56	1	SD5102(KP54)	不定形石器	40.7	35.3	10.7	12.7	右側縁刃部	
		2	SKP5614	石筥	98.8	26.3	14.4	34.8		
		3	SKP5816	石鏃	24.3	17.9	3.1	0.7	凹基無茎、先端摩滅	
		4	SKP5342	石皿	180.0	158.0	80.0	3,240.0		
		5	SKP7053	二次加工のある剥片	152.0	32.1	32.8	118.9		
		6	SKP7081	縦型石匙	40.9	23.9	7.3	5.4		
		7	SN6105(MH55)	不定形石器	42.1	71.9	15.5	51.0	左側縁刃部	
	57	1	ST5101(KS58)	石鏃	27.7	15.3	3.8	1.2	凸基無茎(円基)	
		2	ST5101(KS58)	石鏃	22.6	15.5	4.4	1.4	凸基無茎(円基)	
		3	ST5101(KS59)	縦型石匙	82.6	29.5	14.7	21.2	裏面左側縁光沢あり	
		4	ST5101(KS58)	縦型石匙	65.3	35.4	12.0	26.2		
		5	ST5101(KQ56)	縦型石匙	48.6	34.8	10.1	14.4	先端欠	
		6	ST5101(KS58)	スクレイパー	85.6	41.1	15.2	42.1		
		7	ST5101(KS58)	スクレイパー	52.3	32.5	9.8	10.0		
		8	ST5101(KS58)	不定形石器	35.2	29.8	8.7	7.3	左側縁刃部	
		9	ST5101(KQ57)	不定形石器	42.0	50.3	9.5	13.5	左側縁刃部	
	58	1	ST5101(KS57)	不定形石器	33.4	29.0	9.1	8.5	右側縁刃部	
		2	ST5101(KS58)	不定形石器	40.8	48.4	17.0	21.3	右側縁刃部	
		3	ST5101(KP55)	不定形石器	58.3	60.3	14.1	38.5	左側縁刃部	
		4	ST5101(KS58)	不定形石器	61.0	103.1	26.5	104.0	末端側側縁刃部	
		5	ST5101(KR57)	二次加工のある剥片	87.6	51.1	20.2	77.1		
		6	ST5101(KR57)	磨製石斧	105.0	48.0	31.0	238.3		
		7	ST5101(KQ56)	磨製石斧	71.0	36.0	16.0	78.6	側面磨り切り痕あり	
	59	1	ST5101(KQ56)	磨製石斧	109.0	71.0	29.0	222.8		
		2	ST5101(KQ56)	石鏃	86.0	47.0	23.0	158.7	2箇所打ち欠き	
		3	ST5101(KS57)	半円状扁平打製石器	117.7	162.9	15.5	361.0	半欠	
		4	ST5101(KS57)	半円状扁平打製石器	84.8	200.9	23.1	457.0	側縁磨痕あり	
		5	ST5101(KS59)	凹石	177.0	56.0	26.0	294.8		
		6	ST5101(KS57)	凹石	124.0	92.0	54.0	800.1	両面磨面	
	遺 構 外	107	1	LN39	石鏃	16.0	11.7	3.3	0.4	凸基有茎、黒曜石
			2	LM43	石鏃	26.4	14.3	4.3	1.0	凸基有茎、アスファルト付着
			3	LJ 42	石鏃	30.8	11.1	3.7	1.1	凸基有茎
			4	KT 53	石鏃	36.6	10.8	5.8	1.8	凸基有茎、アスファルト付着
			5	LI 43	石鏃	21.3	14.4	3.0	0.5	平基有茎、先端欠
			6	MJ 48	石鏃	35.0	12.6	4.3	1.5	凸基有茎

第9表 石器観察表(2)

107	7	LJ 45	石鏃	17.9	14.7	2.9	0.5	凹基有茎、アスファルト付着
	8	LQ39	石鏃	28.7	16.3	6.4	2.4	凸基無茎(円基)
	9	MG 56	石鏃	27.5	17.9	4.9	1.5	凹基無茎
	10	KN56	石鏃	18.9	13.2	3.0	0.5	凹基無茎、黒曜石
	11	LE 62	石鏃	16.9	14.5	3.9	0.6	先端欠 凹基無茎
	12	KT 56	石鏃	46.4	16.4	6.5	3.5	先端摩滅
	13	KT 53	石槍	44.3	18.3	7.7	4.6	
	14	MI 51	石鏃	36.6	9.4	6.7	2.0	両端摩滅
	15	LI 42	石鏃	46.4	52.8	8.6	14.3	先端摩滅
	16	KP 57	石鏃	38.7	63.9	13.2	20.5	先端欠
108	1	LD46	石筥	38.1	15.0	7.3	3.3	
	2	MG 56	石筥	88.9	34.6	18.4	58.1	
	3	LG 49	石筥	80.6	35.9	16.3	48.8	
	4	MP 39	石筥	49.3	38.4	10.7	25.5	打面調整剥離技法
	5	KS 58	石筥	78.5	35.1	19.0	61.0	基部端敲打痕
	6	KO55	石筥	96.2	41.5	21.3	89.9	
	7	LJ 43	石筥	65.6	37.3	16.0	32.6	
	8	LE 61	石筥	72.6	29.2	15.7	37.9	
	9	KS 50	石筥	89.7	35.6	19.3	66.2	
	10	MB31	トランシェ様石器	68.4	42.8	17.4	44.4	
109	1	LK45	縦型石匙	82.0	20.9	10.6	15.9	先端摩滅、打面調整剥離技法
	2	LA48	縦型石匙	74.0	31.8	14.2	26.7	
	3	MB31	縦型石匙	41.9	25.8	7.4	5.1	
	4	LF 60	横型石匙	52.5	70.5	11.6	31.4	末端側側縁光沢あり
	5	ME57	横型石匙	36.4	61.5	10.1	14.6	
	6	LA50	横型石匙	36.0	55.9	7.1	8.3	
	7	LJ 42	横型石匙	38.9	65.5	9.9	19.2	
	8	LS35	横型石匙	29.6	29.8	10.6	7.6	黒曜石
	9	LI 45	スクレイパー	40.3	30.3	12.9	16.6	
	10	KQ59	スクレイパー	48.3	49.3	16.4	36.6	
110	1	LG 57	スクレイパー	84.3	69.4	25.5	145.8	
	2	ME57	スクレイパー	42.7	38.5	11.2	13.3	
	3	KQ60	スクレイパー	62.0	54.0	30.0	95.3	
	4	LA56	スクレイパー	33.1	23.1	9.0	5.5	
	5	LG 60	スクレイパー	48.6	50.9	20.0	52.6	
	6	KL 57	スクレイパー	54.6	26.3	10.7	10.7	
111	1	LF 48	スクレイパー	25.0	27.7	10.6	7.1	
	2	KQ53	スクレイパー	51.5	31.5	17.7	28.3	
	3	KN56	スクレイパー	63.9	60.1	34.5	121.8	
	4	LF 59	不定形石器	83.2	31.8	11.4	26.6	左側縁刃部
	5	ME57	不定形石器	72.6	45.3	34.3	95.9	末端側縁刃部
	6	MG 56	不定形石器	71.8	40.4	23.7	60.0	左側縁刃部
112	1	ME 57	不定形石器	34.8	42.3	10.1	10.7	末端側縁刃部
	2	LI 42	垂飾品	19.2	15.8	3.8	1.0	黒曜石
	3	MJ 49	不定形石器	34.0	37.5	8.4	10.1	末端側縁刃部
	4	MI 49	微小剥離痕のある剥片	35.6	51.3	7.6	9.4	
	5	MJ 48	不定形石器	41.8	45.7	19.2	32.5	右側縁刃部
	6	LK45	磨製石斧	76.0	35.0	15.0	76.1	
	7	LJ 47	磨製石斧	61.0	37.0	20.0	83.4	
113	8	LN40	磨製石斧	50.0	19.0	9.0	14.0	
	9	KR 56	磨製石斧	70.0	40.0	19.0	98.3	
	1	MI 26	磨製石斧	109.0	37.0	24.0	153.2	
	2	LJ 42	磨製石斧	117.0	48.0	27.0	257.3	
	3	MO40	磨製石斧	130.0	58.0	30.0	310.9	
	4	LL 45	礫器	71.0	79.0	27.0	168.3	
	5	LJ 47	礫器	137.0	80.0	24.0	390.8	
114	6	LG59	石鏃	54.0	75.0	21.0	80.5	3箇所打ち欠き
	7	LM43	半円状扁平打製石器	98.0	159.0	31.0	580.0	
	1	KR 53	半円状扁平打製石器	96.0	121.0	21.0	342.3	半欠、側縁磨痕あり
	2	LF 61	凹石	98.0	54.0	35.0	201.9	
	3	LE 59	凹石	104.0	67.0	33.0	270.4	
	4	LG47	石皿	141.0	108.0	42.0	427.7	両面凹部あり
	5	MJ 49	凹石	90.0	89.0	29.0	341.2	周縁敲打痕
115	6	LI 42	凹石	145.0	76.0	42.0	431.9	
	7	LF 58	凹石	111.0	79.0	52.0	624.6	4面凹みあり
	8	LQ39	凹石	91.0	84.0	47.0	455.0	
	1	LB 49	岩版	39.0	33.0	10.0	7.5	中心孔・中心線あり
	2	KN57	円盤状石製品	71.0	48.0	11.0	43.5	
	3	LQ38	石鏃	83.0	60.0	23.0	187.3	2箇所打ち欠きあり
	4	KN58	有孔礫	47.0	39.0	12.0	20.9	自然礫
115	5	MN41	有孔砥石	127.0	62.0	30.0	245.6	仕上げ砥、貫通孔あり
	6	ME 57	砥石	79.0	48.0	25.0	116.2	仕上げ砥
	7	LB55	基石	20.0	21.0	4.0	2.6	淡色

第10表 木製品・木材観察表(1)

図	番号	遺構	出土位置	長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	種別	木取り	備考
84	1	SE6011	南半	19.8	0.9	0.5	箸	板目	
	2	SE6011	南半	18.4	0.7	0.6	箸	板目	
	3	SE6011	7層	16.6	0.7	0.5	箸	板目	
	4	SE6011	南半	16.2	0.9	0.4	箸	板目	
	5	SE6011	南半	15.7	0.8	0.7	箸	板目	
	6	SE6011	南半	15.5	0.9	0.3	箸	板目	
	7	SE6011	南半	14.4	0.8	0.6	箸	板目	
	8	SE6011	7層	13.8	0.8	0.4	箸	板目	
	9	SE6011	6層	12.4	0.7	0.6	箸	板目	
	10	SE6011	南半	9.8	0.6	0.4	箸	板目	
	11	SE6011	南半	11.5	0.6	0.5	箸	板目	
	12	SE6011	南半	9.2	0.7	0.4	箸	板目	
	13	SE6011	6層	10.9	1.1	0.5	箸	板目	
	14	SE6011	南半	1.6	2.2	0.4	漆器椀		両面漆塗、赤漆描画
	15	SE6011	6層	21.8	10.2	1.0	曲物底板	板目	
	16	SE6011	6層	8.7	7.9	1.1	曲物底板	板目	2点接合
	17	SE6011	6層	8.3	4.3	1.1	木製品	板目	
85	1	SE6011	6層	59.2	3.6	3.0	柄	板目	一端欠
	2	SE6011	南半	29.4	15.0	0.8	柄	板目	角柄
	3	SE6011	南半	22.7	1.8	0.6	へら	板目	
	4	SE6011	6層	27.3	1.5	1.4	へら	板目	
	5	SE6011	7層	7.0	3.2	2.5	くさび	板目	
	6	SE6011	南半	13.9	4.8	2.2	くさび	板目	
	7	SE6011	北東横木	7.3	1.3	0.9	角棒	正板	北東横木の一部
	8	SE6011	6層	7.8	2.3	1.3	端部炭化木片	板目	
	9	SE6011	西隅柱	9.0	3.3	2.7	角棒	正板	ほぞ穴の中の木、南西横木か?
86	1	SE6011	6層	23.2	5.2	4.1	角棒	正板	杭、一端尖
	2	SE6011	7層	21.2	4.7	2.7	角棒	正板	杭
	3	SE6011	6層	29.5	6.6	3.4	角棒	正板	ほぞ穴あり
	4	SE6011	南半	9.1	6.3	0.7	板材	板目	
	5	SE6011	7層	8.4	4.2	1.1	板材	板目	釘穴あり
	6	SE6011	7層	16.4	4.0	1.6	木片	板目	
	7	SE6011	南半	19.4	1.5	0.4	木片	板目	
	8	SE6011	7層	10.7	2.4	0.4	木片	板目	
	9	SE6011	6層	4.0	4.3	1.5	木片	板目	非杉
	10	SE6011	南半	2.9	0.4	0.3	木片	板目	
	11	SE6011	南半	3.2	0.6	0.1	木片	板目	
87	1	SE6012		7.8	0.7	0.5	箸		
	2	SE6012	6層 うらごめ土西	7.6	0.6	0.5	箸		
	3	SE6012	6層 うらごめ土西	23.8	2.8	1.2	角棒	板目	杭、一端尖
	4	SE6012	うらごめ土東	12.5	2.6	1.7	角棒	板目	杭、一端尖
	5	SE6012	うらごめ土	13.4	1.3	0.4	板材	板目	一端尖
	6	SE6012	うらごめ土	19.6	0.6	0.5	板材	板目	
	7	SE6012	うらごめ土	14.3	0.7	0.5	板材	板目	一端尖
	8	SE6012	井戸枠内中央	8.2	1.4	0.7	端部炭化木片	板目	
	9	SE6055	1層	20.9	8.6	0.9	曲物底板	板目	半欠
	10	SE6057		38.3	6.2	4.2	砧	正板	
88	1	SE6057	5層	1.1	1.7	0.5	漆器片		裏面全面赤
	2	SE6057	5層	1.3	1.5	0.4	漆器片		裏面全面赤
	3	SE6057		13.0	7.2	3.9	下駄	板目	小右
	4	SE6057		13.4	7.3	3.8	下駄	板目	小左
89	1	SE6097		21.9	0.6	0.6	箸		
	2	SE6097		21.8	0.7	0.4	箸		
	3	SE6097	3層下面下部	17.6	0.8	0.5	箸		
	4	SE6097		14.1	0.7	0.5	箸		
	5	SE6097		13.8	0.6	0.4	箸		
	6	SE6097		10.8	0.8	0.6	箸		
	7	SE6097	3層	8.9	0.5	0.5	箸		
	8	SE6097	3層	8.2	0.6	0.4	箸		
	9	SE6097		5.6	0.6	0.2	箸		
	10	SE6097		8.1	0.6	0.3	箸		
	11	SE6097	3層下面	7.7	0.7	0.3	箸		
	12	SE6097	3層下面	8.1	0.6	0.6	箸		
	13	SE6097		10.8	10.5	1.0	曲物底板		外面黒塗り
	14	SE6097		16.7	1.1	1.0	細棒		一端尖
	15	SE6097	3層	36.1	1.1	0.7	角棒	板目	接合
	16	SE6097		14.4	0.8	0.5	端部炭化木片		一端コゲ
	17	SE6097		5.8	1.8	0.8	端部炭化木片		一端コゲ
90	1	SE6097	3層	34.0	3.1	2.1	角棒	正板	
	2	SE6097	3層	26.8	2.6	1.8	角棒	正板	
	3	SE6097	3層	53.6	11.0	1.1	板材	板目	
	4	SE6097	3層	33.4	16.5	1.1	板材	板目	
91	1	SE6098	1層	11.8	0.6	0.4	箸	板目	
	2	SE6098	1層	11.7	0.7	0.4	箸	板目	
	3	SE6098	1層	8.1	0.8	0.5	箸	板目	
	4	SE6098		35.3	3.0	1.9	すりこぎ	板目	
	5	SE6098	1層	34.1	1.1	0.9	細棒	板目	両端尖
	6	SE6098		39.8	1.1	0.8	柄	板目	
	7	SE6098	1層	20.8	1.2	0.7	細棒	板目	
	8	SE6098		22.3	5.0	2.0	板材	板目	加工あり
	9	SE6098	井戸枠うらごめ	22.1	3.0	2.5	角棒	板目	両端尖
	10	SE6098	1層	34.9	3.0	1.1	板材	板目	
	11	SE6098	1層	15.0	2.6	2.5	板材	板目	節近くで湾曲
	12	SE6098	前西隅柱下、底直下	7.7	1.5	0.7	柄	板目	
	13	SE6098	1層	8.1	1.7	0.8	木片	板目	
92	1	SE6099	横木(S)	6.7	2.8	1.3	くさび	板目	一端くさび打ちこみ
	2	SE6099	5層	6.3	3.3	0.9	端部炭化木片	板目	
	3	SE6099	5層	7.2	1.7	0.7	端部炭化木片	板目	非杉
	4	SE6099	5層	11.1	3.9	1.3	木片	板目	一端両面コゲ
	5	SE6099	5層	24.1	7.6	0.6	端部炭化木片	板目	

第10表 木製品・木材観察表(2)

図	番号	遺構	出土位置	長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	種別	木取り	備考	
92	6	SE6099	5層	25.3	11.1	3.2	板材	柃目	厚板	
	7	SE6099	5層	11.8	2.1	0.7	椀皮		椀皮細枝	
	93	1	SE6140	2層	21.0	0.7	0.6	箸		
		2	SE6140	2層	20.8	0.7	0.5	箸		
		3	SE6140	2層	20.2	3.3	0.6	箸		
		4	SE6140	2層	20.2	0.8	0.4	箸		
		5	SE6140	2層	19.0	0.9	0.5	箸		
		6	SE6139	4層	17.1	1.4	0.5	箸		
		7	SE6140	2層	18.1	0.8	0.4	箸		
		8	SE6139		16.7	0.8	0.5	箸		
		9	SE6139	4層	15.9	0.7	0.4	箸		
		10	SE6140	2層	15.6	0.8	0.6	箸		
		11	SE6139	3層	12.7	0.7	0.5	箸		
		12	SE6139	3層	5.1	0.8	0.4	箸		
		13	SE6139	3層	5.6	0.9	0.4	箸		
		14	SE6139	3層	14.5	1.2	0.8	箸		
		15	SE6139	4層	1.9	5.0	0.3	曲物	柃目	中、貫通小孔あり
		16	SE6139	4層	2.7	8.3	0.3	曲物	柃目	中、キザミあり
		17	SE6139	4層	2.2	9.9	0.3	曲物	柃目	小、キザミ目あり
		18	SE6140	2層	15.1	1.5	0.4	曲物底板	柃目	破片
19		SE6139		13.6	1.0	0.6	へら	柃目	茶さじ状	
20		SE6139	13層	20.1	1.2	0.4	へら	板目		
94	1	SE6139		30.0	3.0	1.1	へら	板目	先端尖	
	2	SE6139	7層	31.1	2.8	0.9	へら	柃目		
	3	SE6139		11.6	3.1	1.6	くさび	柃目		
	4	SE6139	13層	10.7	2.3	1.4	くさび	正柃		
	5	SE6139	13層	19.9	1.2	0.9	柄	正柃		
	6	SE6139	10層	18.8	3.0	1.1	柄	板目	大	
	7	SE6139		13.3	1.4	0.5	へら	柃目		
	8	SE6139		18.6	1.4	0.6	端部炭化木片			
	9	SE6140		17.2	1.2	0.4	端部炭化木片			
	10	SE6140		12.7	1.0	0.6	端部炭化木片			
	11	SE6139		15.1	2.1	0.8	端部炭化木片		両端コゲ、木目ねじれ	
	12	SE6139		12.0	1.5	1.1	端部炭化木片	柃目	非杉、木目ねじれ	
	13	SE6139		9.5	2.6	0.9	端部炭化木片		広葉樹または根か節	
	14	SE6139		11.0	1.7	0.6	端部炭化木片	板目	非杉、木目ねじれ	
	15	SE6139	13層	5.9	1.4	0.9	端部炭化木片			
95	1	SE6139	3層	47.3	2.1	0.7	細棒	板目		
	2	SE6139	8層	34.7	2.7	1.4	木片	正柃	先端	
	3	SE6139	9層	20.3	3.7	2.7	角棒	正柃		
	4	SE6139	3層	16.9	1.9	1.6	柄	正柃		
	5	SE6139	6層	27.5	2.1	1.7	角棒	正柃	先端	
	6	SE6139		6.9	1.1	0.8	角棒	正柃		
	7	SE6139	14層	19.9	7.3	2.5	板材	板目	切断	
	8	SE6139	7層	13.7	3.1	0.5	木片	柃目		
	9	SE6139	13層	5.7	2.0	0.9	木片	柃目		
96	1	SE6139	5層	19.7	8.0	4.4	板材	柃目	厚板、両端切断	
	2	SE6139		13.3	6.0	4.0	板材	柃目	厚板、木口に小円孔10か所あり	
97	1	SE6140	2層	22.4	0.9	0.4	箸			
	2	SE6140	2層	21.6	0.7	0.3	箸			
	3	SE6140	2層	21.0	2.9	0.6	箸			
	4	SE6140	2層	21.5	0.9	0.6	箸			
	5	SE6140	2層	21.3	0.8	0.4	箸			
	6	SE6140	底直上	21.1	0.9	0.6	箸			
	7	SE6140	2層	20.8	1.2	0.6	箸			
	8	SE6140	2層	20.9	0.7	0.4	箸			
	9	SE6140	2層	20.8	0.8	0.4	箸			
	10	SE6140	2層	20.7	0.8	0.4	箸			
	11	SE6140	2層	20.8	0.7	0.5	箸			
	12	SE6140	2層	20.5	0.7	0.5	箸			
	13	SE6140	2層	20.7	0.9	0.6	箸			
	14	SE6140		19.7	0.7	0.4	箸			
	15	SE6140	2層	19.4	0.9	0.4	箸			
	16	SE6140	2層	17.3	1.3	0.4	箸			
	17	SE6140	2層	17.5	0.8	0.4	箸			
	18	SE6140	2層	16.7	0.8	0.5	箸			
	19	SE6140	底直上	16.6	0.8	0.4	箸			
	20	SE6140	2層	16.3	0.9	0.5	箸			
	21	SE6140	2層	15.8	0.8	0.4	箸			
	22	SE6140	2層	14.9	0.6	0.4	箸			
	23	SE6140	2層	14.1	0.7	0.4	箸			
	24	SE6140	2層	12.8	0.7	0.4	箸			
	25	SE6140	2層	13.1	1.6	0.6	箸			
98	1	SE6140	2層	13.0	0.8	0.6	箸			
	2	SE6140	2層	12.8	1.7	0.6	箸			
	3	SE6140	2層	13.0	0.6	0.5	箸			
	4	SE6140	2層	13.0	1.0	0.4	箸			
	5	SE6140	2層	10.8	0.8	0.4	箸			
	6	SE6140	底直上	10.8	0.8	0.1	箸			
	7	SE6140	底直上	8.6	0.6	0.3	箸			
	8	SE6140	2層	8.0	1.5	0.6	箸			
	9	SE6140	2層	7.8	1.8	0.5	箸			
	10	SE6140	2層	7.4	1.4	0.5	箸			
	11	SE6140	2層	1.8	13.6	0.4	曲物		外面黒塗り、内面キザミ目あり	
	12	SE6140	2層	17.1	27.6	2.5	曲物桶			
99	1	SE6140	2層	21.0	8.3	1.2	曲物底板	柃目	表面黒塗り	
	2	SE6140	2層	36.7	34.0	1.0	折敷			
100	1	SE6140	2層	25.1	1.1	0.4	へら	柃目		
	2	SE6140	2層	20.1	1.3	0.7	へら	板目		
	3	SE6140	2層	15.2	1.7	0.9	へら	追柃		



第10表 木製品・木材観察表(3)

図	番号	遺構	出土位置	長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	種別	木取り	備考
100	4	SE6140	2層	29.2	2.3	0.8	板材	板目	
	5	SE6140		9.1	2.8	2.4	くさび		
	6	SE6140	2層	13.5	3.3	2.1	角棒	榫目	端尖
	7	SE6140	2層	13.9	2.4	1.2	へら	榫目	カギ欠きあり
	8	SE6140	2層	20.6	0.5	0.3	端部炭化木片		細棒
	9	SE6140	底直上	24.3	0.8	0.4	端部炭化木片		
	10	SE6140	2層	23.6	1.1	0.6	端部炭化木片	榫目	
	11	SE6140	2層	21.8	1.0	0.8	端部炭化木片	正榫	
	12	SE6140	2層	20.7	0.9	0.5	端部炭化木片	榫目	
	13	SE6140	3層	24.4	2.2	1.1	木片	板目	
	14	SE6140	3層	17.3	1.1	1.0	木片	榫目	
	15	SE6140	2層	17.0	1.1	0.8	端部炭化木片	榫目	非杉
	16	SE6140	2層	17.1	1.7	0.6	木片	板目	曲がり節近い
	1	SE6140	2層	15.5	1.1	0.4	端部炭化木片	板目	
	2	SE6140	2層	15.6	1.3	0.8	木片		
	3	SE6140	2層	13.4	0.6	0.4	端部炭化木片		
4	SE6140	2層	11.0	0.8	0.4	端部炭化木片	板目	細棒 一端尖	
5	SE6140	2層	10.3	1.1	0.9	端部炭化木片	板目	非杉	
6	SE6140	底直上	6.4	0.6	0.5	端部炭化木片		はし状	
7	SE6140	2層	20.1	1.3	0.5	端部炭化木片	板目	へら状	
8	SE6140	2層	20.4	1.6	0.4	端部炭化木片	板目	へら状	
9	SE6140	2層	14.0	1.0	0.5	端部炭化木片			
10	SE6140	3層	12.7	1.8	0.8	木片	榫目		
11	SE6140	2層	10.2	1.0	0.6	端部炭化木片	榫目		
12	SE6140	2層	9.8	1.6	0.4	端部炭化木片	板目		
13	SE6140	2層	10.7	1.6	1.1	端部炭化木片	板目	非杉、片面全面コゲ	
14	SE6140	2層	10.2	1.1	0.8	木片	板目		
15	SE6140	2層	7.9	1.3	0.7	木片			
16	SE6140	2層	7.2	1.2	0.9	木片			
17	SE6140	2層	5.7	1.8	1.0	端部炭化木片			
18	SE6140	2層	4.7	1.4	0.5	木片		非杉	
19	SE6140	2層	8.4	1.4	1.1	木片			
20	SE6140	2層	14.2	3.1	1.4	枝		非杉	
21	SE6140	2層	12.0	3.2	2.9	桜皮		一端コゲあり	
22	SE6140	2層	3.0	0.7	0.6	枝		竹	
1	SE6140	2層	83.3	8.3	4.2	角棒	板目	両端加工	
2	SE6140	2層	60.0	6.6	2.9	角棒	榫目		
3	SE6140	2層	88.5	10.2	1.0	板材	板目		
4	SE6140	2層	52.2	10.4	1.6	板材	板目	折れあり	
5	SE6140		55.9	15.4	1.3	板材	榫目		
6	SE6140	2層	29.4	7.0	1.0	板材	榫目		
1	SE6140	2層	40.0	13.9	1.4	板材	榫目	釘穴あり	
2	SE6140	2層	11.8	6.4	4.8	柱材	正榫		
3	SE6140	2層	9.6	3.9	2.1	角棒	榫目		
4	SE6140	2層	5.3	1.5	0.9	木片	榫目		
5	SE6140	2層	24.0	2.5	2.0	角棒	榫目		
6	SE6140	2層	5.2	2.5	1.8	桜皮			
7	SE6140	2層	1.6	3.0	0.7	木片	榫目		
8	SE6140	2層	1.5	4.2	0.4	木片	榫目		
1	SE6164	9層	18.7	0.8	0.3	箸			
2	SE6164	9層	18.2	0.7	0.4	箸			
3	SE6164	1~5層	25.5	3.5	1.4	板材	板目	一端尖	
4	SE6164	11層	22.8	5.7	0.3	桜皮		大	
5	SE6164		45.1	18.8	2.0	板材	榫目		
6	SE6164		69.4	13.3	1.5	板材	板目		
1	SK6010		17.1	10.0	3.8	下駄			
2	SE6058		16.4	0.9	0.5	箸			
3	SKP6609		21.6	17.7	6.7	厚板材	榫目		
4	SKP6613		25.1	18.9	8.1	厚板材	榫目	刃物キズあり	
5	SKP6613		24.9	15.7	5.8	厚板材	榫目		
1	SE6011	東隅柱	78.4	13.7	4.5	板材	榫目	ほぞ穴あり	
2	SE6011	南隅柱	58.0	13.5	4.4	板材	榫目	ほぞ穴あり、厚板	
3	SE6011	西隅柱	80.8	12.4	5.7	板材	榫目	ほぞ穴あり	
4	SE6011	北隅柱	74.5	15.1	3.3	板材	榫目	ほぞ穴あり	
5	SE6011	南西横木	82.4	5.9	3.0	板材	榫目	一端加工あり	
6	SE6011	南西側板(内側)	72.9	31.8	3.2	板材	追榫		
7	SE6011	南西側板(内側)	72.2	30.6	4.4	板材	追榫		
8	SE6011	南半	42.6	9.0	4.4	板材	正榫	一端ほぞ穴	
9	SE6012	東隅柱	58.7	15.7	11.1	柱材	みかん割り	ほぞ穴2あり	
10	SE6012	南隅柱	66.4	15.7	8.9	柱材	みかん割り	ほぞ穴2あり	
11	SE6012	西隅柱	70.2	14.9	8.7	柱材	みかん割り	ほぞ穴2あり	
12	SE6012	南東横木	70.9	4.5	3.3	角棒	正榫	両端加工あり	
13	SE6012	南西横木	74.4	5.0	4.2	角棒	正榫	両端加工あり	
14	SE6012	北東横木	76.7	6.1	3.4	角棒	正榫	両端加工あり	
15	SE6012	南東側板	70.3	17.9	1.6	板材	榫目		
16	SE6012	南東側板	69.6	11.1	1.5	板材	榫目		
17	SE6012	南東側板	64.3	15.0	1.8	板材	榫目		
18	SE6012	南東側板(内側)	62.0	21.0	1.1	板材	榫目		
19	SE6012	南東側板	55.6	21.1	1.4	板材	榫目		
20	SE6012	南西側板	59.3	15.9	1.1	板材	榫目		
21	SE6012	南西側板(内側)	74.5	20.2	3.4	板材	榫目		
22	SE6012	南西側板	54.7	17.6	2.3	板材	榫目		
23	SE6012	北西側板(外側)	69.8	19.1	1.4	板材	榫目		
24	SE6051		92.0	6.0	3.1	角棒	榫目		
25	SE6051		55.0	7.3	3.5	角棒	榫目		
26	SE6051	7層	68.0	19.2	2.5	板材	板目		
27	SE6057		81.6	14.2	7.9	柱材	榫目	井戸枠支柱	
28	SE6057		65.5	15.3	7.9	柱材	四方榫	井戸枠支柱	
29	SE6057		78.1	5.7	2.5	角棒	榫目	井戸枠横木	
付図5	1	SE6057		96.9	16.7	2.4	板材	板目	

第10表 木製品・木材観察表(4)

図	番号	遺構	出土位置	長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	種別	木取り	備考	
付図5	2	SE6057		90.1	15.3	1.0	板材	榫目		
	3	SE6057		65.8	20.0	1.0	板材	榫目		
	4	SE6057		66.3	10.6	1.5	板材	榫目		
	5	SE6057		62.9	4.3	2.1	板材	榫目		
	6	SE6057		49.7	15.0	1.4	板材	榫目		
	7	SE6057		50.1	20.1	1.0	板材	榫目		
	8	SE6057		40.7	4.2	1.4	板材	榫目	釘穴1あり	
	9	SE6057		29.2	20.0	1.8	板材	榫目	釘穴1あり	
	10	SE6057		46.9	7.1	3.8	角棒	四方榫		
	11	SE6099	井戸枠隅柱(SW)		50.4	13.1	11.8	柱材	正榫	ほぞ穴2方向
	12	SE6099	隅柱(NW)		42.5	13.0	9.0	柱材	正榫	ほぞ穴2方向
	13	SE6099	横木(N)		91.4	8.4	5.1	角棒	正榫	くさび用割れあり
	14	SE6099	横木(W)		90.6	7.0	4.5	角棒	正榫	くさび用割れあり
	15	SE6099	横木(S)		96.0	9.0	4.9	木片	榫目	一端コゲ
	16	SE6099	5層		88.4	11.2	1.0	板材	榫目	長板
	17	SE6139	東横木		62.9	4.3	2.6	角棒	板目	井戸枠、両端加工
	18	SE6139	南横木		64.3	5.3	3.6	角棒	板目	井戸枠、両端加工
	19	SE6139	東側板		65.6	14.1	1.2	板材	板目	井戸枠
	20	SE6139	東側板		8.8	8.4	1.3	板材	板目	
	21	SE6139	東側板		47.2	13.8	2.0	板材	板目	
	22	SE6139	東側板		36.3	12.7	1.3	板材	板目	井戸枠
	23	SE6139	東側板		37.1	6.6	0.8	板材	板目	井戸枠
	24	SE6139	東側板		30.9	6.7	1.1	板材	板目	井戸枠
	25	SE6139	東側板		31.6	6.1	1.0	板材	板目	井戸枠
	26	SE6139	東側板		28.5	3.9	1.0	板材	板目	井戸枠
	27	SE6139	東側板		15.1	4.7	0.7	板材	榫目	井戸枠
	28	SE6139	東側板		17.7	5.1	0.7	板材	榫目	井戸枠
	29	SE6139	東側板		18.9	3.8	1.6	板材	榫目	井戸枠
	30	SE6139	東側板		24.8	4.6	0.9	板材	板目	井戸枠
	31	SE6139	東側板		25.3	4.8	1.1	板材	板目	井戸枠
	32	SE6139	東側板		28.8	7.3	1.6	板材	板目	井戸枠
	33	SE6139	南側板		66.4	8.5	1.5	板材	板目	井戸枠、先端尖
	34	SE6139	南側板		60.7	11.8	1.6	板材	板目	井戸枠
	35	SE6139	南側板		59.7	14.9	1.7	板材	板目	井戸枠、先端尖
	36	SE6139	南側板		50.6	7.4	0.8	板材	板目	井戸枠
	37	SE6139	南側板		42.4	10.0	1.0	板材	榫目	井戸枠
	38	SE6139	南側板		46.6	10.0	2.0	板材	板目	井戸枠
	39	SE6139	南側板		11.5	8.0	1.2	板材	榫目	井戸枠
	40	SE6139	南側板		19.9	10.1	1.6	板材	板目	井戸枠
	41	SE6139	南側板		29.5	8.2	1.4	板材	板目	井戸枠、先端尖
	42	SE6139	南側板		35.9	7.7	0.7	板材	榫目	先端斜め切り
	43	SE6139	南側板		42.3	10.1	1.4	板材	榫目	井戸枠
	44	SE6139	北側板		32.6	14.5	1.6	板材	板目	井戸枠
	45	SE6139	西側板		68.6	21.8	2.8	板材	榫目	井戸枠
	46	SE6139	西側板		41.5	19.2	1.7	板材	榫目	井戸枠
	47	SE6139	西側板		39.7	12.7	0.8	板材	追榫	3板接合
	48	SE6139	西側板		20.1	17.0	1.2	板材	板目	井戸枠
	49	SE6139	西側板		16.7	12.9	1.5	板材	板目	井戸枠
	50	SE6139	北側板		80.1	10.4	2.5	板材	榫目	井戸枠
	51	SE6139	北側板		35.9	10.6	1.2	板材	板目	井戸枠
	52	SE6139	北側板		48.7	11.5	1.5	板材	板目	井戸枠
	53	SE6139	北側板		59.2	17.6	1.5	板材	板目	井戸枠
	54	SE6139	北側板		28.2	7.9	0.5	板材	榫目	井戸枠
	付図6	1	SE6098	南東隅柱	43.8	12.9	9.0	柱材	みかん割り	
2		SE6098	南西隅柱	56.5	13.9	9.1	柱材	みかん割り	ほぞ穴2段	
3		SE6098	北西隅柱	57.8	11.9	9.3	柱材	みかん割り	ほぞ穴2段	
4		SE6098	北東隅柱	47.2	9.0	8.6	柱材	みかん割り	ほぞ穴2段	
5		SE6098	東横木	66.5	4.7	3.0	角棒	正榫		
6		SE6098	南横木	69.9	6.3	3.4	角棒	正榫	両端細(差し込み痕あり)	
7		SE6098	井戸枠西横木	75.5	6.8	4.2	角棒	みかん割り		
8		SE6098	井戸枠北横木	68.3	8.2	3.0	角棒	正榫	節あり、両端細	
9		SE6098	東側板(内側)	46.5	30.2	3.5	板材	榫目	井戸枠	
10		SE6098	東側板(内側)	46.1	23.6	3.5	板材	榫目	井戸枠	
11		SE6098	東側板(外側)	32.1	5.0	1.1	板材	榫目	井戸枠	
12		SE6098	東側板(外側)	41.2	9.9	1.9	板材	榫目	井戸枠	
13		SE6098	南側板(内側)	47.6	54.6	4.1	板材	榫目	井戸枠	
14		SE6098	南側板(内側)	43.8	22.7	3.5	板材	榫目		
15		SE6098	南側板(外側)	48.9	18.9	2.7	板材	榫目		
16		SE6098	南側板(外側)	40.7	15.8	2.9	板材	榫目		
17		SE6098	南側板(外側)	41.4	15.5	2.6	板材	榫目		
18		SE6098	南側板(外側)	38.3	13.7	1.4	板材	榫目		
19		SE6098	南側板(外側)	39.0	10.1	1.5	板材	榫目		
20		SE6098	南西隅側板	29.7	20.1	2.5	板材	榫目		
21		SE6098	西側板	51.3	34.1	3.1	板材	追榫	井戸枠	
22		SE6098	西側板	54.5	56.2	5.7	板材	追榫	大	
23		SE6098	西側板(外側)	51.1	16.9	2.1	板材	榫目		
24		SE6098	西側板(外側)	27.8	13.3	1.2	板材	榫目		
25		SE6098	北西側板	42.6	8.6	0.9	板材	榫目		
26		SE6098	北西隅側板(外側)	35.3	13.3	1.3	板材	榫目		
27		SE6098	北側板(内側)	51.0	23.4	5.8	板材	追榫		
28		SE6098	北側板(内側)	36.5	14.1	0.9	板材	榫目		
29		SE6098	北側板(外側)	34.6	19.9	1.9	板材	追榫		
30		SE6098	北側板(外側)	32.1	28.3	2.4	板材	追榫	接合	
31		SE6098	北側板(外側)	38.4	22.0	2.8	板材	追榫	非貫通孔あり	
32		SE6098	北側板(外側)	44.7	7.0	1.5	板材	榫目		
33		SE6098	北側板(外側)	42.6	9.0	1.3	板材	榫目		
34		SE6098	北側板(外側)	41.9	3.9	3.1	角棒	正榫	両端尖	
35		SE6098	北側板(内側)	50.5	49.1	4.2	板材	追榫	厚割板	
36		SE6098	北東隅側板	41.8	22.9	3.6	板材	追榫	厚板	
37		SE6098	不明	57.4	17.8	11.5	板材	榫目	大節あり	
38		SE6098		68.7	5.8	3.5	角棒	正榫	接合、井戸枠横木	

第11表 金属製品観察表

図	遺物番号	出土地点	器種	長さ (mm)	幅 (mm)	厚さ (mm)	備考
119	1	SK5550	鉄釘	67	14	7	頭部
	2	SD63(LI46)	鉄釘	72	23	7	先端部・頭部とも欠失
	3	SD63(LJ47)	鉄釘	56	28	7	先端・頭部とも欠失、折れ曲がり
	4	SD63(LH45)	鉄釘	49	16	7	先端部・頭部とも欠失
	5	SD63(LI46)	刀子	27	47	4	刃部の先端部付近
	6	SKP7049	鉄釘	47	18	6	先端部・頭部とも欠失
	7	SKP7049	鉄釘	64	18	7	先端部
	8	SKP7054	鉄釘	46	7	6	先端部・頭部とも欠失
	9	MI49	和鏡	75	75	3	遠山形素鈕、管状式二重圈、直角式中縁、竹図、五三桐紋
	10	MF57	筭	173	11	2	樋定規図筭、逆耳、折れ曲がり

第12表 出土銭貨一覧表

図	番号	出土地点	銭文	書体	長径 (mm)	短径 (mm)	郭長径 (mm)	郭短径 (mm)	厚さ (mm)	重量 (g)	初鑄年
120	1	SK5509	熙寧元宝	階書	24.4	23.8	7.2	7.1	1.1	2.2	1068
	2	SD5501	寛永通宝	階書	23.1	22.5	6.5	6.5	1.1	1.7	
	3	SD5502	嘉祐通宝	階書	24.6	24.3	7.2	6.8	1.2	2.5	1056
	4	SKP5665	寛永通宝	階書	23.1	23.1	6.1	5.9	1.0	1.5	
	5	MI49	祥符通宝	階書	24.7	24.6	6.3	6.2	1.3	2.8	1008
	6	MI49	天聖元宝	階書					1.2	0.8	1023
	7	NA31	元豊通宝	篆書	24.7	24.6	6.8	6.7	1.2	3.2	1078
	8	MI49	元祐通宝	篆書	24.7		7.0	6.9	1.4	2.1	1094
	9	ME57	元符通宝	行書	24.2	23.7	6.5	6.1	1.1	2.5	1098
	10	KM57	元符通宝	行書					1.2	1.2	1098
	11	MP39	聖宋元宝	篆書	24.8	24.7	5.9	5.8	1.3	2.4	1101
	12	MF57	聖宋元宝	篆書	23.8	23.5	6.7	6.2	0.7	1.7	1101
	13	ME58	政和通宝	篆書	23.5	23.4	6.3	6.2	0.9	2.2	1111
	14	ME57	政和通宝	階書	24.4	24.1	6.7	6.6	1.2	2.4	1111
	15	MI49	洪武通宝	階書	23.5	23.3	5.6	5.4	1.5	2.3	1368
	16	MI49	永樂通宝	階書	24.7	24.6	5.4	5.3	1.4	2.2	1403
	17	MI51	永樂通宝	階書					1.6	1.1	1403
	18	LA50	寛永通宝	階書	24.5	24.2	5.3	5.2	1.3	2.5	
	19	KR53	寛永通宝	階書	24.5	24.5	5.7	5.6	1.1	2.5	
	20	LI48	寛永通宝	階書	22.8	22.7	5.5	5.5	1.1	1.7	
	21	KI55	寛永通宝	階書	22.6	22.4	6.3	6.1	0.9	1.6	
	22	MO41	寛永通宝	階書	27.9	27.4	6.1	5.8	1.1	3.6	
-	ME57	(不明)		18.7	18.6	6.1	5.6	0.6	1.1		
-	MI49	(不明)		22.5	22.0	6.5	6.4	0.8	0.8		
-	MF58	(不明)									



## 第5章 自然科学的分析

### 第1節 森吉家ノ前A遺跡における放射性炭素年代測定と植物遺体群分析

辻 誠一郎、安 昭炫、國木田 大、吉田 邦夫、植田 弥生、友野 雄己、野中 理加(東京大学)

#### 1 はじめに

平成19年度に実施された秋田県北秋田市森吉に所在する森吉家ノ前A遺跡において、中世のものと対比された井戸群が検出された。それら方形の井戸群には、それぞれ板材と角材を主とする井戸枠が施されており、木材資源利用に関する資料が期待された。また、井戸内には固有の水成の埋積物が確認され、それら堆積物からは種実類および花粉群が検出された。これらは井戸群周辺の植生を復元するのに有効であり、植物資源利用を検討する上でも貴重な資料となるものであった。さらに井戸群周辺の盛土からも多数の種実遺体群が採取されており、これらも当時の植物資源利用の検討に資することが期待された。これらはいずれも、森吉山ダム関連遺跡群における人と環境のかかわり史すなわち環境文化史を読み解く上で重要な資料を提供するものである。この報告は、これらの資料の記載と、遺跡周辺の植生、ならびに植物資源利用について取りまとめたものである。

森吉家ノ前A遺跡では、中世井戸群のほかにも縄文時代後期の焼失家屋が検出され、竪穴住居内には炭化した木材片が確認された。これらについても樹種同定を目的に試料採取を実施し、室内での検討を行ったが、保存状態が良好でなく、ほとんどすべてが広葉樹材に同定されたものの種ないし属レベルでの同定に耐えるものではなかった。今後の電子顕微鏡レベルの検討に期することとした。

なお、井戸群の検出状況と井戸枠材の産出状況および加工法の検討は発掘調査の現地と資料室において実施した。花粉分析などの試料採取も現地で実施した。また、現地での発掘調査の過程で採取された多数の種実遺体群の検討や花粉分析など室内分析は東京大学大学院新領域創成科学研究科社会文化環境学専攻環境史研究室において実施した。放射性炭素年代測定は、東京大学総合研究博物館および東京大学大学院工学系研究科加速器研究設備において実施した。

森吉家ノ前A遺跡の中世井戸群が検出された区域において検出された一次堆積火山灰は、粗粒と細粒の火山灰からなる二つのモードをもつこと、粗粒の粒子が黄色を呈し発泡状態が良好であること、単斜輝石と斜方輝石の両輝石を主要重鉱物とすることから、十和田カルデラを噴出源とする十和田 a テフラの降下火山灰に同定することができる。このテフラは東方から南方にかけては一つのモードしかもたないが、南方から南西へと西よりになるにつれ二つのモードをもつようになる。これは東向きの卓越風の影響で淘汰が悪くなるためと考えられる。

#### 2 中世井戸群の検討

##### ・井戸枠構成木材と加工法

井戸枠材が検出された井戸群のうち、保存が良好な SE6011、SE6012、SE6057、SE6098 の 4 基の井戸について井戸枠構成木材と加工法を検討した。

井戸 SE6011 の井戸枠側板は、柂目や追柂目で木取りされた材が多い。また、西隅柱(付図 4 -

3)、東隅柱(付図4-1)、南隅柱(付図4-2)は芯去りみかん割りからの分割材で、横断面における放射方向の長さは12~13cm、年輪数は100前後で、年輪幅が約1mmの緻密な材であった。側板も同様に年輪幅が緻密な材が多く、南東側板RW65は製材された状態で約65年輪が含まれていた。年輪幅が狭く、年輪数も多いことから、樹齢が100年を越えるスギ材を使用したと推定される。

井戸SE6012は、SE6011のすぐそばに位置しており、井戸枿材の保存は比較的良くなかった。側板は柾目取りが多く、隅柱は芯去りみかん割りからの分割材で、いずれも年輪幅は非常に緻密な材が使用されている。木材利用に関してはSE6011に類似する。

井戸SE6057は、他の井戸の側板が厚さ約3~6cmと厚いのに対して、厚さ約0.6~1cmの薄い板材を2ないし3枚重ねて使用していることが特異である。再利用の薄い板材を重ねて利用、または補強材として差し込むなどして、強度を保持したと推定される。RW36の3枚の板は、内側2枚は年輪幅が非常に緻密な柾目板で、外側の1枚は板目板であった。隅柱は他の井戸と同様にみかん割りからの分割材であった。ただし隅柱RW1(付図4-28)は、樹芯部に近い部分材材であった。

井戸SE6098は、井戸枿材の保存がもっとも良好で、出土試料数も多い井戸であった。側板は板目取りの材がほとんどであった。側板の横断面の年輪線が左右対称であることから、丸太材から直接製材した板目取りの材が使用されていた(例、RW53:付図6-35)。また、樹芯部に近い部分で製材された板目材も含まれていた(例、RW44:付図6-9、RW66:付図6-21)。推定される丸太材の直径は、大きいもので約100~140cm、年輪数は約80~100が推定される。隅柱は芯去りみかん割りからの分割材であった。北西と南西の隅柱(RW77:付図6-3とRW78:付図6-2)は、横断面の年輪線から成長パターンが一致し、同一の丸太材から製材されたことが判明した。北東と南東の隅柱(RW76:付図6-4とRW79:付図6-1)は、北西と南西の隅柱に比べて年輪幅は非常に緻密な材であった。総じてこのSE6098の井戸枿材は、年輪幅が約2~4mmの材が多く使用されており、年輪幅が緻密な材は稀であった。

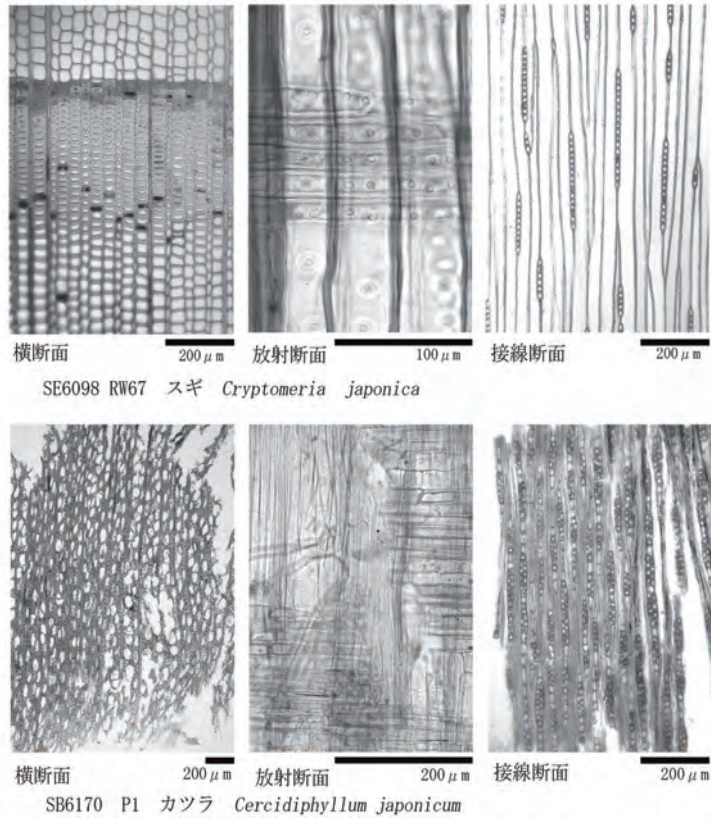
以上のようなそれぞれの井戸の井戸枿材の木取りの特徴から、井戸ごとに井戸枿材の利用法が異なることが明瞭である。検討した範囲では、SE6057は厚さが著しく薄い柾目板を主に利用した再利用型であるのに対して、SE6098は成長の早い直径1m以上の丸太材から分割された板目材が側板に利用されている。しかも同一丸太材から分割された可能性が示唆される。

井戸枿材の樹種について無作為に木材組織解剖学的検討を行った。その結果、いずれもスギに同定された。SE6098の北西の側板(RW67:付図6-22)の顕微鏡写真を第121図上段に示した。

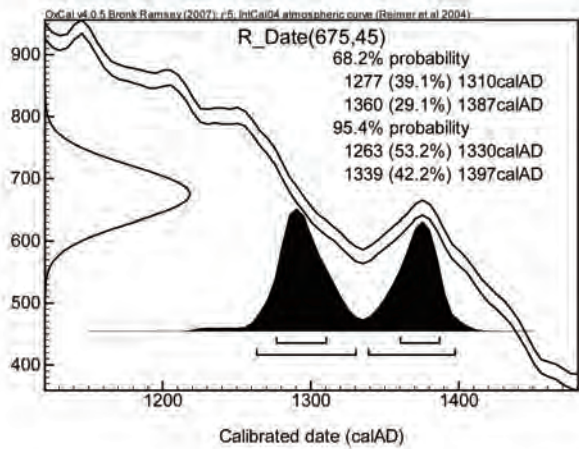
井戸群ではないが、住居跡SB6170の柱穴P1(※SKP6740に呼称を変更)の樹種について木材組織解剖学的検討を行った。その結果、落葉広葉樹のカツラに同定された。顕微鏡写真を第121図下段に示した。カツラは建築材としての利用が知られるが、多用される樹種ではない。P1の柱材は、直径14cm、芯持ち、年輪数は24年であった。また、RW67(付図6-22)とともに放射性炭素年代測定を行った住居跡SB6315の柱穴P5の樹種は木材組織解剖学的検討によってスギに同定された。

・井戸枿材および住居跡柱材の放射性炭素年代測定

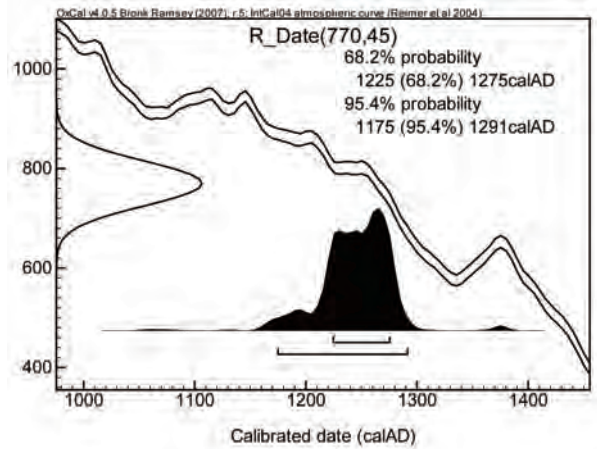
井戸群および井戸群を取り巻く住居群の編年を行うために、井戸SE6011の西隅柱(付図4-3)とSE6098の北西側板(付図6-22)、および住居跡SB6315の柱穴P5についてタンデム加速器質量分析法によって放射性炭素年代測定を行った。その結果は以下のとおりである。なお、暦年較正プログラ



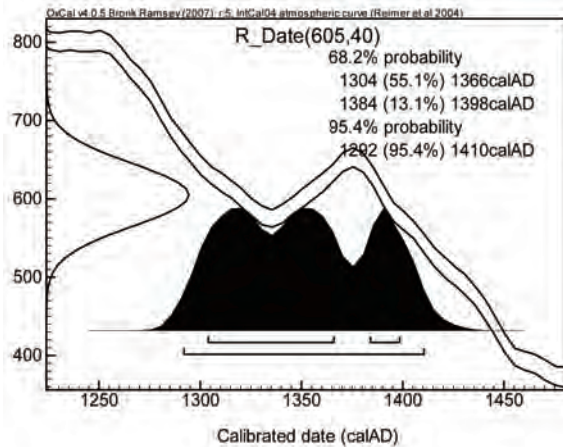
第121図 木材の光学顕微鏡写真



第122図 放射性炭素年代測定図(1)



第123図 放射性炭素年代測定図(2)



第124図 放射性炭素年代測定図(3)

ムは0xCal4.0を使用、較正曲線はIntCal104を使用した。木片のセルロース精製は行っていない。

以下のような結果から、住居跡SB6315の柱穴P5は鎌倉時代後半～室町時代前半頃、井戸SE6011の西隅柱RW61(付図4-3)は鎌倉時代後半～室町時代前半頃、同じく井戸SE6098の井戸枡側板RW67(付図6-22)は古代末～鎌倉時代頃と見積もることができる。井戸枡側板がやや古く暦年較正年代値の最も古い値を採用すれば古代末と考えられなくもないが、測定誤差1σでは鎌倉時代のみになる。以上のことから、井戸群と周囲の住居群は中世に絞り込むことができる。

1. 住居跡SB6315柱穴P5、資料名：2MYINM-A SB6315-P5、スギ材

測定資料：木片(外側の年輪より1～2年輪分)

$^{14}\text{C}$ 年代値(BP)：675±45BP

$\delta^{13}\text{C}$ 値(加速器測定)：-24.9

Lab-No.：TKa-14685

暦年較正年代値(2σ)：1263-1330 cal AD (53.2%)、1339-1397 cal AD (42.2%)

2. 井戸SE6011西隅柱RW61、資料名：2MYINM-A SE6011-RW61 西隅柱、樹種は未同定

測定資料：木片(外側の年輪より2枚目の1年輪分、最も外側が汚れていたため)

$^{14}\text{C}$ 年代値(BP)：605±40BP

$\delta^{13}\text{C}$ 値(加速器測定)：-24.7

Lab-No.：TKa-14686

暦年較正年代値(2σ)：1292-1410 cal AD (95.4%)

3. 井戸SE6098側板RW67、資料名：2MYINM-A SE6098 井戸枡側板RW67、スギ材

測定資料：木片(外側の年輪より2枚目の1年輪分、最も外側が汚れていたため)

$^{14}\text{C}$ 年代値(BP)：770±45BP

$\delta^{13}\text{C}$ 値(加速器測定)：-27.9

Lab-No.：TKa-14687

暦年較正年代値(2σ)：1175-1291 cal AD (95.4%)

・井戸内堆積物の花粉分析

井戸内堆積物は、全般的な傾向として砂層と植物遺体群が相当含まれる有機質な堆積物からなっているが、基盤の中世以前のおそらく縄文時代のものと推察される堆積物、井戸が使用されていた期間の底部の堆積物、および井戸が廃棄されてからの埋め戻しあるいは自然の埋積物の大きく三通りの堆積物が認められた。

中世の井戸群のうち4基について埋積する堆積物を調査し、SE6261遺構から花粉分析用試料を2点、SE6097遺構から花粉分析用試料を1点、SE6011遺構から花粉分析用試料を3点、SE6012遺構から花粉分析用試料を1点、合計7点を採取した。中世もしくは近世にかけてのものと考えられている土坑状遺構SK6319を埋積する黒色堆積物からも花粉分析用試料1点を採取した。これは、明らかに箸と覆われる木製品の破片群が多量に含まれていたからである。また、平安時代の915年に十和田カルデラの噴火によってもたらされたテフラTo-aが検出されているので、テフラ直上の①～③と直下の④と⑤の3試料を採取した。

花粉分析用の現地切り取り試料から、各5グラムを分割したのち、水酸化カリウム溶液処理、篩選



別、比重選別、フッ化水素処理、アセトリシス処理の順に化学処理を行い、最後にグリセリンに封じて顕微鏡観察試料とした。これらはすべて集合標本として保存してある。

井戸内堆積物の大半は使用されていた時点で堆積した有機質な堆積物が廃棄されてからの埋積物と判断されたもので、SE6261の上部、SE6011、SE6012、SE6097のすべての層準の堆積物では、スギ花粉が30~71%を占めて最優占であった。共通点としては、クリ花粉とトチノキ花粉がともに次優占であること、ブナ属やコナラ属コナラ亜属(すなわち落葉広葉樹のナラ類)がきわめて乏しいことである。また、草本花粉ではイネ科花粉がしばしば多産し、花粉・孢子総数の50~60%を占める場合もある。イネ科花粉には典型的なイネ属花粉が含まれており、水田の存在とイネ栽培が行われていたことを示唆している。

SE6261の下部の堆積物についてのみ、他とは異なる花粉組成が確認された。すなわち、スギ花粉が1.4%と著しく低率であるのに対して、クリ花粉が73%と最優占となり、花粉・孢子総数に占める樹木花粉が90%以上になるのに対して草本花粉は5%に満たない。このような組成は、井戸構築の基盤をなす縄文時代の様相を呈しており、下部には基盤が取り残されていたか、基盤の堆積物ブロックが混在したものと推察される。

中世もしくは近世のものと考えられた土坑状遺構SK6319を埋める黒色有機質の堆積物の花粉組成

第15表 花粉計数表

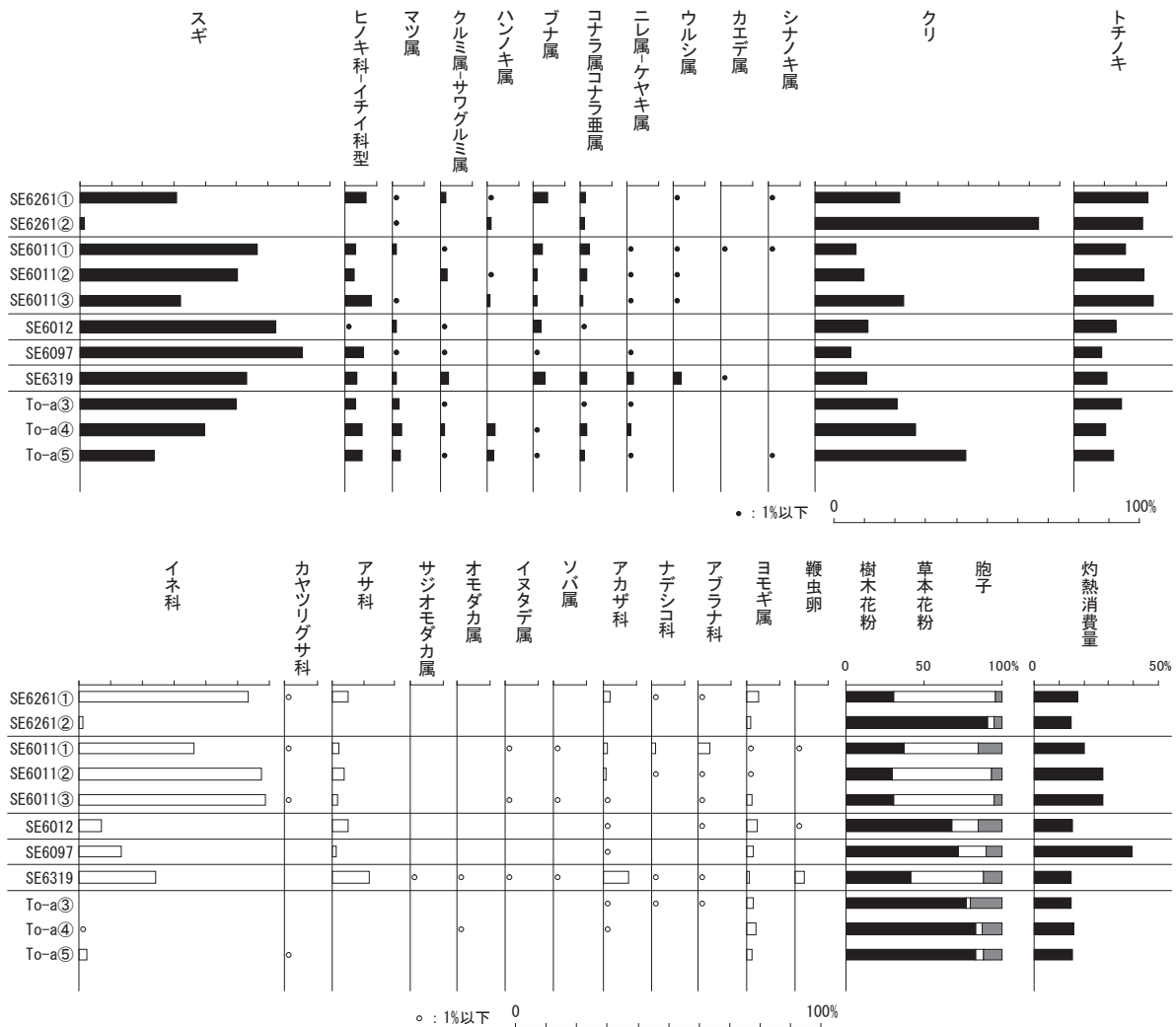
和名	学名	SE6261(1)	SE6261(2)	SE6261(3)	SE6261(4)	SE6011(1)	SE6011(2)	SE6011(3)	SE6012	SE6097	SE6319	To-a(1)	To-a(2)	To-a(3)	To-a(4)	To-a(5)
[樹木花粉]																
マツ属	<i>Pinus</i>	2	1	2		3		1	3	2	3	1	2	4	8	6
スギ	<i>Cryptomeria japonica</i>	70	3		2	120	107	67	140	160	113	28	14	106	110	56
ヒノキ科-イチイ科型	Cupressaceae-Taxaceae type	15				7	6	17	2	13	8			7	15	13
ヤナギ属	<i>Salix</i>													1	1	
クルミ属-サワグルミ属	<i>Juglans-Pterocarya</i>	4				2	4		1	2	5	2		1	3	2
クマシデ属-アサダ属	<i>Carpinus-Ostrya</i>							1								
ハンノキ属	<i>Alnus</i>	2	3					1	2			2			7	5
ブナ属	<i>Fagus</i>	10				6	3	3	6	1	8	1	1		2	1
コナラ属コナラ亜属	<i>Quercus. subgen. Lepidobalanus</i>	4	3		1	6	4	2	2		4	4	2	1	6	3
クリ	<i>Castanea crenata</i>	63	152	6		28	34	60	39	26	36	21	19	57	91	116
ニレ属-ケヤキ属	<i>Ulmus-Zelkova</i>					1	1	1		1	4	1		2	4	2
エノキ属-ムクノキ属	<i>Celtis-Aphananthe</i>										1					1
ウルシ属	<i>Rhus</i>	1		1		1	1	1			5					
カエデ属	<i>Acer</i>					1					2					
トチノキ	<i>Aesculus turbinata</i>	54	46	5	3	35	48	53	31	20	23	5	7	33	29	30
シナノキ属	<i>Tilia</i>						2								1	
ウコギ科	Araliaceae	2				1										1
[草本花粉]																
イネ科	Poaceae	401	3			208	405	400	24	42	124				3	7
カヤツリグサ科	Cyperaceae	2				2		3								1
ホシクサ属	<i>Eriocaulon</i>			6	2			2				5				
アサ科	Cannabaceae	40	1	1		13	27	12	17	4	60					
ギンギン属	<i>Rumex</i>						1									
イヌタデ属	<i>Persicaria</i>				1	2		3			4					
イタドリ属	<i>Reynoutria</i>	2				1										
ソバ属	<i>Fagopyrum</i>					2		1			1					
アカザ科	Chenopodiaceae	16				7	7	1	3	1	39			1	1	
ナデシコ科	Caryophyllaceae	1				7	1				1			1		
キンポウゲ科	Ranunculaceae			1					1							
アブラナ科	Cruciferae	3				20	1	3	1		1			1		
シソ科	Labiatae	1														
ヨモギ属	<i>Artemisia</i>	27	3			4	4	12	10	6	5			6	9	4
他のキク亜科	other Tubuliflorae	2				6		1	1	2	2					3
タンポポ亜科	Liguliflorae		4	1		2		1		1	8					
サジオモダカ属	<i>Alisma</i>			1							1	6	3			
オモダカ属	<i>Sagittaria</i>										1		1		1	
[孢子]																
単条型孢子	Monolete	18	8		1	47	23	16	28	8	43	28	15	53	42	32
三条型孢子	Trilete	13	3	2		40	24	17	22	25	17	7	4	2		2
鞭虫卵						1			2		14					
樹木花粉総数		227	208	14	6	211	212	207	224	225	212	65	45	212	277	236
草本花粉総数		495	11	9	4	274	446	439	57	55	240	19	4	9	14	15
孢子総数		31	11	2	1	87	47	33	50	33	60	35	19	55	42	34
花粉・孢子総数		753	230	25	11	572	705	679	331	313	512	119	68	276	333	285

は井戸内堆積物とは異なる特徴を見出すことができる。スギ花粉が最優占、クリ花粉とトチノキ花粉が次優占となるのは同様であるが、水田雑草と見られる植物群の花粉が多種類に及んでおり、さらに鞭虫卵が多産することが特異である。一見して水田堆積物を想起させるが、黒色有機質であるため、まさに土坑状の凹地という特殊な環境で堆積したものと見られる。

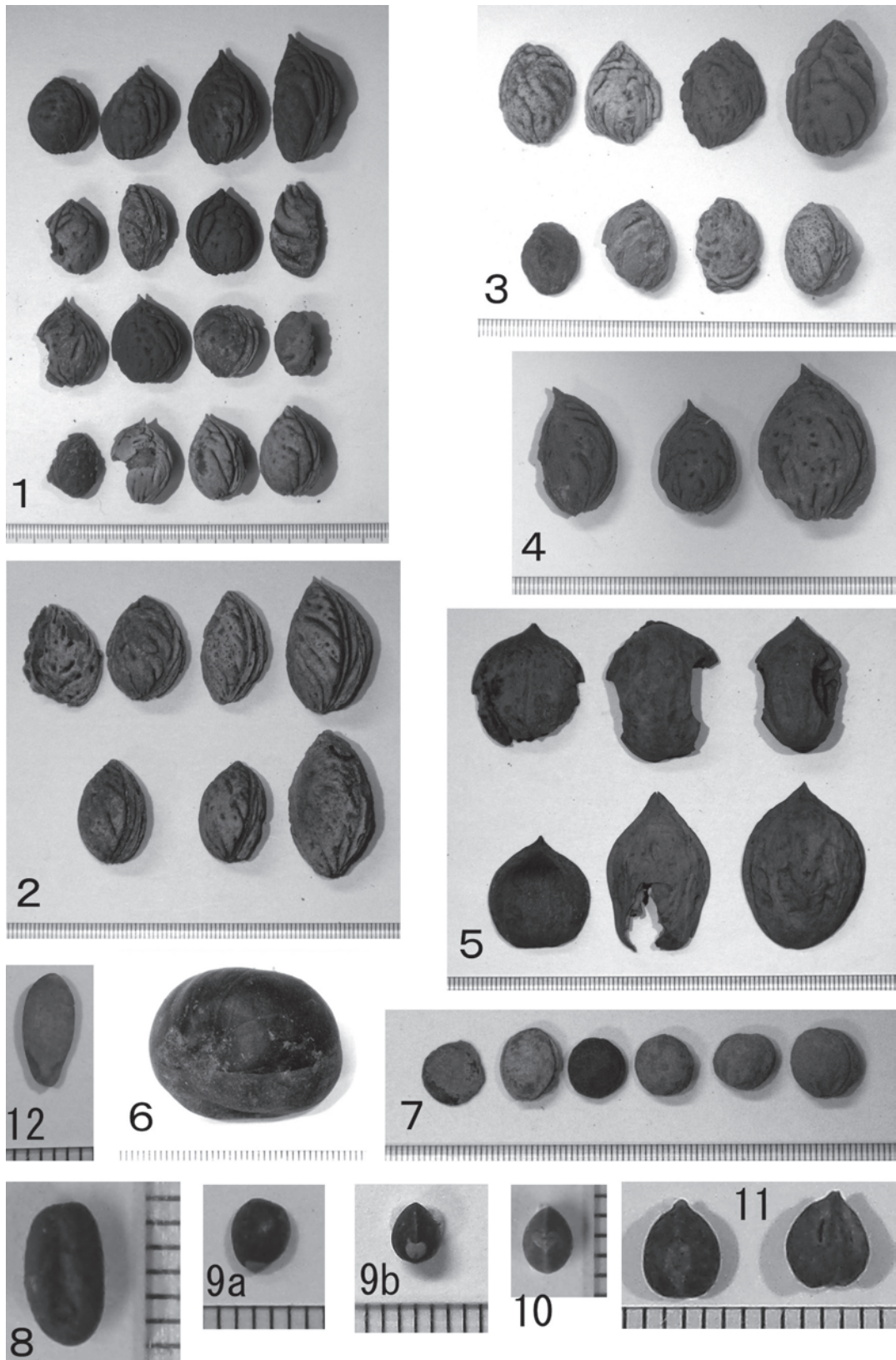
・井戸内堆積物の種実遺体群

中世の井戸群のうち、完掘をした井戸の埋積物に含まれる種実遺体群を水洗・フローテーションして得られた種実遺体群の同定を行った。また、盛土から発掘調査時に採取された種実についてもすべて形態学的な検討を加え、同定を行った。主要な種実類を図版に示した。試料点数は、合計635点にのぼった。種実類の個数にすると、モモ、オニグルミといった大型の果実片(大半が核すなわち内果皮)が378個、スモモの核(内果皮)やカナムグラ、ブドウ属種子などの小型の種実が257個であった。

井戸内堆積物から採取された種実遺体群には、おおむね共通した特徴が認められる。サイズの大きな種実としてはモモの核(内果皮)とスモモの核(内果皮)が共通して検出され、1点だけトチノキ種皮が確認されている。サイズが小さい種実では、ブドウ属種子とカナムグラ種子が検出される頻度が高い



第125図 花粉ダイアグラム



1:モモ 核(SE6011) 2:モモ 核(SE6098) 3:モモ 核(SE614) 4:モモ 核(盛土E) 5:オニグルミ 核(盛土E)  
 6:トチノキ 種子(盛土E) 7:スモモ 核(SE6140) 8:オオムギ 炭化種子(SE6261) 9:アサ 種子(SE6011)  
 10:カナムグラ 種子(SE6011) 11:ブドウ属 種子(SE6140) 12:メロン(マクワ・シロウリ型)(盛土E)

第126図 森吉家ノ前A遺跡から出土した主な種実類

く、一般的であるといえる。このほかには、マメ科種子が稀に確認され、燃焼によって炭化していることが多いのが特徴である。中世から近世と考えられた土坑内の堆積物からは、折られたためか部分しか残っていない箸と思われる木材片や中空の円柱状木材片が多数検出された。その他として、炭化したムギ類遺体が検出されている。

盛土からは150点以上にのぼる試料が得られているが、種実遺体群の組成は単純である。すなわち、試料の半数以上はモモの核(内果皮)に同定され圧倒していることである。また、スモモの核(内果皮)も多く、クルミの核(内果皮)とともにモモに次いで高い頻度で検出されている。稀にクリ果皮、トチノキ種皮、ブドウ属種子が検出される。

モモの核の形態は少なくとも3つのタイプに分けることができる。すなわち、小型で高さも低い個体、高く細く先端が尖っている個体、そして幅と高さがともに大きい先端がずんぐりしている個体である。これらは異なる系統(品種群)のものと考えられ、複数の系統が栽培されていたことを示している。同じようにスモモの形態にも大きな変異が認められるが、今までのところまとまったいくつかの系統に分けることはできない。

### 3 環境復元と植物資源利用について

これまでの秋田県内での花粉分析の結果では、約2,500年前を境に、ブナ属やコナラ亜属を主とする落葉広葉樹林からスギの卓越する森林に移行を開始することが広く知られている(辻、1981)。また、平野部では約1,000年前にマツ属が増加を開始することも確認されているが、その年代については詳細な資料は得られていない。今回の森吉家ノ前A遺跡の中世とされる井戸内堆積物の花粉組成は、スギが卓越する森林が周辺に成立していたことを示しており、また、マツ属の花粉の出現率は非常に低いことから、マツ属の増加以前の時期であることも明らかであり、これまでの知見と矛盾しない。近接する地蔵岱遺跡での古代から中世にかけての堆積物からは、スギのみの優占が確認されているが(辻、2008)、森吉家ノ前A遺跡ではトチノキやクリの次優占も認められ、若干の差異が認められる。地蔵岱遺跡でもそうであったように、ブナ属やコナラ亜属など自然の落葉広葉樹林には不可欠な要素が少ないのは、人為が相当にかかった生態系、すなわちスギ植林や意図的に残されたクリやトチノキの保存林が周辺域に存在した可能性もあるであろう。草本類ではイネ属を含むイネ科花粉が多産し、雑草とみなせる植物群も確認できるので、付近では水田が営まれていたこと、人為が強く働く環境であったといえよう。

井戸の時期については放射性炭素年代測定の結果から、遺物から推定された中世であることが追認されたといえるだろう。同定できたテフラTo-aすなわち十和田aテフラ、すなわち大湯テフラより層位的に上位であることから、10世紀前半よりは新しいといえ、層位的にも矛盾しない。

井戸枿材からは、薄い枿目板の再利用材から作られたケースと、周辺域の大径木の丸太材から直接井戸枿材に分割されたものが明らかになった。少なくとも後者の場合、直径が100cmを越えるような大径木が周囲に存在していたことを示している。

#### 引用文献

- 辻 誠一郎 1981, 秋田県の低地における完新世後半の花粉群集 東北地理、第33巻、81-88。  
辻 誠一郎 2008, 地蔵岱遺跡の植物遺体群と植生・植物資源 地蔵岱遺跡(本文編)、297-304。

## 第2節 秋田県森吉家ノ前A遺跡の年輪年代学調査

星野 安治<sup>1,2</sup>、大山 幹成<sup>1</sup>(1:東北大学植物園、2:日本学術振興会特別研究員PD)

### 1 はじめに

年輪年代学では、年輪が形成された年代が年精度で明らかとなるため、木質遺物の年代、さらには遺構や遺跡の理解に有用な情報を提供し得る。秋田県森吉家ノ前A遺跡では、遺構間の年代関係は互いの切りあいによる証拠が乏しいが、多数の木質遺物が出土しているため、年輪年代学により遺構間の相対的な年代関係を明らかにできる可能性が高い。本節では、秋田県森吉家ノ前A遺跡について行った年輪年代学調査について述べる。

### 2 試料と方法

供試試料は、本調査を開始した時点で、保存処理または自然乾燥させた状態で保管されていた。秋田県埋蔵文化財センターにて年輪数の多寡を肉眼で判断し、年輪数の多いものだけを選別して、東北大学植物園にて年輪幅の測定を行った。年輪幅は、試料の木口面または柁目面の表面を、実体顕微鏡下で観察しながら0.01mm単位で測定した。この際、年輪界の判断が困難な箇所についてのみ、剃刀を用いて表面を切削した。同時に切削した切片からプレパラートを作製し、生物顕微鏡下で観察して樹種同定を行った。クロスデーティングは、年輪考古学でのオーソドックスな方法(例えば、奈良国立文化財研究所、1990; English Heritage、2004; 米延ら、2010)に従い、年輪解析用ソフトウェアPAST4(SCIEM Inc.)を用いて、年輪曲線をプロットしたグラフの目視評価と統計評価を併せて行った。統計評価は、スチューデントの $t$ 値( $t_{BP}$ : Baillie and Pilcher (1973))、および Gleichlaufigkeit(Gl: Eckstein and Bauch (1969))を用いた。クロスデーティングは、まず著者の2名がそれぞれに独立して行い、その後お互いに整合性の確認を行った。

### 3 結果と考察

第127図に、クロスデーティングした試料の年輪曲線をその相対的な年代関係で重ねたグラフをそれらのアンサンブル平均とともに示し、また第16表には、各試料のクロスデーティングに関する統計値を樹種同定結果とともに示した。相対的な年代を示す際には、アンサンブル平均した年輪曲線の最も古い年輪を1年目として示した。混乱を避けるため、以下ではこの相対的な年代を「年」、各試料の年輪数を「層」として述べる。

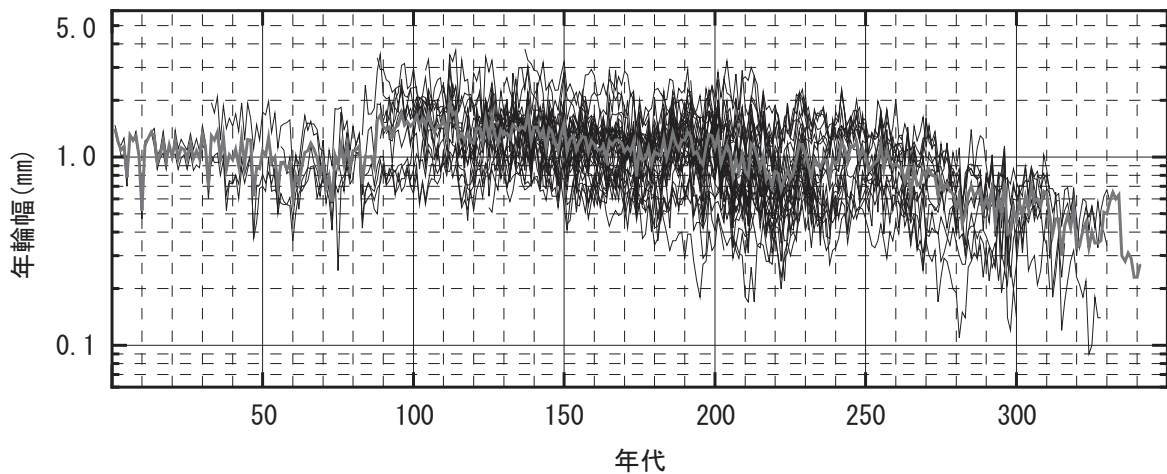
供試した試料はいずれも針葉樹で、樹脂細胞が存在し、分野壁孔に普通2個のスギ型壁孔を有していたことからスギ(*Cryptomeria japonica* D. Don)と同定された(akmr064は保存処理されていたので、樹種同定を行っていない)。同定したプレパラートは、東北大学植物園に保管されている。

クロスデーティングは、まず各試料間相互で行い、次に各試料が複数の試料に対して矛盾の無い年代関係となるかどうか反復検証を行った。この過程を経てクロスデーティングした試料36点をアンサンブル平均した年輪曲線と、各試料間でのクロスデーティングも、問題無く行うことができた。この過程は著者の2名が独立して行ったが、まったく同じ結論に至った。クロスデーティングした試料の年輪幅をアンサンブル平均した年輪曲線は、341年間のものが得られた。この年輪曲線は36点の試料で構築され、また統計値も十分に高いと評価できることから、本遺跡で供試した試料の年輪幅の変動を代表する標準年輪曲線が得られたと言える。この標準年輪曲線は、青森県十三湊遺跡で調査中のヒ

第16表 供試試料の概要および年輪幅・クロスデーティングに関する統計値

年輪ID	遺構名	遺物番号	部材名	樹種	年輪幅				MS	年輪数	年代範囲	z <sub>BP</sub>	GI
					平均	最小	最大	標準偏差					
akmr001	SE 6011	138	板材	スギ	2.10	0.53	3.76	0.59	0.18	85	137-221	7.73	70.0
akmr004	SE 6011	215	井戸枠側板	スギ	1.24	0.45	2.38	0.41	0.20	141	93-233	11.20	74.8
akmr005	SE 6011	234	井戸枠側板	スギ	1.29	0.34	2.30	0.44	0.20	148	89-236	11.00	75.0
akmr006	SE 6011	235	井戸枠側板	スギ	1.23	0.47	1.92	0.34	0.21	118	111-228	10.90	76.7
akmr008	SE 6011	263	井戸枠隅柱	スギ	1.07	0.40	1.91	0.29	0.20	109	125-233	5.96	63.8
akmr009	SE 6011	264	井戸枠隅柱	スギ	1.21	0.51	2.34	0.35	0.16	109	118-226	9.39	72.9
akmr010	SE 6011	273	井戸枠側板	スギ	1.15	0.33	1.97	0.41	0.18	143	102-244	9.76	74.5
akmr011	SE 6011	274	井戸枠側板	スギ	1.04	0.39	1.98	0.35	0.18	131	91-221	8.78	70.6
akmr013	SE 6011	344	井戸枠側板	スギ	1.20	0.43	2.20	0.37	0.18	132	100-231	8.42	69.7
akmr014	SE 6011	397	井戸枠側板	スギ	1.28	0.36	2.60	0.44	0.19	144	92-232	9.52	72.6
akmr016	SE 6011	466	井戸枠側板	スギ	1.12	0.41	2.08	0.35	0.22	100	132-231	9.14	71.5
akmr019	SE 6012	63	井戸枠側板	スギ	1.15	0.09	3.24	0.73	0.24	137	192-328	8.13	70.8
akmr022	SE 6012	67	井戸枠側板	スギ	1.18	0.23	3.53	0.70	0.20	163	83-245	8.19	71.8
akmr023	SE 6012	68	井戸枠側板	スギ	1.66	0.47	3.70	0.75	0.27	98	110-207	11.50	81.1
akmr024	SE 6012	73	井戸枠側板	スギ	1.20	0.53	1.94	0.31	0.24	123	153-275	10.40	79.7
akmr025	SE 6012	75	井戸枠側板	スギ	0.65	0.17	1.67	0.38	0.21	164	153-316	4.92	65.9
akmr027	SE 6012	77・78	井戸枠側板	スギ	1.20	0.46	3.37	0.59	0.18	175	88-262	6.39	70.9
akmr031	SE 6057	30	井戸枠側板	スギ	0.73	0.36	1.48	0.21	0.18	270	1-270	18.90	77.6
akmr033	SE 6057	37	板材	スギ	1.20	0.46	2.13	0.40	0.25	152	33-184	12.10	81.3
akmr034	SE 6057	38	板材	スギ	1.42	0.49	2.90	0.53	0.24	136	153-288	10.40	76.8
akmr037	SE 6057	49	井戸枠側板	スギ	0.74	0.25	1.47	0.22	0.18	270	1-270	13.80	75.6
akmr039	SE 6057	100	井戸枠側板	スギ	1.65	0.83	3.34	0.47	0.19	120	104-223	7.77	76.3
akmr040	SE 6097	108	板材	スギ	1.02	0.32	2.29	0.38	0.20	152	91-242	9.08	78.3
akmr042	SE 6098	52・53	井戸枠側板	スギ	0.64	0.23	1.44	0.21	0.22	212	130-341	11.50	76.4
akmr044	SE 6099	57	板材	スギ	0.71	0.18	1.35	0.24	0.19	151	53-203	5.56	69.9
akmr045	SE 6099	59	板材	スギ	0.95	0.46	1.73	0.23	0.20	117	56-172	6.84	75.6
akmr046	SE 6139	104・105	井戸枠側板	スギ	1.55	0.75	2.89	0.39	0.21	131	142-272	10.40	75.6
akmr048	SE 6139	113	井戸枠側板	スギ	0.92	0.23	1.95	0.36	0.21	190	141-330	9.97	76.6
akmr049	SE 6140	103	板材	スギ	0.78	0.12	1.54	0.27	0.18	187	114-300	6.17	61.5
akmr050	SE 6140	104	板材	スギ	0.50	0.11	0.95	0.17	0.20	155	154-308	6.37	61.6
akmr059	SB 6315	3	角柱	スギ	1.14	0.49	2.87	0.49	0.16	102	130-231	6.01	77.0
akmr060	SKP6609	2	礎板	スギ	1.32	0.27	2.60	0.48	0.20	127	182-308	11.90	75.2
akmr061	SKP6613	1	礎板	スギ	1.23	0.32	2.29	0.40	0.20	115	187-301	9.81	79.6
akmr062	SKP6613	2	礎板	スギ	1.25	0.31	2.25	0.43	0.20	130	182-311	12.60	79.6
akmr064	SE 6140	33	曲物	-	0.89	0.34	2.49	0.35	0.19	185	130-314	8.62	70.5
akmr066	SE 6011	321	井戸枠隅柱	スギ	1.16	0.60	2.02	0.29	0.15	111	132-242	6.31	63.5
平均	-	-	-	-	1.13	0.38	2.30	0.40	0.20	145	-	9.32	73.4

\* MS : Mean Sensitivity, z<sub>BP</sub>・GI : クロスデーティングした年代で年輪曲線をアンサンプル平均したのに対するスチューデントのz値およびGleichaufigkeit

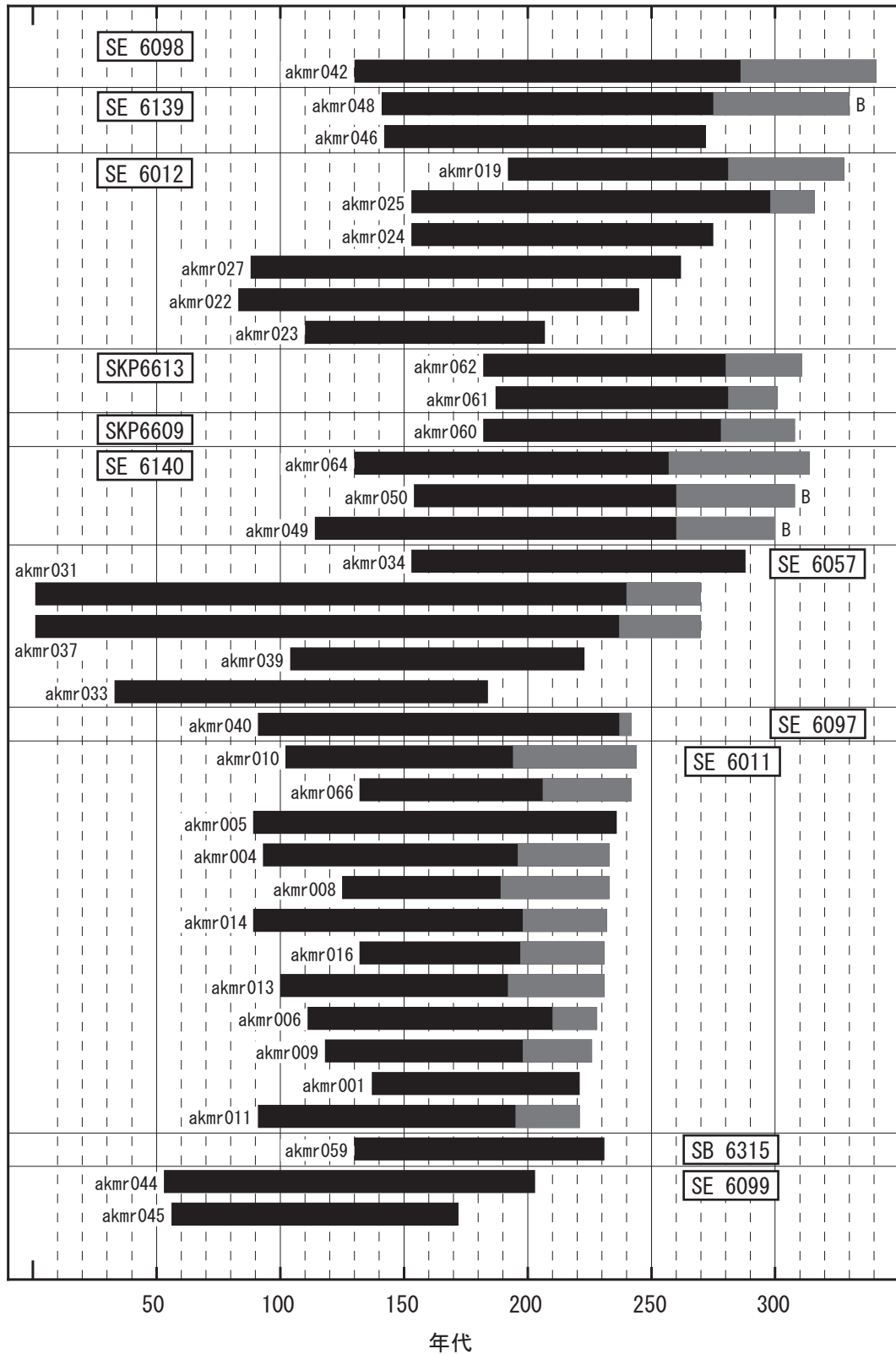


第127図 各試料の年輪曲線(細線)とその平均値(太線)

バの標準年輪曲線(未公表データ)とクロスデーティングでき、考古学的な知見から考えられている年代観や<sup>14</sup>C年代値との矛盾は無い<sup>(2)</sup>。

第128図に各試料の相対的な年代関係を、それぞれの試料に含まれている年輪の年代範囲を示すバーチャートで遺構別に示した。試料に用いられた木が伐採された年を判断する際に、試料に樹皮、あるいは辺材が残っていることは重要な情報である。年輪年代は年輪が形成された年を示すので、試料の最外層の年輪年代は、その木が死んだ年の上限年代を示す。そして試料に樹皮が残っている場合にはまさにその木が死んだ年、すなわち伐採年を示し、辺材が残っている場合には樹皮に近い部分が残っていることがわかるので、その木が伐採された年に近い上限年代だということになる。本調査で

は、心材と辺材との識別は肉眼での観察で判断しているが、調査を開始した時点で供試料は既に保存処理、または自然乾燥されていたので、識別が非常に困難なものもあった。SE 6057のakmr034(37

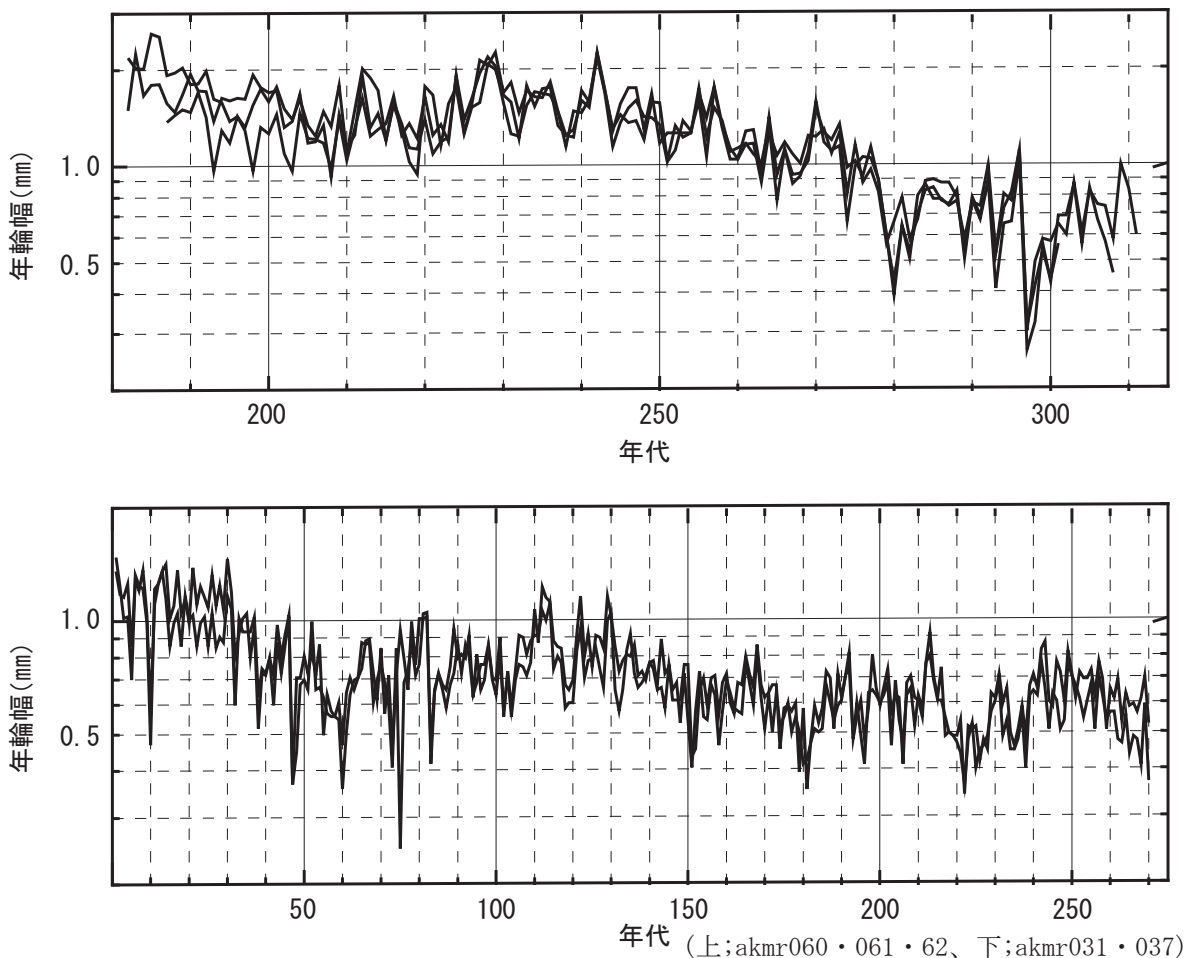


(灰色は辺材、Bは樹皮が残っていることを示す。)

第128図 各試料の相対的な年輪年代の範囲

層) : (付図5-7)、SE6011のakmr001(24層)、005(53層)は、それぞれ辺材と思われる箇所が確認できるが、その識別が非常に困難であったため、第128図では辺材を示していない。辺材に含まれる年輪数は、樹種、または地域などにより、年輪数がある程度の範囲におさまる(Baillie, 1995)。本調査で供試した試料のうち、樹皮が残っている試料の辺材年輪数は、それぞれakmr048(付図5-46)が56層、049(第102図5)が41層、050が49層であり、辺材年輪数を判断するおおまかな材料となつていよう。また現生の天然秋田スギでは、23個体の試料について平均40.9(標準偏差10.2)層の辺材年輪数があることがわかっている(未公表データ)。この辺材年輪数に注目すると、遺構の年代や、遺構にある程度の年代群があることを指摘できる。以下に、その概要を述べる。

SE6011は井戸遺構で、測定した試料はakmr001を除きすべて井戸枿材(側板および隅柱)である。試料はいずれも最外層の年輪年代がよく揃っており、辺材年輪数が少ない試料の方が最外層の年輪年代が古い年代を示す傾向があることを考慮すると、ほぼ同時期に伐採された木が用いられていると考えられる。なお推定される伐採年代が他とずれているように見えるakmr001、005は、上述のように辺材の識別が困難な試料であり、またakmr001は井戸廃絶時の他所からの廃棄材の可能性もある試料である。この遺構に用いられた井戸枿材の中で最も外側の年輪年代はakmr010の244年目であり、これがこの遺構の上限年代となる。この試料には辺材が51層残っており、これより数10層も年輪数があるとは考えにくい。そのためSE6011は、244年目以降のそう遠くない時期に切られた木が用いられている遺構だと



第129図 年輪幅の変動が酷似する試料の年輪曲線



考えられる。

SE 6057も井戸遺構で、測定した試料はakmr031(付図5-3)、037(付図5-7)、039(付図5-9)が井戸枿材(側板)で、他(akmr033、034)は用途不明の板材である。井戸枿材に用いられた試料の辺材年輪数から判断すると、この遺構はほぼ同時期に切られた木が用いられていると考えられる。この遺構の上限年代は、akmr034の288年目となる。ただしこの試料は辺材の識別が困難な試料で、37層の辺材が存在する可能性はあるものの、これを勘案しても井戸枿材と同時期、ないしやや新しい年代に伐採された可能性が高く、井戸廃絶時の他所からの廃棄材の可能性も考えられる。以上より、この遺構はSE 6011よりやや新しい年代に伐採された木が用いられた遺構と言えるだろう。

SE 6097は井戸遺構であるが、クロスデーティングできた1点(akmr040:第90図4)は井戸枿材の可能性はあるものの、井戸廃絶時の他所からの廃棄材の可能性も否定できない板材である。この試料は、辺材年輪数を勘案するとSE 6057の井戸枿材と同時期に伐採された木と考えられ、もしこの試料が井戸枿材であるならば、SE 6057と同時期に伐採された木が用いられた遺構という可能性がある。

SKP 6609、6613は掘立柱の柱根、SE 6012、6098、6139は井戸遺構であるが、辺材年輪数から伐採年が比較的近い一群と言える。SE 6139のakmr048(付図5-46)には樹皮が残っており、330年目が伐採年の木が用いられている。一方、SE 6098のakmr042(付図6-28)には、少なくとも11年新しい341年目が上限年代(辺材に56層の年輪があるため伐採年に近いと考えられる)の木が用いられている。このように伐採年が近い一群と表現しているが、この程度の年代差は考慮する必要がある。SKP 6609と6613とは、後述のように同一木由来の可能性のある木が用いられている遺構であり、311年目が上限年代である。またSE 6012は井戸遺構であり、328年目が上限年代の木が用いられている。これらの遺構は、SE 6098とSE 6139とのどちらの年代により近いかは判断しかねるが、これらと近い年代に伐採された木が用いられていることは間違いない。

SE 6140は井戸遺構であるが、井戸枿材か井戸廃絶時の他所からの廃棄材かはっきりしない板材2点と、井戸廃絶後の埋め立て時に廃棄された曲物1点がクロスデーティングできた。板材は2点とも樹皮が残っており、伐採年を示す最外層の年輪年代は、akmr049(第102図5)が300年目、akmr050が308年目と8年の年代差がある。またakmr064(曲物:第98図12)は、akmr050よりさらに6年以上新しい314年目が上限年代であり、58層の辺材年輪があるため伐採年に近い年代と推定される。このように同一遺構から出土する試料に不自然な伐採年の年代差があることは、注目に値する。さらにこのSE 6140は、遺構間の切り合い関係からSE 6139より後に作られた遺構であることが判明している。しかしSE 6139からは330年目が伐採年の井戸枿材が出土しており、より古い遺構であるSE 6139に用いられている木が、より新しい遺構であるSE 6140から出土した木より伐採年が新しいという矛盾が生じている。これらのことからSE 6140には、SE 6057、6097の一群、もしくはそれより少し後に切られた木が転用されていた可能性と、井戸廃絶時に井戸遺構に用いられた木とは異なる木が廃棄された可能性の両方が考えられる。

SB 6315およびSE 6099は、クロスデーティングした試料のうち辺材が認められた試料が無かったため、遺構に用いられた木、もしくは廃棄された木の上限年代を示しているに過ぎず、遺構間の年代関係を絞り込むことは難しい。しかしながら本調査に供試した他の試料群とクロスデーティングができたということは、かけ離れて新しい年代という可能性は低く、むしろ比較的近い年代に伐採された

木である可能性が高いと考えられる。

最後に、年輪幅の変動の特徴から同一木の可能性が指摘できる例について言及する(第129図)。akmr031(付図5-3)と037(付図5-7)との組み合わせ、またakmr060(第105図3)、061(第105図5)、062(第105図4)の組み合わせは、年輪幅変動が重複する期間全体を通して酷似しており、年輪幅の絶対値もほぼ同じである。またこれらの試料間の $t_{BP}$ は10を超えており(akmr031-037・10.5、akmr060-061・11.8、akmr060-062・13.1、akmr061-062・14.5)、他の試料間の $t_{BP}$ より高い値が得られている。これらのことは、これらの組み合わせの試料がそれぞれ同一木由来であることを示している可能性が高いと考えられる。akmr031と037は同じ井戸遺構(SE6057)の井戸枿材であるが、akmr060と061、062とでは異なる柱穴遺構(SKP6609、6613)から出土した試料である。しかしSKP6609および6613は、どちらも厚い礎盤が残っていた柱穴遺構で出土状況がよく似ており、さらに同一木由来の木が用いられている可能性が高いということは、これらの遺構が一連の遺構である可能性が高いことを支持する結果と言える。

以上のように、年輪年代学調査により本遺跡の遺構間の相対的な年代関係がある程度明らかにすることができた。より詳細な議論には、辺材年輪数に関するデータのような基礎的データの蓄積や、本遺跡でより多くの試料を年輪年代学調査に供することが必要である。しかしながら、今回明らかになった中で最も古いと考えられるSE6011と、最も新しいと考えられるSE6098とでは、用いられている部材の伐採年に約100年程度の差が認められ、少なくともその程度の期間、本遺跡が継続しており、また何段階かの遺構の時期差があることは間違いないと考えて良いだろう。

#### 4 おわりに

本遺跡における年輪年代学調査の主な成果として、遺跡の年代観に対する裏付けが得られ、遺跡の存続期間と遺構間の相対的な年代関係がある程度明らかにしたこと、本地域における中世のスギ標準年輪曲線が構築できたことがあげられる。発掘調査において木質遺物が出土した際に、外形、加工痕、用途などの記載は普通に行われているが、それ以外にもその木材自体から遺跡の理解にとって重要な様々な情報を引き出すことが可能である。また年輪年代学に従事する者の立場からすると、より多くの試料から得られる年輪情報を蓄積することにより、年代測定としての年輪年代学の応用だけでなく、将来的な展望として森林環境の復元や木材の産地推定など、年輪年代学による文化財科学の新たな展開が開ける可能性が高い。そのため本稿で紹介したように、木質遺物が発掘された際には単木の年代測定を行うというよりむしろ悉皆的な年輪年代学調査を行うことが望ましい。

註1 年輪年代学について相対的な年代関係と表現している箇所は、暦年代が得られていないということを意味しており、各試料間の年代関係は年単位で定まっている。

註2  $^{14}C$ 年代測定試料との対応：TKa-14685・akmr059、TKa-14686・akmr008、TKa-14687・該当なし。

#### 引用文献

Baillie, M. G. L. and J. R. Pilcher 1973 A simple cross-dating program for tree-ring research, *Tree-Ring Bulletin* 33, pp. 7 - 14.

Baillie, M. G. L. 1995 *A slice through time - dendrochronology and precision dating-*, B. T. Batsford Ltd.

English Heritage 2004 *Dendrochronology: guidelines on producing and interpreting dendrochronological dates*, <http://www.helm.org.uk/upload/pdf/Dendrochronology.pdf>.

奈良国立文化財研究所(編) 1990 年輪に歴史を読む-日本における古年輪学の成立-, 同朋社。

米延仁志, 大山幹成, 星野安治, 光谷拓実, Dieter Eckstein 2010 年輪年代学におけるクロスデーティングのガイドライン-日本産材を用いた方法論の分析とモンテカルロシミュレーションによる統計的クロスデーティングの再検討-, *考古学と自然科学*, 60, pp. 1-12.

### 第3節 森吉家ノ前A遺跡出土木製品の樹種同定

小林 克也(パレオ・ラボ)

#### 1 はじめに

森吉家ノ前A遺跡は、秋田県北秋田市に位置する、縄文時代前・中・後期と鎌倉から戦国時代頃の複合遺跡である。遺構では14～15世紀の井戸跡を検出し、多数の木製品が出土した。井戸跡のSE6011、SE6012、SE6097、SE6099、SE6139からは端部が炭化した木製品がみられ、秋田県埋蔵文化財センターによって抽出された。それらの試料は、つけ木などの発火具である可能性が考えられている。ここでは井戸跡出土の端部が炭化した木製品の樹種同定を行い、樹種の検討を行った。

#### 2 試料と方法

試料は井戸跡のSE6011、SE6012、SE6097、SE6099、SE6139から出土した各1点とSE6140から出土した4点、計9点の木製品である。

木製品の切片採取では、木取りを観察しながら木材から直接片刃の剃刀を用いて材の横断面(木口)・接線断面(板目)・放射断面(柾目)の3断面を採取し、ガムクロラルで封入し永久プレパラートを作製した。同定はこれらのプレパラートを光学顕微鏡下で40～400倍で検鏡し、現生標本と対比して行った。なお、プレパラートは秋田県埋蔵文化財センターに保管されている。

#### 3 結果

同定の結果、針葉樹のマツ属複維管束亜属とスギの2分類群が産出した。マツ属複維管束亜属が8点、スギが1点であった。同定結果の一覧を第17表に示す。

次に同定された材の特徴を記載し、1分類群1点の光学顕微鏡写真を示す。

(1)マツ属複維管束亜属 *Pinus* subgen. *Diploxylyon* マツ科 第130図 1a-1c・2a-2c(No.2・No.3)

仮道管および垂直、水平樹脂道を取り囲むエピセリウム細胞、放射柔細胞および放射仮道管によって構成される針葉樹材である。放射組織は放射柔細胞と放射仮道管によって構成される。放射仮道管の内壁の肥厚は重鋸歯状を呈す。放射柔細胞の分野壁孔は窓状となる。

マツ属複維管束亜属には、アカマツとクロマツがある。どちらも温帯から暖帯にかけて分布し、クロマツは海の近くに、アカマツは内陸地に育成しやすい。材質は類似し、重硬で切削等の加工は容易である。また樹脂を多く含む。燃焼性が高く、近年まで薪炭材として多く利用されていた。

(2)スギ *Cryptomeria japonica* (L. fil.) D. Don スギ科 第130図 3a-3c(No.7)

仮道管および樹脂細胞、放射柔細胞によって構成される針葉樹材である。放射組織は1列で、2～18細胞高になる。分野壁孔は大きく、孔口の大きく開いたスギ型で1分野に2～3個存在する。

スギは大高木へと成長する常緑針葉樹で、天然分布は東日本の日本海側に多い。比較的軽軟で切削などの加工が容易な材である。

#### 4 考察

同定の結果、マツ属複維管束亜属が9点中8点と最も多く、スギが1点みられた。これら試料は、形状から木製品の加工の際に排出された木屑であると考えられ、片側の先端が一部炭化しており、木屑を焚きつけなどのためにつけ木などとして利用していたものであると考えられる。

マツ属複維管束亜属は、前述のとおり燃焼性が高い樹木である。そのため近年まで薪炭材として日

常の場で利用され、現在の陶器焼成でも燃料として多く利用されている(平井, 1996)。そのため燃焼性の高いマツ属複維管束亜属はつけ木として適した樹種であると考えられる。

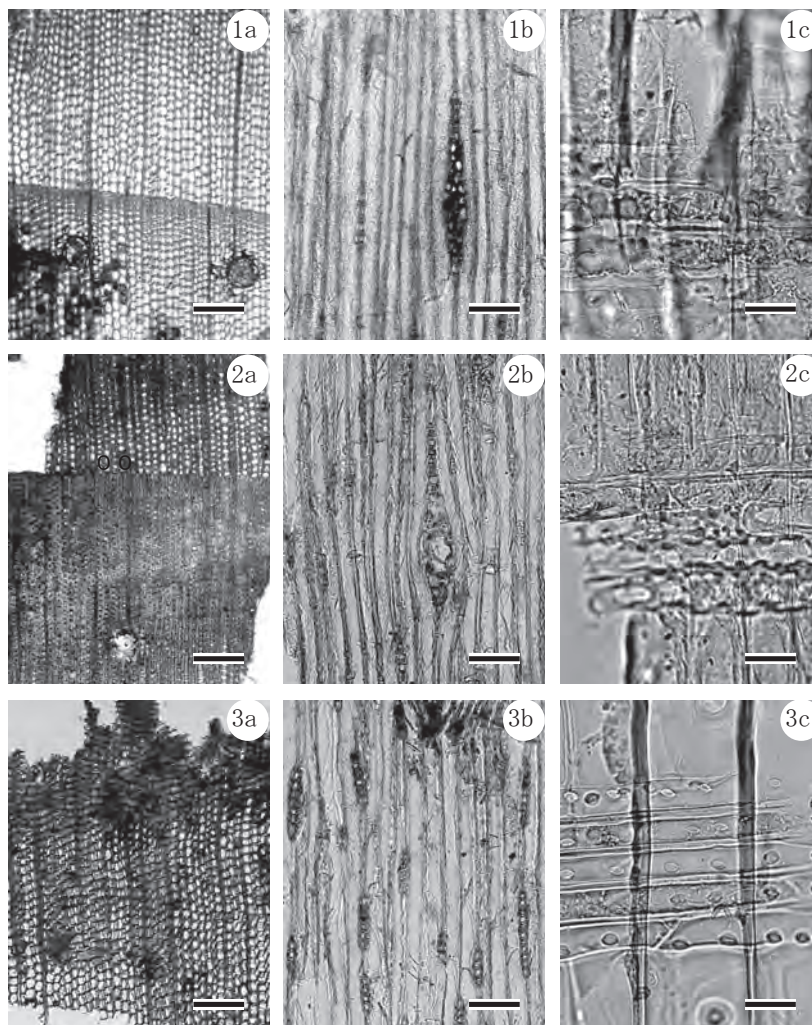
全国規模での中世の木材利用樹種をみると、中世段階から建築材や曲げ物などで多く利用され始め、東北地方でも同様の傾向を示す(山田, 1993)。また東北地方では、時期は異なるが宮城県多賀城市の山王遺跡では、9世紀末～10世紀初頭にかけてのつけ木30点同定の結果、アカマツ14点、クロマツ10点、マツ属5点、ウツギ1点と、マツ属複維管束亜属が大多数を占めていた(松葉・鈴木, 1996)。森吉家ノ前A遺跡でも、マツ属複維管束亜属を建築材などに加工する際に出た木屑を、焚きつけなどの為に発火具として転用したものであると考えられる。

引用文献

平井信二(1996)木の大本科解説編. 642p, 朝倉書店.

松葉礼子・鈴木三男(1996)宮城県多賀城市山王遺跡多賀前地区出土木材の樹種. 宮城県教育委員会編「山王遺跡Ⅲ-仙塩道路建設関係遺跡発掘調査報告書-多賀前地区遺物編」: 239-283p, 宮城県教育委員会.

山田昌久(1993)日本列島における木質遺物出土遺跡文献集成 - 用材から見た人間・植物関係史. 242p, 植生史研究 特別第1号.



1a-1c. マツ属複維管束亜属 (No.2) 2a-2c. マツ属複維管束亜属 (No.3) 3a-3c. スギ (No.7)  
a: 横断面 (スケール=250 μm) b: 接線断面 (スケール=100 μm) c: 放射断面 (スケール=25 μm)

第130図 森吉家ノ前A遺跡出土木材の光学顕微鏡写真

第17表 森吉家ノ前A遺跡の樹種同定結果一覧表

No.	遺構番号	遺物No.	種類	樹種	木取り	備考	図
1	SE6011	184	端部炭化木片	マツ属複維管束亜属	板目	片端炭化	第85図8
2	SE6012	96	端部炭化木片	マツ属複維管束亜属	芯去りみかん割り	片端炭化	第87図8
3	SE6097	149	端部炭化木片	マツ属複維管束亜属	板目	片端炭化	第89図17
4	SE6099	219	端部炭化木片	マツ属複維管束亜属	芯去りみかん割り	片端炭化	第92図3
5	SE6139	528	端部炭化木片	マツ属複維管束亜属	角棒(板目)	片端炭化	第94図14
6	SE6140	112	端部炭化木片	マツ属複維管束亜属	板目	片端炭化	第101図17
7	SE6140	150	端部炭化木片	スギ	角棒(板目)	片端炭化 細く短い	第101図9
8	SE6140	151	端部炭化木片	マツ属複維管束亜属	芯去りみかん割り	片端炭化 細く短い	第101図2
9	SE6140	152	端部炭化木片	マツ属複維管束亜属	角棒(板目)	片端炭化	第101図16

## 第4節 森吉家ノ前A遺跡出土木製品の樹種調査結果

(株)吉田生物研究所

## 1 試料

試料は秋田県森吉家ノ前A遺跡から出土した工具3点、農具3点、服飾具2点、食事具5点、容器11点、用途不明品7点の合計31点である。

## 2 観察方法

剃刀で木口(横断面)、柾目(放射断面)、板目(接線断面)の各切片を採取し、永久プレパラートを作製した。このプレパラートを顕微鏡で観察して同定した。

## 3 結果

樹種同定結果(針葉樹1種、広葉樹4種、樹皮1種)の表と顕微鏡写真を示し、以下に各種の主な解剖学的特徴を記す。

1) スギ科スギ属スギ(*Cryptomeria japonica* D. Don)

(遺物: No. 2~4, 9, 10, 13, 14, 16~21, 24~26, 29, 30, 32~35, 40, 41)

(写真: 第131図No. 2~4・9、第132図10・13・14・16~21、第133図24~26・29・30・32~35・40・41)

木口では仮道管を持ち、早材から晩材への移行はやや急であった。樹脂細胞は晩材部で接線方向に並んでいた。柾目では放射組織の分野壁孔は典型的なスギ型で1分野に1~3個ある。板目では放射組織はすべて単列であった。樹脂細胞の末端壁はおおむね偏平である。スギは本州、四国、九州の主として太平洋側に分布する。

2) ブナ科クリ属クリ(*Castanea crenata* Sieb. et Zucc.)

(遺物: No. 8) (写真: 第131図No. 8)

環孔材である。木口では円形ないし楕円形で大体単独の大道管(~500 $\mu$ m)が年輪にそって幅のかなり広い孔圏部を形成している。孔圏外は急に大きさを減じ薄壁で角張った小道管が単独あるいは2~3個集まって火炎状に配列している。柾目では道管は単穿孔と多数の有縁壁孔を有する。放射組織は大体において平伏細胞からなり同性である。板目では多数の単列放射組織が見られ、軸方向要素として道管、それを取り囲む短冊型柔細胞の連なり(ストランド)、軸方向要素の大部分を占める木繊維が

見られる。クリは北海道(西南部)、本州、四国、九州に分布する。

3)ニレ科ケヤキ属ケヤキ(*Zelkova Serrata* Makino)

(遺物: No. 15) (写真: 第132図No. 15)

環孔材である。木口ではおおむね円形で単独の大道管( $\sim 270\mu\text{m}$ )が1列で孔圏部を形成している。孔圏外では急に大きさを減じ、多角形の小道管が多数集まって円形、接線状あるいは斜線状の集団管孔を形成している。軸方向柔細胞は孔圏部では道管を鞘状に取り囲み、さらに接線方向に連続している(イニシアル柔組織)。放射組織は1~数列で多数の筋として見られる。柾目では大道管は単穿孔と側壁に交互壁孔を有する。小道管はさらに螺旋肥厚も持つ。放射組織は平伏細胞と上下縁辺の方形細胞からなり異性である。方形細胞はしばしば大型のものがある。板目では放射組織は少数の1~3列のもの大部分を占める6~7細胞列のほぼ大きさの様な紡錘形放射組織がある。紡錘形放射組織の上下端の細胞は、他の部分に比べ大型である。ケヤキは本州、四国、九州に分布する。

4)カツラ科カツラ属カツラ(*Cercidiphyllum japonicum* Sieb. et Zucc.)

(遺物: No. 11, 12) (写真: 第132図No. 11, 12)

散孔材である。木口は採取出来なかった。柾目では道管は階段穿孔と側壁に階段壁孔を有する。放射組織は平伏、方形と直立細胞からなり異性である。道管放射組織間壁孔は対列状ないし階段状の壁孔がある。道管内腔には充填物(チロース)がある。板目では放射組織は方形ないし直立細胞からなる単列のものと、方形ないし直立細胞の単列部と平伏細胞の2列部からなるものがある。高さ $\sim 900\mu\text{m}$ からなる。カツラは北海道、本州、四国、九州に分布する。

5)広葉樹

(遺物: No. 6) (写真: 第131図No. 6)

木口は採取出来なかった。柾目では道管は階段穿孔を有する。放射組織は異性である。道管放射組織間壁孔は階段状壁孔が存在する。放射柔細胞の直立細胞と軸方向柔細胞にはダルマ状にふくれているものがある。板目では放射組織が2~3細胞列からなる。

6)ヤマザクラorカバの樹皮

(遺物: No. 46) (写真: 第133図No. 46)

横断面と放射断面ではコルク組織とコルク皮層が交互に並んで密に詰まっている。接線断面では細胞が放射方向に規則正しく配列している。しかし桜、樺の皮は顕微鏡観察での判別は難しい。

参考文献

- 島地 謙・伊東隆夫 「日本の遺跡出土木製品総覧」 雄山閣出版(1988)
- 島地 謙・伊東隆夫 「図説木材組織」 地球社(1982)
- 伊東隆夫 「日本産広葉樹材の解剖学的記載 I~V」 京都大学木質科学研究所(1999)
- 北村四郎・村田 源 「原色日本植物図鑑木本編 I・II」 保育社(1979)
- 深澤和三 「樹体の解剖」 海青社(1997)
- 奈良国立文化財研究所 「奈良国立文化財研究所 史料第27冊 木器集成図録 近畿古代篇」(1985)
- 奈良国立文化財研究所 「奈良国立文化財研究所 史料第36冊 木器集成図録 近畿原始篇」(1993)

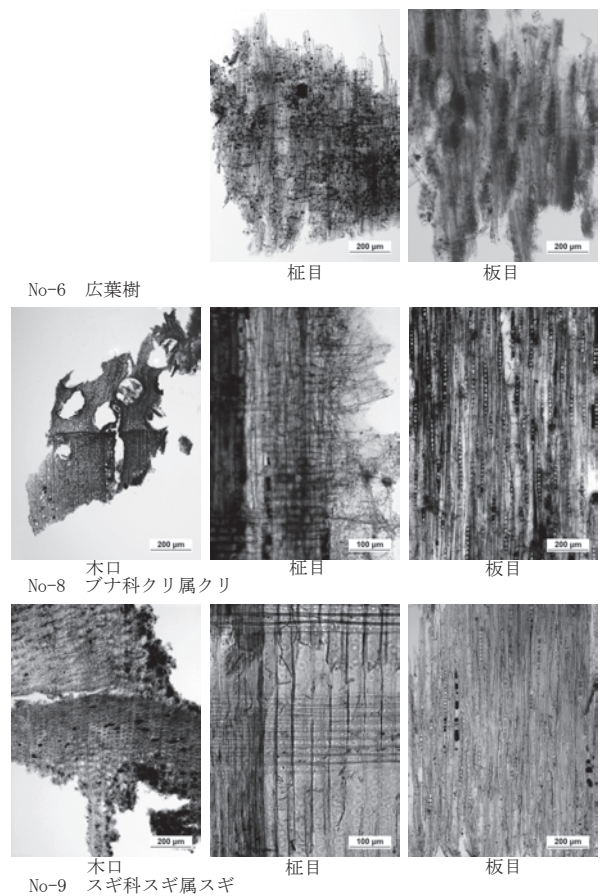
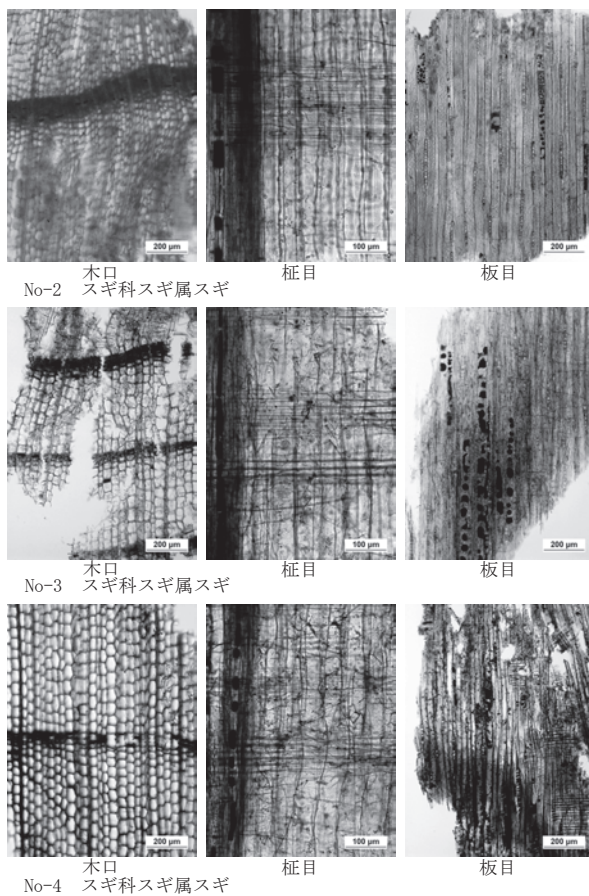
使用顕微鏡

Nikon DS-Fi1

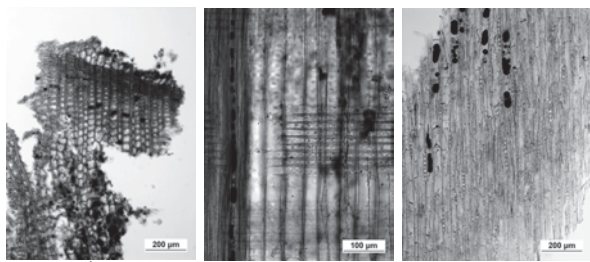
第18表 秋田県森吉家ノ前A遺跡出土木製品樹種同定表

No.	品名	樹種	出土地点	挿図
2	底板	スギ科スギ属スギ	SE6011	第84図15
3	底板	スギ科スギ属スギ	SE6011	第84図16
4	柄	スギ科スギ属スギ	SE6011	第85図1
6	漆器片	広葉樹	SE6011	第84図14
7	漆器椀	漆膜のみ	SE6011	
8	砧	ブナ科クリ属クリ	SE6057	第87図10
9	丸下駄小	スギ科スギ属スギ	SE6057	第88図3
10	丸下駄小	スギ科スギ属スギ	SE6057	第88図4
11	漆器片	カツラ科カツラ属カツラ	SE6057	第88図1
12	漆器片	カツラ科カツラ属カツラ	SE6057	第88図2
13	底板	スギ科スギ属スギ	SE6097	第89図13
14	柄	スギ科スギ属スギ	SE6098	第91図4
15	椀	ニレ科ケヤキ属ケヤキ	SE6098	
16	棒状木製品	スギ科スギ属スギ	SE6098	第91図5
17	角棒	スギ科スギ属スギ	SE6099	付図5-15
18	くさび	スギ科スギ属スギ	SE6099	第92図1

No.	品名	樹種	出土地点	挿図
19	へら	スギ科スギ属スギ	SE6139	第94図2
20	はし	スギ科スギ属スギ	SE6140	第93図1
21	はし	スギ科スギ属スギ	SE6140	第93図4
24	へら	スギ科スギ属スギ	SE6140	第100図2
25	はし	スギ科スギ属スギ	SE6140	第97図2
26	はし	スギ科スギ属スギ	SE6140	第97図4
29	はし	スギ科スギ属スギ	SE6140	第97図5
30	棒状木製品	スギ科スギ属スギ	SE6140	第100図8
32	底板	スギ科スギ属スギ	SE6140	第99図1
33	曲物桶	スギ科スギ属スギ	SE6140	第98図12
34	折敷	スギ科スギ属スギ	SE6140	第99図2
35	棒状木製品	スギ科スギ属スギ	SE6140	第100図9
40	棒状木製品	スギ科スギ属スギ	SE6140	第100図10
41	棒	スギ科スギ属スギ	SE6140	第100図1
46	桜皮	ヤマザクラorカバの樹皮	SE6164	第104図4



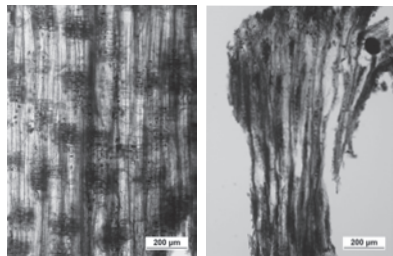
第131図 木材の光学顕微鏡写真(1)



No-10 木口 スギ科スギ属スギ

柁目

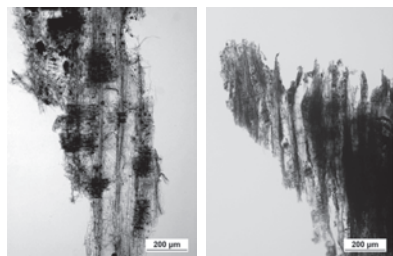
板目



No-11 木口 カツラ科カツラ属カツラ

柁目

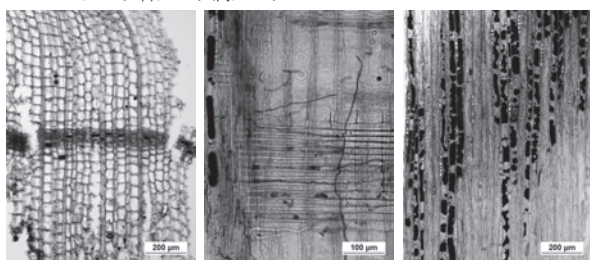
板目



No-12 木口 カツラ科カツラ属カツラ

柁目

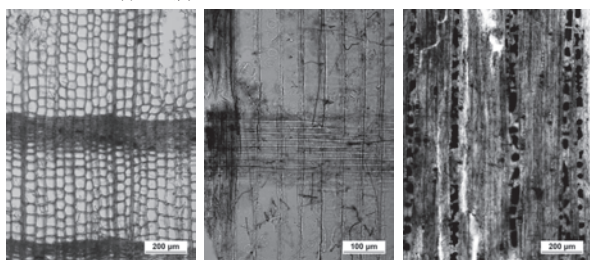
板目



No-13 木口 スギ科スギ属スギ

柁目

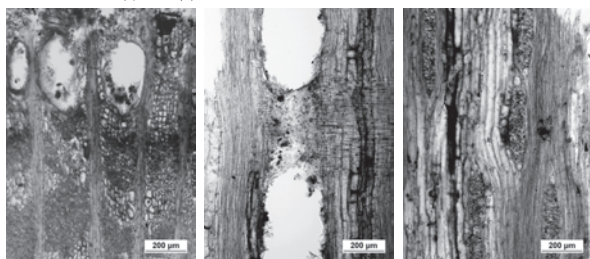
板目



No-14 木口 スギ科スギ属スギ

柁目

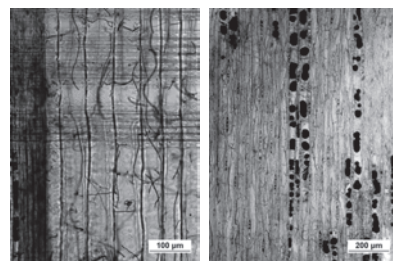
板目



No-15 木口 ニレ科ケヤキ属ケヤキ

柁目

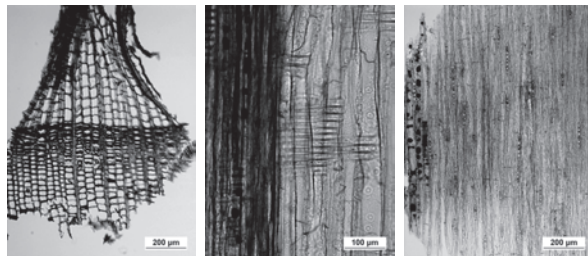
板目



No-16 木口 スギ科スギ属スギ

柁目

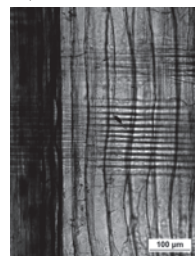
板目



No-17 木口 スギ科スギ属スギ

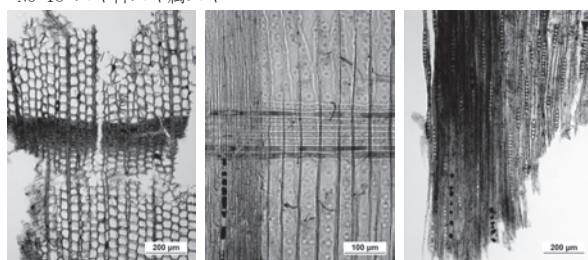
柁目

板目



No-18 木口 スギ科スギ属スギ

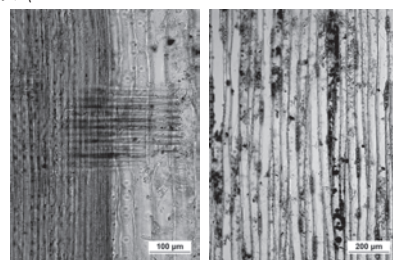
柁目



No-19 木口 スギ科スギ属スギ

柁目

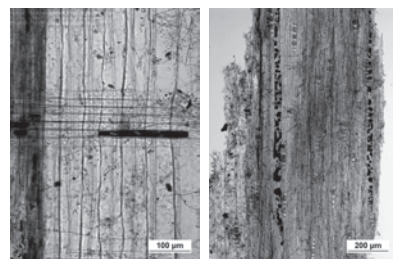
板目



No-20 木口 スギ科スギ属スギ

柁目

板目



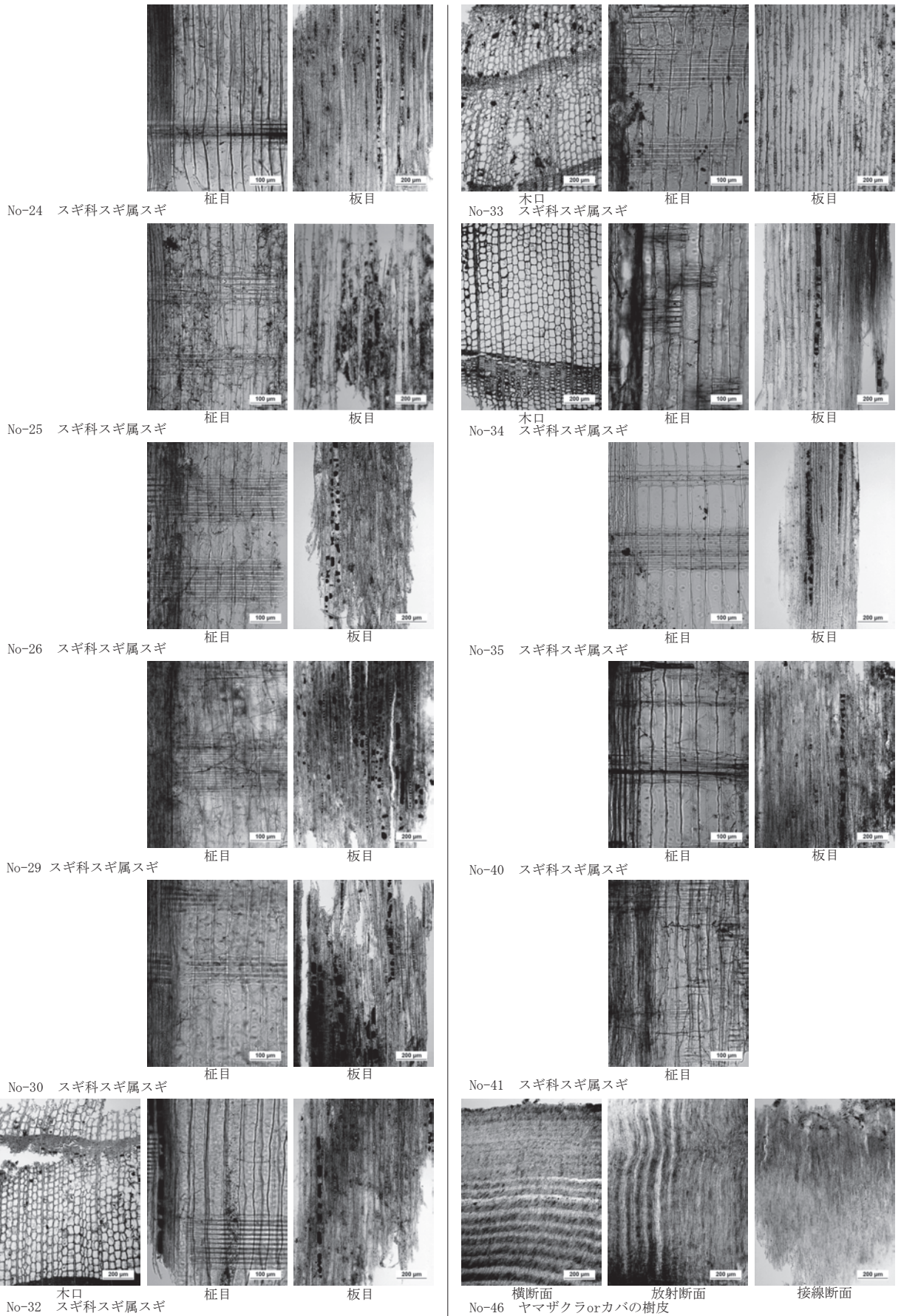
No-21 木口 スギ科スギ属スギ

柁目

板目

第132図 木材の光学顕微鏡写真(2)





第133図 木材の光学顕微鏡写真(3)

第5節 森吉家ノ前A遺跡出土漆器の塗膜構造調査

(株)吉田生物研究所

1 はじめに

秋田県に所在する森吉家ノ前A遺跡から出土した漆器3点について、その製作技法を明らかにする目的で塗膜構造調査を行ったので、以下にその結果を報告する。

2 調査資料

調査した資料は、第19表に示す中世～近世の漆器3点である。

第19表 漆器塗膜構造調査試料一覧表

No.	保存処理No.	品名	出土遺構No.	遺物No.	樹種	概要	挿図
1	6	漆器片	SE6011	758	広葉樹	内外両面ともに、黒色地に赤色漆で文様が描かれている破片。	第84図14
2	7	漆器椀	SE6011	759	—	漆工具(パレット?)として転用された漆器椀。現在は椀の外側から腐食して、ほとんど椀内面の漆膜と椀に付着した漆のみが残存する状態である。	
3	11	漆器片	SE6057	102	カツラ	小片なので詳細は不明であるが、内面は全面が赤色で、外面には黒色地に赤色漆で扇?のような文様が施されている。	第88図1

\* : 樹種については、別稿の樹種同定報告書を参照のこと。

3 調査方法

第19表の資料本体の内外面から数mm四方の破片を採取してエポキシ樹脂に包埋し、塗膜断面の薄片プレパラートを作製した。これを落射光ならびに透過光の下で検鏡した。

4 断面観察結果

塗膜断面の観察結果を第20表に示す。

塗膜構造：下層から下地、漆層と重なる様子が観察された。

第20表 漆器塗膜構造調査断面観察結果表

No.	器種	部位	写真No.	塗膜構造(下層から)				出土地点	挿図
				下地		漆層構造	顔料		
				膠着剤	混和材				
1	漆器片	内面	1	漆	木炭粉	透明漆2層?/赤色漆1層	朱	SE6011	第84図14
		外面	2	漆	木炭粉	透明漆2層?/赤色漆1層	朱		
2	漆器椀	内面	3、4	柿渋	木炭粉	透明漆1層/(二次利用の)生漆	—	SE6011	
3	漆器片	内面	5	柿渋	木炭粉	透明漆1層/赤色漆1層	朱	SE6057	第88図1
		外面	6	柿渋	木炭粉	透明漆1層/赤色漆1層	朱		

下地：3点のうち、1点(No. 1)には黄褐色の漆に木炭粉を混和した炭粉漆下地が、2点(No. 2・3)(そのうち1点は外面の漆膜や木胎を欠損している)には炭粉渋下地が観察された。

漆層：下地の上に漆層が重なる様子が観察された。3点のうち、No. 1には下地上の地色の透明漆層

が2層重なっていた。それ以外には、下地の上に地色の透明漆が1層で、加飾が施される場合にはその上に赤色漆1層が重なっていた。

顔料：No. 1・3に認められた赤色漆には、赤色顔料としてすべて朱が混和されていた。朱は、赤色で透明度が高く、明確な粒子の形状を呈している。

漆器の二次利用：No. 2の内面には、黒褐色の漆膜の付着が認められる。これはパレットなどの漆工具としてこの漆器碗が二次利用されたことを示している。この付着した漆は碗の漆層の約4倍もの厚みがあり、その漆全体には気泡が大量に含まれていた。これはこの漆が、採取された後に精製されていない生漆の状態であることを示している。

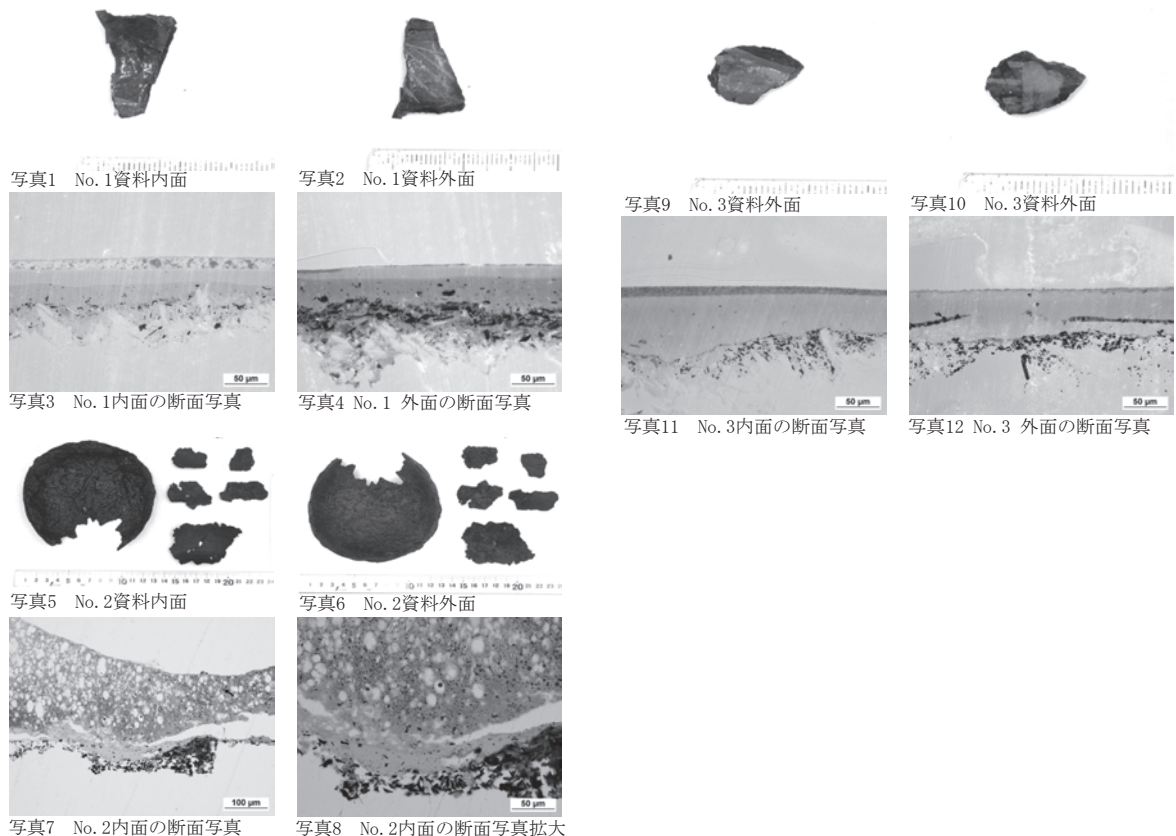
### 5 摘要

秋田県に所在する、森吉家ノ前A遺跡から出土した漆器碗3点について、塗膜構造調査を行った。漆に木炭粉を混和した炭粉漆下地と、柿渋に木炭粉を混和した炭粉渋下地との二種類が認められた。

1点のみに、地色の漆層の塗り重ねが認められたが、それ以外にはみられず、塗り重ねがみられたのは、文様部の赤色漆のみであった。

赤色顔料として使用されたのは、朱であった。

1点は、パレットなどの漆工具として二次利用された碗であった。中にたまっていた漆は、生漆で層厚は厚かった。



第134図 漆塗膜の光学顕微鏡写真

## 第6節 森吉家ノ前A遺跡出土骨の同定

梶ヶ山 真里、孔 智賢(パレオ・ラボ)

### 1 はじめに

森吉家ノ前A遺跡は、秋田県北秋田市森吉字森吉家ノ前145ほかに所在している。縄文時代前期の土器・石器、中期の竪穴住居跡のほか、旧森吉集落が形成され始める頃の掘立柱建物跡群、大溝跡、井戸跡などが検出された。ここでは、中世の土坑と井戸から検出された骨片試料の同定結果を報告する。

### 2 試料と方法

試料は、14世紀末～15世紀前半頃の土坑8基と井戸2基から採取された骨片10試料である。土坑(SK5523・SK5525・SK5529・SK5539・SK5540・SK5541・SK5543・SK6124)は、別の場所で火葬した人骨が埋葬された火葬墓と想定されている。残存する深さは約20cmで、上部からは削平また攪乱の痕跡も確認された。井戸(SE6098・SE6139)は、破壊後に埋め戻した井戸であり、中から井戸材以外に木製の箸、礫なども検出された。

試料は発掘調査時に取り上げられたが、採取方法の詳細は不明である。骨片表面の土を取り除いた後、採取後に破片となっている一部の骨片試料については、接合を行った。

### 3 結果と考察

8基の土坑から検出された骨片試料は人骨(SK5523は獣骨片も検出)で、井戸(SE6098・SE6139)から検出された試料は獣骨であった。

以下に、遺構ごとに詳細を記載する。

SK5523：一握りの焼骨片で、長辺がほとんど3cmに満たない四肢骨片である(重量14.16g)。しかし、それ以上詳細に年齢・性別を判断することは不可能である。中に獣骨の中足骨片(?)と思われる骨片が含まれる。

SK5525：保存されている骨片はすべて焼骨である(重量407.72g)。1体分の保存量としては完全ではないが、保存されている部位は1体分で一部の部位だけの偏りはない。保存されている骨片の中で、部位が同定できたものは以下の通りである。

頭蓋骨片は8点以上保存されている。上肢骨では、上腕骨端片・尺骨遠位端(第135図1)・橈骨骨頭が確認できる。下肢骨では、大腿骨骨体片・大腿骨骨端片・右膝蓋骨(第135図3)・左脛骨近位部(第135図5)・脛骨体片・脛骨遠位端関節面・左腓骨遠位端(第135図6)・距骨(第135図4)が確認できる。

その他には、椎骨片・手あるいは足の末節骨(第135図2)・指骨片が確認できる。

3～4cmほどの脛骨骨体片において骨間縁は比較的明瞭で、大腿骨後面粗線部分が確認できることから性別として男性の可能性が考えられるが、寛骨などの性差を判断する部分が保存されていないので、明確に断定できない。年齢は、骨棘や変形等の経年齢変化が明瞭に確認できない。そのため、若い個体であると断定できない。したがって、成人個体であるとしかたない。

SK5529：上腕骨骨頭と思われる1cm四方の骨片が保存されている(重量27.39g)。それ以外は非常に

第21表 森吉家ノ前A遺跡出土骨の同定結果表

試料 番号	遺構	出土位置 層準	試料採取年月日	包数	種類	部位	残存状態	左右	数	重量(g)	備考
1	SK5523	中央付近	20070927	1	ヒト	四肢骨	破片	-	-	14.16	獣骨(中足骨?)片含む
2	SK5525	4層	20071004~1017	7	ヒト	頭骨、椎骨、上腕骨端、橈骨、尺骨、手根骨、指骨、大腿骨、膝蓋骨、脛骨、腓骨、距骨、四肢骨、下肢骨	破片	-	-	407.72	
3	SK5529	西半	20070927~1003	2	ヒト	歯根、上腕骨頭、四肢骨	破片	-	-	27.39	
4	SK5539	1層	20071002~1011	6	ヒト	頭骨、足手骨、指骨、四肢骨、下肢骨(大腿骨、脛骨片含む)	破片	-	-	199.57	
5	SK5540	1層、2層	20071002~1005	2	ヒト	頭骨、四肢骨	破片	-	-	6.59	
6	SK5541	1層	20071002~1012	5	ヒト	頭骨、下顎骨、手指骨(末節骨1点含む)、大腿骨、距骨、四肢骨、中足骨	破片	-	-	117.59	
7	SK5543		20071009~1011	1	ヒト	不明	破片	-	1	0.35	
8	SE6098	井戸枠内	20070618~0619	3	獣骨	指骨、不明	破片	-	5	2.06	
9	SK6124	埋土中	20071004	1	ヒト	四肢骨	破片	-	-	11.67	
10	SE6139	3層、4層	20071105~1106	3	獣骨	指骨	破片	-	2	0.32	

細かい四肢骨片が十数点ほどしか保存されていない。また、単根の歯根が2点(第135図7)保存されているが、エナメル質は熱により溶けており、咬耗程度は不明である。この個体の年齢は、永久歯の単根が保存されているので成人であるとの判断ができるが、詳細な年齢は不明である。性別は不明である。

SK5539：大部分は2cm以下の細かい骨片で、約6cmの四肢骨片が保存されている(重量199.57g)。部位が確認できるのは頭蓋骨・足手骨・四肢骨等である。年齢はその形態から成人としかわからない。性別は不明である。

SK5540：わずか一握りに満たないほどの頭蓋骨と四肢骨の骨片が保存されているだけである(重量6.59g)。性別不明成人のものとはわからない。

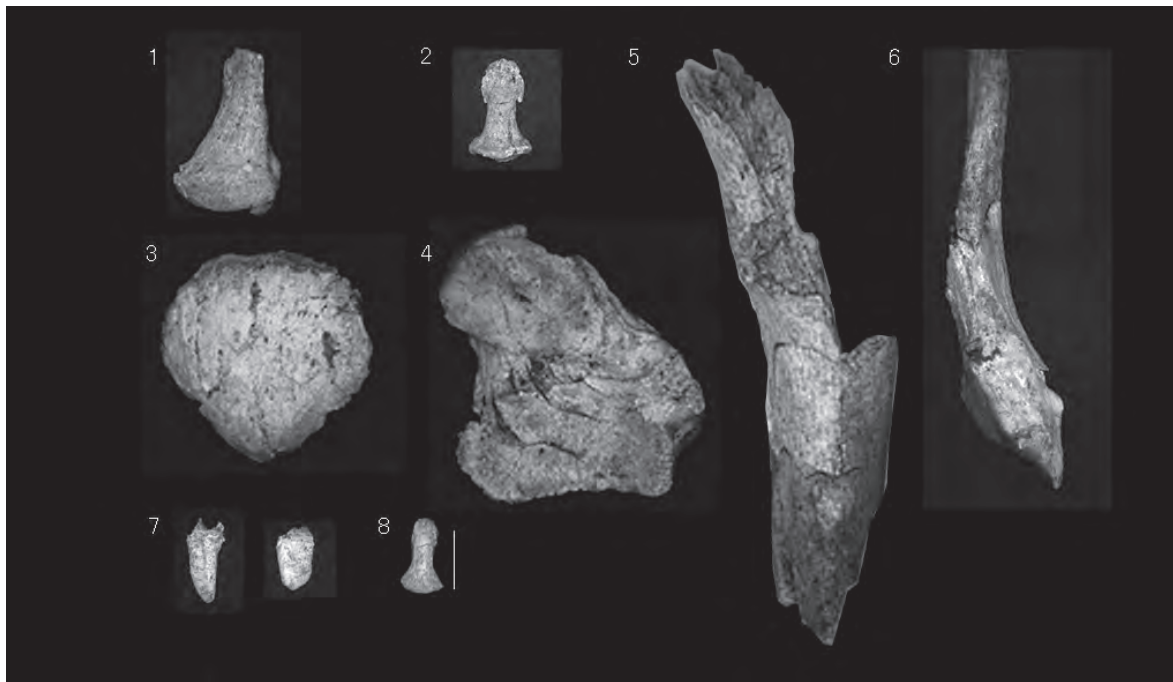
SK5541：6cm以下の細かい骨片が保存されている(重量117.59g)。頭蓋骨・下顎骨・大腿骨・距骨・中足骨・末節骨(第135図8)等が確認できる。そのほかに細かく同定できないが、四肢骨や指骨も保存されている。頭蓋骨片の一部にはラムダ付近の縫合が残存しており、その縫合は開いている。したがって、熟年や老年のような個体ではない。性別は不明である。

SK5543：細かい骨片が1点保存されているだけである(重量0.35g)。詳細はまったくわからない。

SE6098：細かい骨片が数点保存されている(重量2.06g)。種の同定はできないが、ヒトではない小動物(イタチあるいはテン)の指骨が保存されている。それ以外の骨片もヒトものではない。

SK6124：5cm以下の細かい骨片が十数点保存されているだけである(重量11.67g)。ヒトの四肢骨であると思われるが、詳細は不明である。

SE6139：非常に細かい骨片と骨粉がわずかに保存されている(重量0.32g)。骨片の内側面の状態か



1. 尺骨遠位部 (SK5525) 2. 指骨 (SK5525) 3. 右膝蓋骨 (SK5525) 4. 距骨 (SK5525) 5. 脛骨近位部 (SK5525)  
6. 腓骨遠位部 (SK5525) 7. 歯根 (SK5529) 8. 手指骨末節骨 (SK5541) スケール 1 cm

#### 第135図 森吉家ノ前A遺跡出土骨

らヒトではなく獣骨の可能性が高い。また、小動物(イタチあるいはテン)の指骨も保存されている。

すべての地点から出土した骨片は、いずれも灰白色を呈するほど良く焼かれた焼骨で、小さな破片となっている。収縮・亀裂が多く認められるため、これらの骨はおおよそ800度以上の温度で長時間焼かれたと考えられる。なぜならば、600度以下の温度では有機物が炭化して残るために骨は黒色を呈し、骨自体の物理的な変化も起こらないが、800度以上になると、有機物が分解し骨の色が灰白色になり、収縮が起こり骨は硬く灰化するからである。その際、骨の微細構造は見られなくなる。また、晒された骨が焼かれた場合には変形や亀裂は少ないが、新鮮な骨が焼かれた場合には変形や亀裂が激しいことから判断すると、これらの骨は軟部が付着した状態で焼かれたと判断できる。

#### 4 おわりに

森吉家ノ前A遺跡の土坑SK5523からは人骨および獣骨片、それ以外の7基の土坑(SK5525・SK5529・SK5539・SK5540・SK5541・SK5543・SK6124)からは人骨、井戸(SE6098・SE6139)からは獣骨が検出された。

## 第6章 まとめ

森吉家ノ前A遺跡第3次調査では、掘立柱建物跡16棟、竪穴住居跡6棟、井戸跡13基、土坑162基、土器埋設遺構4基、焼土遺構28基、配石遺構1基、溝跡9条、捨て場1か所の計240遺構と柱穴様ピット1, 121基を検出した。第1次・第2次調査分と合わせると掘立柱建物跡69棟、竪穴住居跡17棟、竪穴状遺構6基、井戸跡21基、土坑364基、土器埋設遺構4基、焼土遺構42基、配石遺構2基、溝跡10条、捨て場1か所の計536遺構と柱穴様ピット2, 332基を検出したことになる。主な遺跡の時期と性格は、縄文時代前期前葉(円筒下層 a 式期～d 式期)の集落跡と捨て場、中期後葉(大木9～10式並行期)の集落跡、後期前葉～中葉(十腰内 I 群～II 群)の集落跡と墓域、平安時代(10世紀後半)の集落跡、中世(13世紀後半～16世紀)の集落跡と墓域である。

縄文時代前期のST5101捨て場は、第1次調査区から連続するKR58・59、KS58・59グリッドから多くの遺物が出土した。円筒下層 a～c 式土器は明確な間層を挟まず、横倒しの状態で復元可能土器が出土した。ST5101捨て場は第1次調査で検出した前期の集落跡から40m以上離れ、小又川沿いのLG47・48、LH47グリッドで検出した円筒下層 c 式期土坑墓群(SK5013・SK5014・SK5030土坑)からも約30m離れている。集落内または周縁部に捨て場が形成されることを考慮すれば、ST5101捨て場の南西側に隣接する広い削平範囲に円筒下層 a 式期以降の集落跡があったものと推定する。

縄文中期後葉の集落跡は、第2次調査で遺跡南側に弧状配置と想定する5棟の竪穴住居跡が検出されていた。第3次調査で検出したSI5080竪穴住居跡は5棟に近接する。この時期の竪穴住居跡は小又川沿いの平坦地でSI5073竪穴住居跡・SI5083竪穴住居跡、旧神社跡地の丘陵上でSI5560竪穴住居跡も検出した。意図的な環状配置ではなく、2～3棟の竪穴住居が自然堤防肩部や丘陵周縁部に散在して立地したものと考える。

第1次・第2次調査では、川側中央部に縄文後期前葉～中葉の土坑群が南西から北東方向に2列に分布し、その中でも十腰内II群土器が出土した土坑5基は分布列の北東側に偏る傾向が認められた。第3次調査ではその東側に連続して土坑17基を検出した。土坑群全体では土坑分布は弧を描き、南西→北東→南東の方向に馬蹄形に分布する。土坑群の外縁部径約25m、内側の列で径約10mの規模である。南側に遺構はないが、水田造成時の掘削で急崖となっているため、本来は二重の環状配列であったと推測する。第3次調査で検出したSK5040・5047・5056・5057・5071・5072・5076土坑からは十腰内II群土器が出土し、土坑群の西側に十腰内I期群、北側から東側に十腰内II群期の土坑が分布する傾向が認められた。土坑群の西に隣接して十腰内I群期のSI3014竪穴住居跡(第2次調査)、東に隣接して十腰内II群期のSI5060竪穴住居跡がある(第3次調査)。竪穴住居跡は土坑群を挟んで対称の位置である。竪穴住居跡1棟と近接する土坑群の一部が同時期で、十腰内I群期に西側、十腰内II群期には小又川に近い東側に所を変えて存続したものと推測する。

SI5060竪穴住居跡は焼失住居跡である。竪穴住居跡周縁部の埋土が堆積した後に上部構造が焼けていることから、居住期間中の火災ではなく廃絶後の焼却と考える。

旧神社跡地の丘陵上では、平安時代の竪穴住居跡を1棟検出した。小又川流域では向様田E遺跡、地藏岱遺跡に次いで3遺跡目である。本来は5棟前後が併存する小集落であったと推定する。

## 第6章 まとめ

本遺跡では中世の遺構・遺物を多数検出した。本遺跡の存続年代を、考古年代、<sup>14</sup>C年代測定結果(第5章第1節2)、年輪年代学調査結果(第5章第2節3)から検討する。

SE6011井戸跡西隅柱(付図4-3)の最外年輪の<sup>14</sup>C暦年較正年代値は1,293-1,411ADである。SE6011井戸跡南東側板(第9表遺物番号273)は西隅柱より11~20年後の伐採である。年輪年代調査に供した井戸材10点の伐採年代幅が小さいことから、井戸の構築時期は伐採年に近く、概ね14世紀代に機能した井戸跡と推定する。

SE6139井戸跡西側板(付図5-46)は樹皮が残る柱目板で、伐採年はSE6011西隅柱の最外年輪から97年後である。年代は1,389-1,507ADと推定できる。SE6011構築後80年以上を経て構築されたと推定する。また、SE6139廃絶時には埋め立て土の上部に第V期(15世紀前半)の珠洲系陶器片口鉢(第116図1)が混入している。SE6139井戸跡は15世紀初頭~前葉に構築され、15世紀後半~末には廃絶した井戸跡と推定する。

SE6098井戸跡北側板(付図6-28)は辺材が残る柱目板でSE6011西隅柱の最外年輪から108年後の年輪が最外年輪である。年代は1,401-1,519ADと推定できる。SE6011構築後100年以上を経て構築されたと推定する。SE6098西側板(付図6-22)の<sup>14</sup>C暦年較正年代値は1,175-1,291ADである。この結果からSE6098井戸跡は、110~344年の年代差がある部材を同時に井戸材に使用して構築されることが分かる。本遺構もSE6139と同様に概ね15世紀代に機能した井戸跡と推定する。

さらに、遺跡内からは第III期(13世紀後半)から第VI期(15世紀後半)までの珠洲系陶器片口鉢が出土した(第116・117図)。第1次調査ではSD63溝跡出土灰釉や炭化材の<sup>14</sup>C年代測定から15世紀中葉に溝が開いていたと推定した。また、焼骨が出土し火葬墓と関連する大型柱穴からは唐銭や北宋銭の模鑄銭、明銭が出土し、15世紀以降の様相と推測する。以上より、中世集落としての本遺跡は、およそ13世紀後半頃に形成され、15世紀には火葬墓や大型柱穴なども造営されていたと考える。そして16世紀代に廃絶したと推定する。

なお、SE6098井戸跡で古い年代を示した板材(付図6-22)は、同じく側板に使用されていた厚板材(付図6-9・10・13・35)と同一木と推測する。これらは大型厚手の追柱目板で表面は割り割き面のまま凹凸があり風蝕はほとんどない。建物部材等からの転用材とは考えにくい材である。伐採後約100年間の保存可能な方法として、SE6098井戸跡に隣接し隅柱2本と横棧3本を残して側板がすべて抜き去られていたSE6099井戸跡側板からの転用が考えられる。SE6011井戸跡とSE6012井戸跡、SE6139井戸跡とSE6140井戸跡も近接する井戸に年代差や切り合いがあり作り替えの可能性がある。1基の井戸の継続期間は、年輪年代調査結果から数十年~百年程度が考えられる。

本遺跡とは小又川を挟んだ対岸には、平安時代の環濠集落が発掘調査された地藏岱遺跡がある。平安時代の小又川流域は、拠点集落である地藏岱遺跡と本遺跡のような小規模居住地が併存していた。農業や他の生業、道具や物資の流通・供給・分配等は拠点集落である地藏岱遺跡において管理されていたと推察する。鎌倉時代後半以降も地藏岱遺跡の拠点集落機能は持続すると見られるが、並行して対岸の本遺跡、森吉家ノ前B・C遺跡にも中世集落が展開する。中世の社会経済状況の中で集落機能の拡充を図るために対岸へ集落を拡張したものとする。本遺跡の中世集落の廃絶時期が地藏岱遺跡の廃絶とほぼ同じ16世紀代と推定されることも、地藏岱遺跡との強い関連性を伺わせる。





1 遺跡遠景(西から)



2 川側調査区北側の調査終了状況(北西から)



1 川側調査区旧神社跡地の調査終了状況(西から)



2 山側調査区南側の調査終了状況(北から)



1 山側調査区北側の調査終了状況(東から)



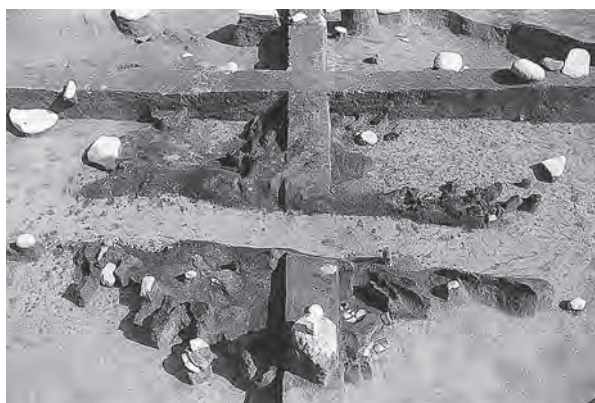
2 山側調査区北側の調査終了状況(北から)



1 SI5060竪穴住居跡完掘状況(北西から)



2 SI5060竪穴住居跡炭化材出土状況(北西から)



3 SI5060竪穴住居跡炭化材出土状況(北西から)



4 SI5073竪穴住居跡遺物出土状況(南から)



5 SI5080竪穴住居跡複式炉完掘状況(南東から)



6 SI5080竪穴住居跡複式炉完掘状況(南西から)



7 SI5083竪穴住居跡完掘状況(北西から)



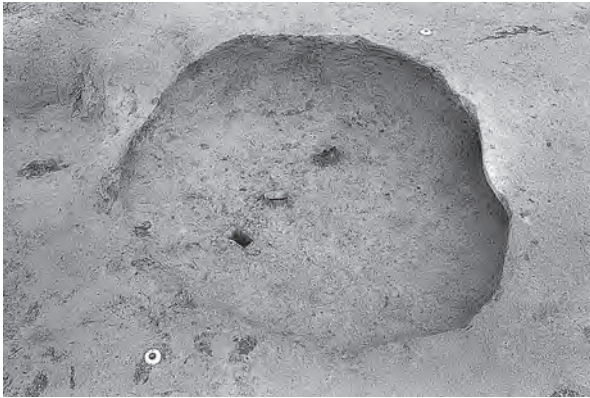
8 SI5522竪穴住居跡完掘状況(南から)



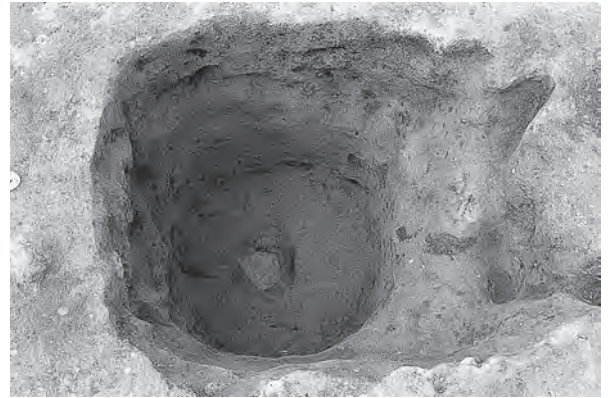
1 SI5560 竪穴住居跡完掘状況 (東から)



2 SI5560 竪穴住居跡複式炉完掘状況 (南から)



3 SK5001 土坑完掘状況 (南西から)



4 SK5007 土坑完掘状況 (南東から)



5 SK5008 土坑断面土層 (南東から)



6 SK5009 土坑完掘状況 (南東から)



7 SK5012 土坑半截状況 (北東から)



8 SK5013 土坑完掘状況 (南から)



1 SK5040土坑断面土層(南から)



2 SK5046土坑完掘状況(南東から)



3 SK5047土坑完掘状況(西から)



4 SK5055土坑完掘状況(南西から)



5 SK5157土坑断面土層(南から)



6 SK5059土坑完掘状況(南から)



7 SK5071土坑完掘状況(南西から)



8 SK5079土坑完掘状況(南から)



1 SK5082土坑精査状況(南から)



2 SK5088土坑完掘状況(南東から)



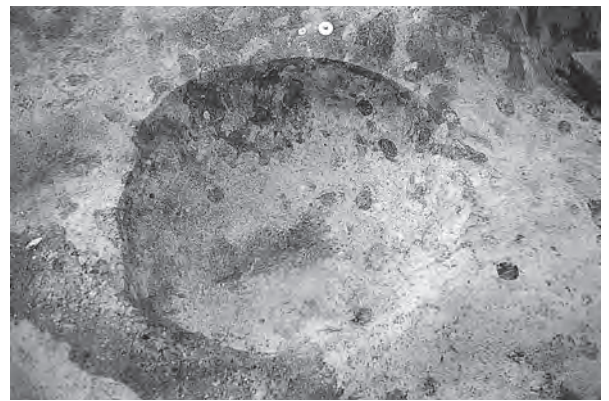
3 SK5105土坑断面土層(南西から)



4 SK5107土坑・SK5113土坑完掘状況(西から)



5 SK5109土坑完掘状況(西から)



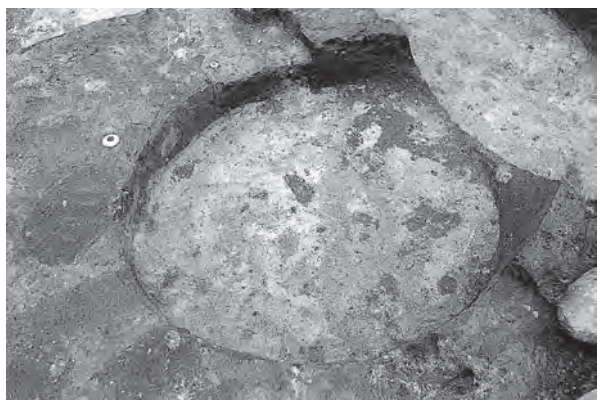
6 SK5110土坑完掘状況(南東から)



7 SK5111土坑完掘状況(南東から)



8 SK5116土坑完掘状況(南から)



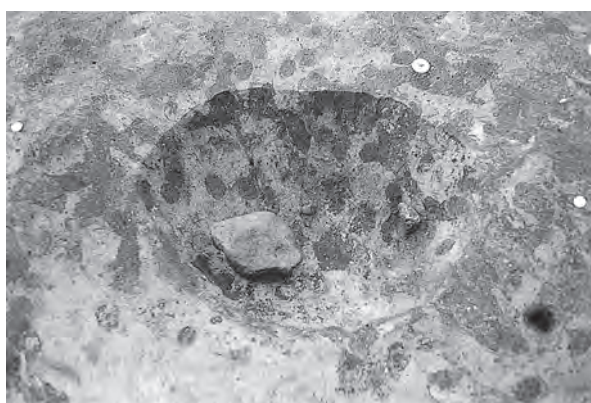
1 SK5124土坑完掘状況(西から)



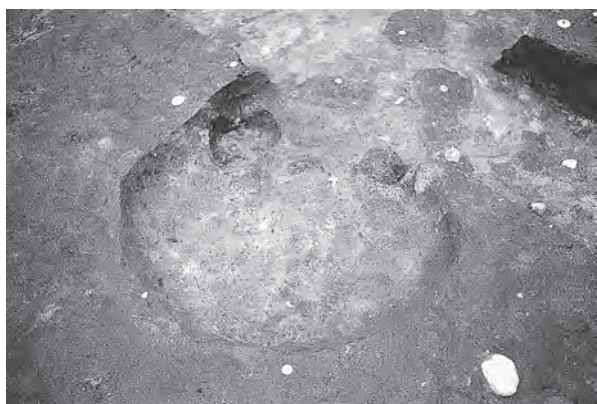
2 SK5127土坑完掘状況(西から)



3 SK5131土坑完掘状況(北西から)



4 SK5132土坑完掘状況(南東から)



5 SK5133土坑完掘状況(東から)



6 SK5135土坑検出状況(北東から)



7 SK5509土坑完掘状況(南から)

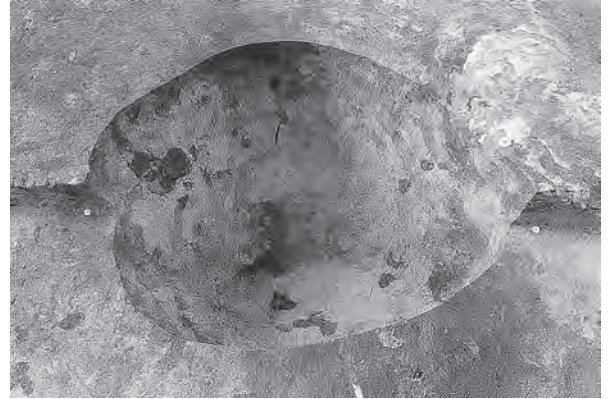


8 SK5523土坑焼骨出土状況(北東から)

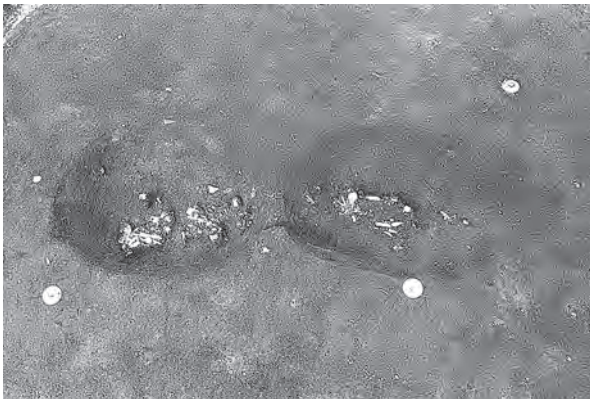




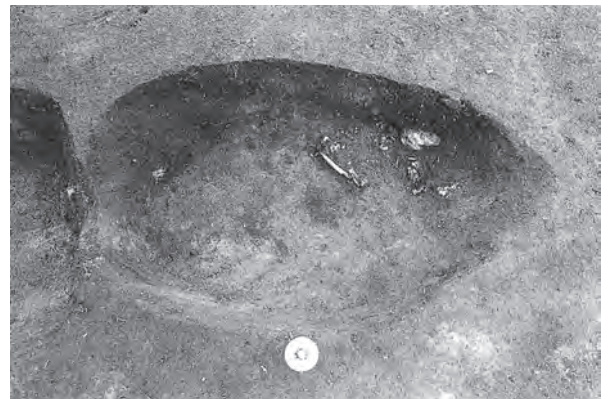
1 SK5525土坑焼骨出土状況(南東から)



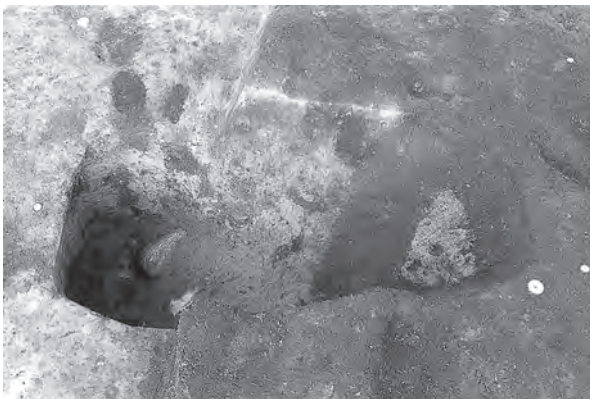
2 SK5537土坑完掘状況(南東から)



3 SK5539土坑・SK5541土坑焼骨出土状況(南東から)



4 SK5541土坑焼骨出土状況(南東から)



5 SK5543土坑完掘状況(南西から)



6 SK5549土坑断面土層(南東から)



7 SK5550土坑断面土層(北東から)



8 SK5552土坑完掘状況(南東から)



1 SK5554土坑完掘状況(南から)



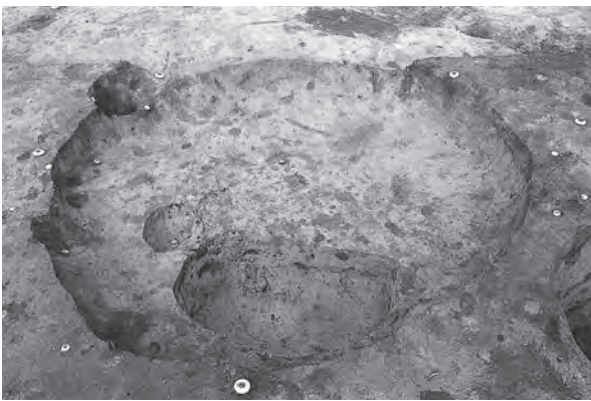
2 SK5557土坑断面土層(南から)



3 SK5564土坑完掘状況(南から)



4 SK5565土坑完掘状況(南から)



5 SK5567土坑完掘状況(南東から)



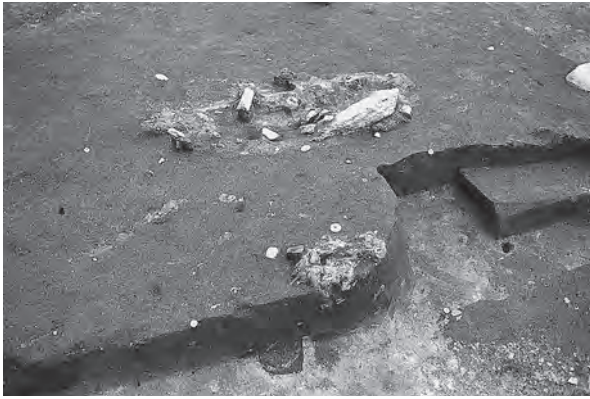
6 SK5568土坑断面土層(南東から)



7 SR5507土器埋設遺構断面土層(北東から)



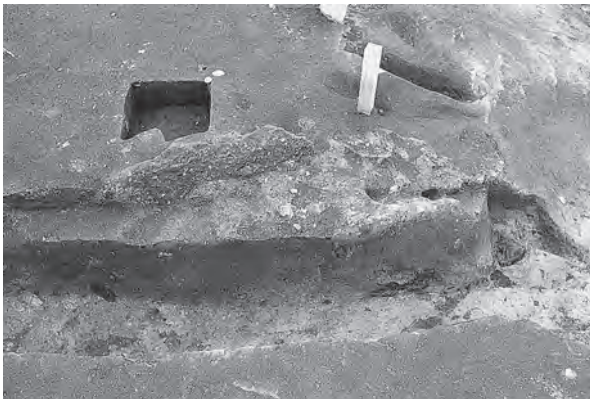
8 SR5506土器埋設遺構、  
SN5526焼土遺構の土器埋設炉断面土層(東から)



1 SN5118焼土遺構、  
SN5129焼土遺構検出状況(南西から)



2 SN5118焼土遺構検出状況(北東から)



3 SN5122焼土遺構検出状況(南西から)



4 SN5123焼土遺構検出状況(南西から)



5 SN5125焼土遺構精査状況(西から)



6 SN5126焼土遺構検出状況(南から)



7 SN5511焼土遺構の土器埋設炉断面土層(北西から)



8 SN5563焼土遺構の土器埋設炉断面土層(西から)



1 SD63溝跡完掘状況(北西から)



2 SD63溝跡断面土層(南東から)



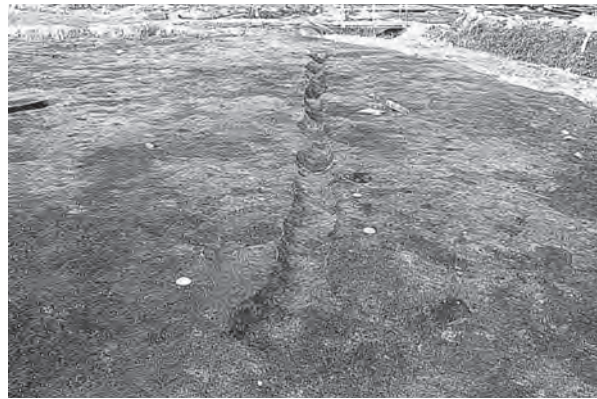
3 SD5102溝跡完掘状況(南から)



4 SD5501溝跡、SK5502溝跡完掘状況(東から)



5 SD5503溝跡完掘状況(東から)



6 SD5518溝跡完掘状況(西から)



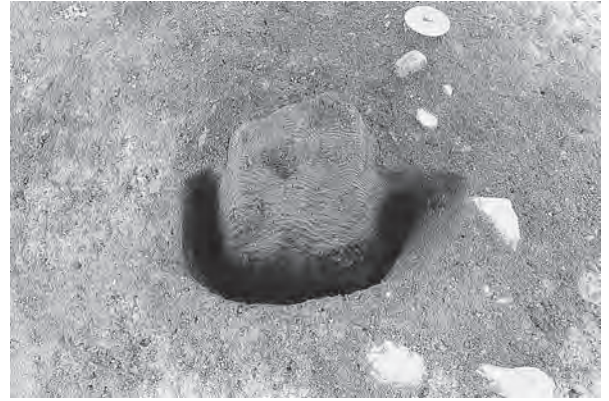
7 SQ5569配石遺構検出状況(東から)



8 ST5101捨て場遺物出土状況(北東から)



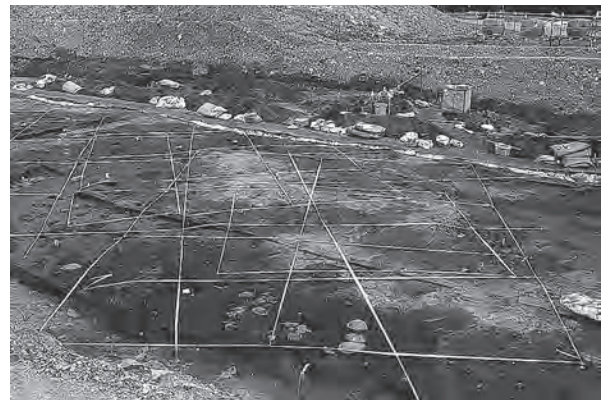
1 SB6315掘立柱建物跡検出状況(南西から)



2 SB6315掘立柱建物跡P2柱根検出状況(南東から)



3 SB6315掘立柱建物跡P5柱根検出状況(南東から)



4 SB6138掘立柱建物跡検出状況(南西から)



5 SE6011井戸跡埋没状況(南西から)



6 SE6011井戸跡埋設状況(南西から)



7 SE6011井戸跡完掘状況(北西から)



8 SE6011井戸跡、SE6012井戸跡完掘状況(北から)



1 SE6012井戸跡精査状況(北東から)



2 SE6012井戸跡完掘状況(北西から)



3 SE6012井戸跡精査状況(北西から)



4 SE6012井戸跡底面の大礫出土状況(北東から)



5 SE6051井戸跡埋没状況(南西から)



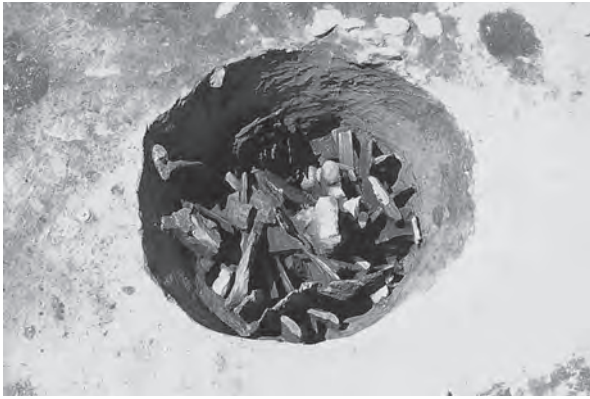
6 SE6051井戸跡底面付近の精査状況(南西から)



7 SE6055井戸跡埋没状況、SK6056完掘状況(南東から)



8 SE6155井戸跡底面の遺物出土状況(南東から)



1 SE6057井戸跡埋没状況(南東から)



2 SE6057井戸跡完掘状況(南東から)



3 SE6097井戸跡埋没状況(北東から)



4 SE6097井戸跡底面付近の精査状況(北東から)



5 SE6098井戸跡完掘状況(南東から)



6 SE6098井戸跡完掘状況(西から)



7 SE6098井戸跡完掘状況(南東から)



8 SE6098井戸跡完掘状況(南西から)



1 SE6098井戸跡完掘状況(北西から)



2 SE6098井戸跡完掘状況(北東から)



3 SE6099井戸跡埋没状況(南西から)



4 SE6099井戸跡底面の大礫出土状況(南東から)



5 SE6139井戸跡埋没状況(西から)



6 SE6139井戸跡埋没状況(西から)



7 SE6140井戸跡埋没状況(南から)



8 SE6140井戸跡埋没状況(南から)





1 SE6140井戸跡底面の遺物出土状況(南から)



2 SE6139井戸跡・SE6140井戸跡埋没状況(西から)



3 SE6164井戸跡埋没状況(南から)



4 SE6164井戸跡底面の遺物出土状況(南西から)



5 SK6050土坑埋没状況(南東から)



6 SK6010土坑・SK6058土坑埋没状況(南東から)



7 SK6107土坑完掘状況(西から)



8 SK6109土坑検出状況(南から)



1 SK6119土坑完掘状況(東から)



2 SK6121土坑完掘状況(南から)



3 SK6122土坑埋没状況(南西から)



4 SK6131土坑完掘状況(南から)



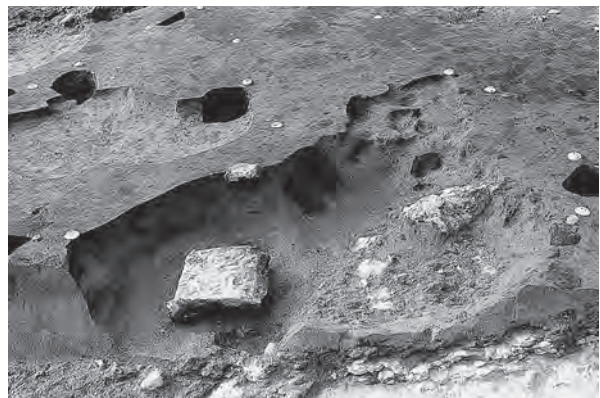
5 SK6132土坑断面土層(南から)



6 SK6137土坑完掘状況(南東から)



7 SK6149土坑完掘状況(西から)



8 SK6159土坑・SK6160土坑完掘状況(南東から)



1 SN6116焼土遺構精査状況(西から)



2 SN6129焼土遺構検出状況(北西から)



3 SN6148焼土遺構検出状況(南東から)



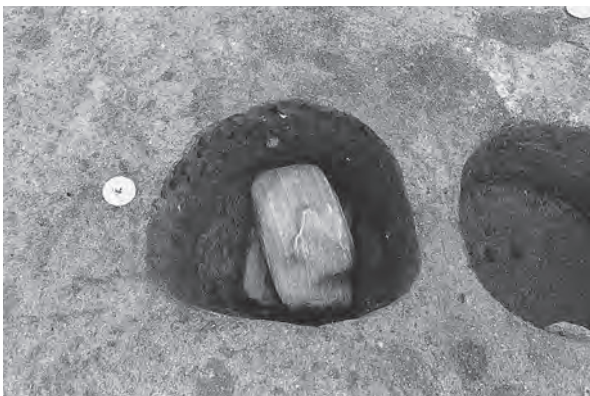
4 SN6163焼土遺構検出状況(南西から)



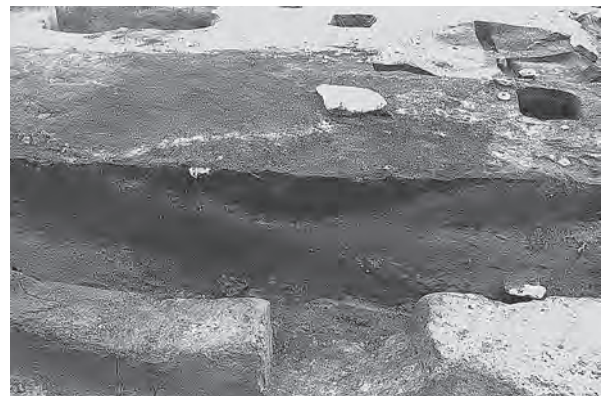
5 SKP6239柱穴様ピット柱根出土状況(南東から)



6 SKP6615柱穴様ピット礎板出土状況(北東から)



7 SKP6609柱穴様ピット礎板出土状況(南から)



8 山側調査区大湯浮石層の堆積状況(北西から)



1 SI5060竖穴住居跡出土土器



2 SI5060竖穴住居跡出土土器



3 SI5060竖穴住居跡出土土器



4 SI5060竖穴住居跡出土土器



5 SI5073竖穴住居跡出土土器



6 SI5073竖穴住居跡出土土器



7 SI5080竖穴住居跡出土土器



8 SI5080竖穴住居跡出土土器



1 SI5080竖穴住居跡出土土器



2 SI5560竖穴住居跡出土土器



3 SI5560竖穴住居跡出土土器



4 SK5040土坑出土土器



5 SK5047土坑出土土器



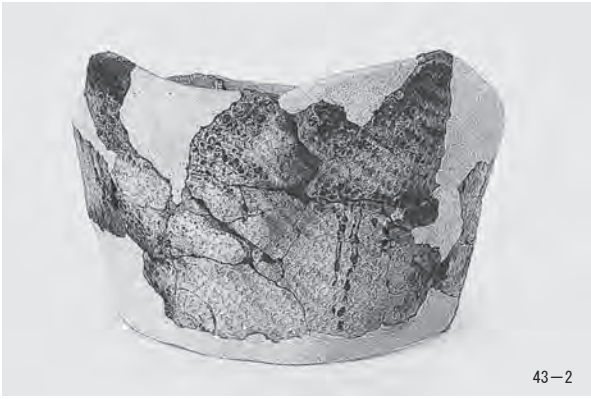
6 SK5071土坑出土土器



7 SK5076土坑出土土器



8 SR5506土器埋設遺構出土土器



43-2

1 SR5507土器埋設遺構出土土器



43-3

2 SN5511焼土遺構出土土器



43-4

3 SN5526焼土遺構出土土器



43-5

4 SN5563焼土遺構出土土器



44-8

5 ST5101捨て場出土土器



44-9

6 ST5101捨て場出土土器



45-11

7 ST5101捨て場出土土器



45-12

8 ST5101捨て場出土土器



46-1

1 ST5101捨て場出土土器



46-2

2 ST5101捨て場出土土器



47-8

3 ST5101捨て場出土土器



47-12

4 ST5101捨て場出土土器



48-1

5 ST5101捨て場出土土器



48-2

6 ST5101捨て場出土土器



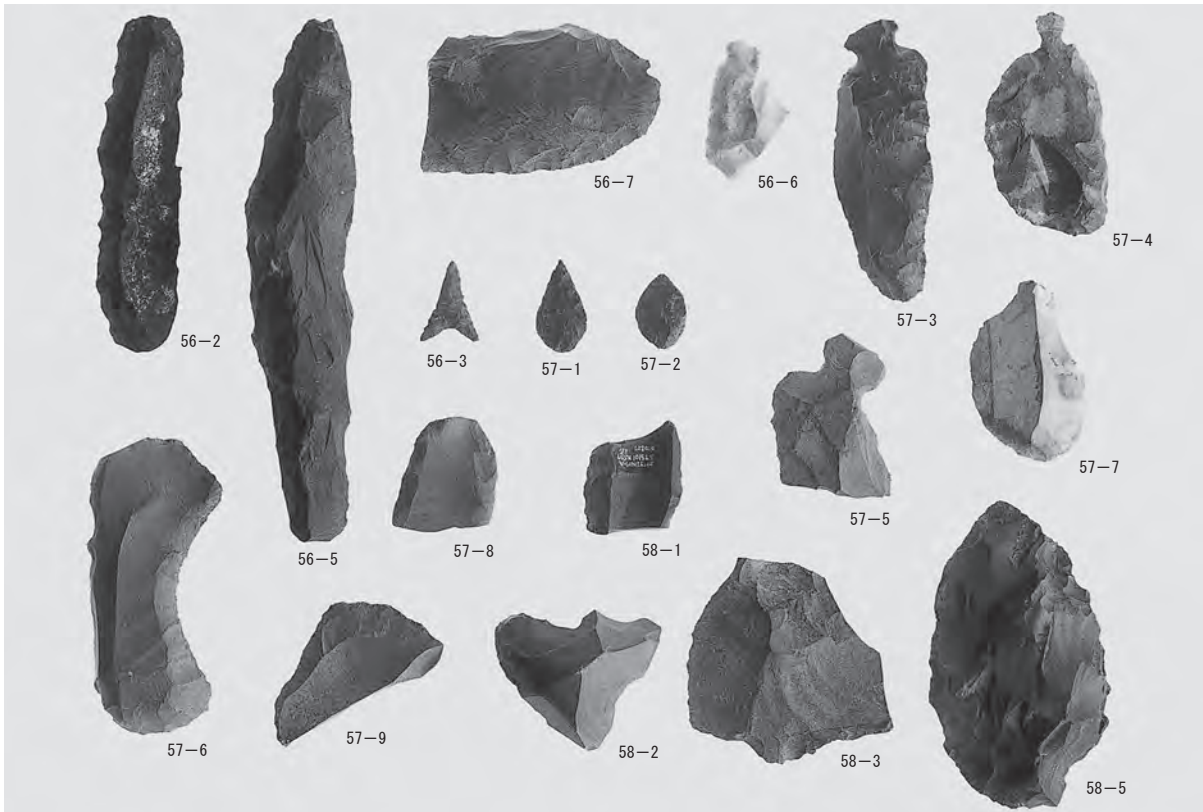
49-5

7 ST5101捨て場出土土器

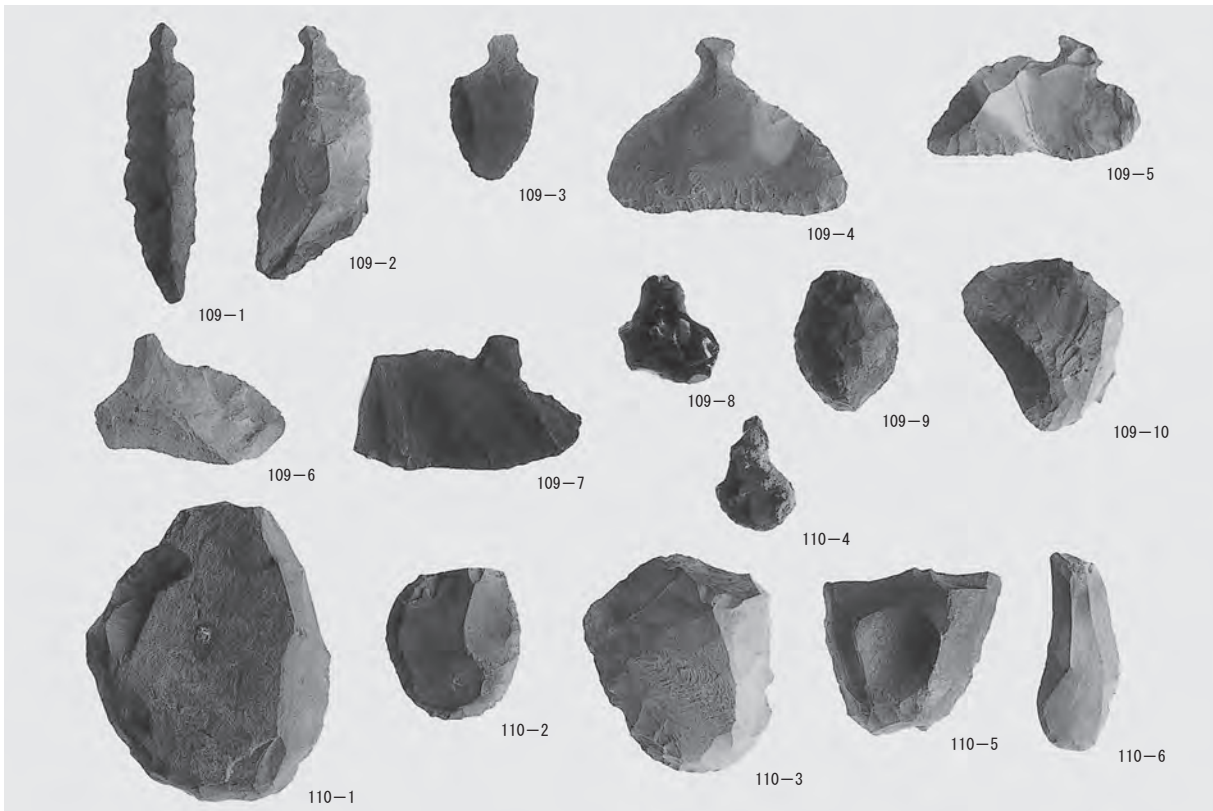


49-8

8 ST5101捨て場出土土器

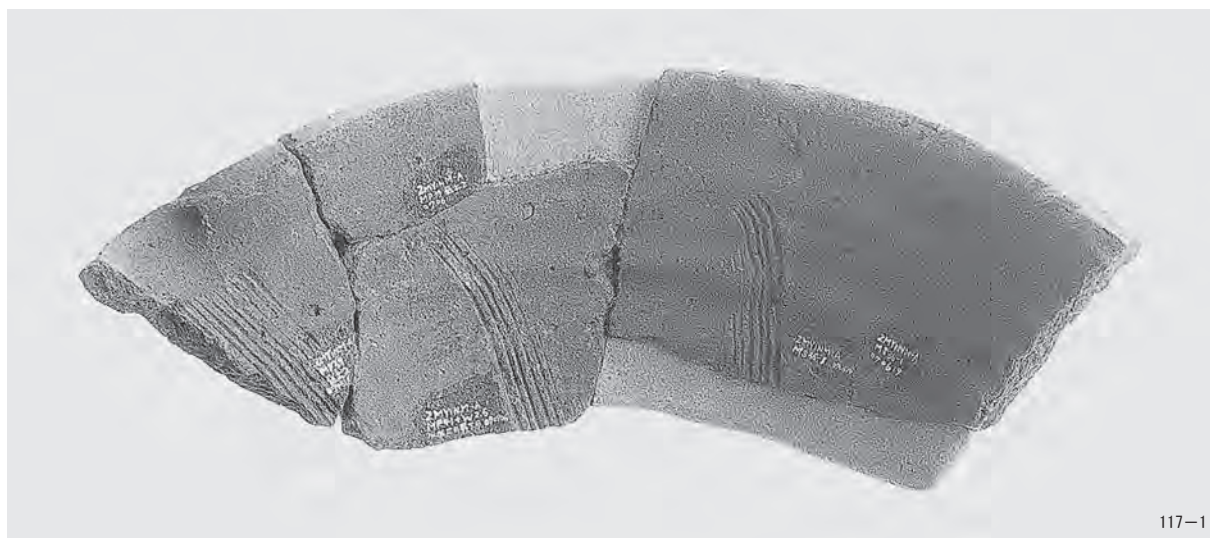


1 遺構内出土石器

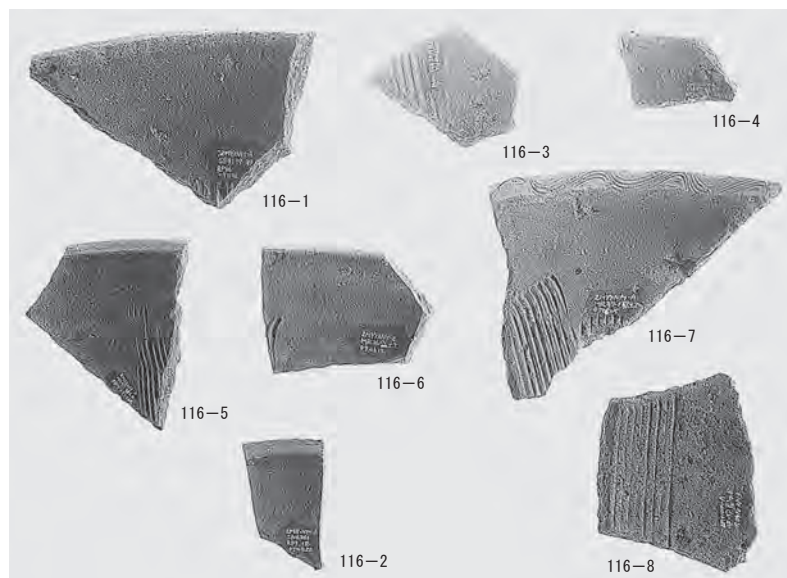


2 遺構外出土石器

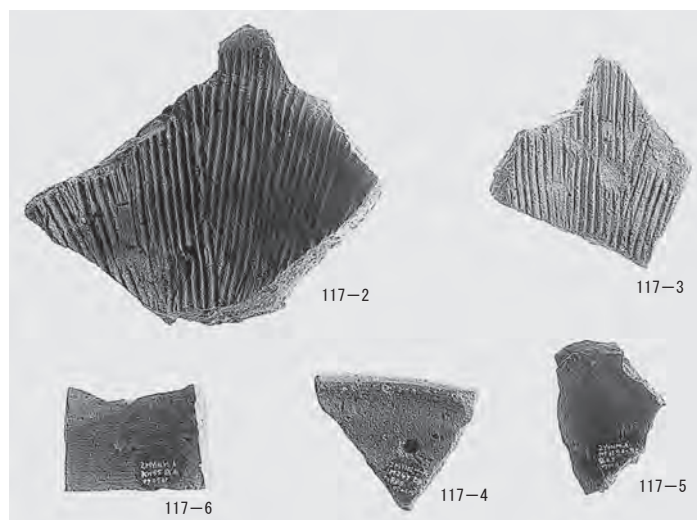




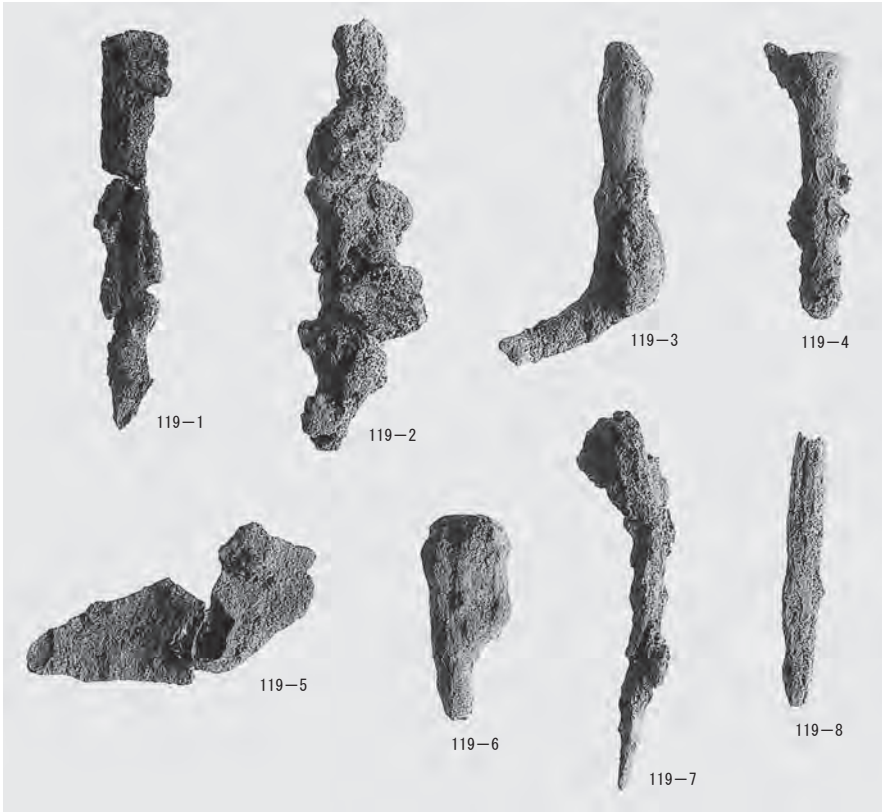
1 遺構外出土珠洲系陶器



2 遺構内外出土珠洲系陶器



3 遺構外出土珠洲系陶器



1 遺構内外出土鉄製品



2 遺構外出土筭



3 遺構外出土和鏡

## 報告書抄録

ふりがな	もりよしいえのまえ いせき								
書名	森吉家ノ前A遺跡								
副書名	森吉山ダム建設事業に係る埋蔵文化財発掘調査報告書								
巻次	XXII								
シリーズ名	秋田県文化財調査報告書								
シリーズ番号	第453集								
編著者名	谷地 薫 馬場泰一 加藤 竜 菅野美香子								
編集機関	秋田県埋蔵文化財センター								
所在地	〒014-0802 秋田県大仙市払田字牛嶋20番地 TEL 0187-69-3331								
発行機関	秋田県教育委員会								
所在地	〒010-8580 秋田県秋田市山王3丁目1番1号 TEL 018-860-5193								
発行年月日	西暦2010年3月								
ふりがな 所収遺跡名	ふりがな 所在地	コード		北緯	東経	調査期間	調査面積 (㎡)	調査原因	
		市町村	遺跡番号						
もりよしいえのまえ 森吉家ノ前A いせき 遺跡	あきた けんきたあき 秋田県北秋 たしもりよしあざ 田市森吉字 もりよしいえのまえ 森吉家ノ前 145ほか	05323 旧コード	213-13-106	40° 02′ 49″	140° 29′ 32″	第3次 20070515 } 20071109	6,980㎡	森吉山ダム 建設事業に 係る埋蔵文 化財事前発 掘調査	
所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物		特記事項			
森吉家ノ前A 遺跡	集落跡	縄文時代	竪穴住居跡	5	縄文土器 (前・中・後・晩)		円筒下層 a～d 式 大木 9・10 式並行 十腰内 I・II 群 大洞 A' 式		
			土坑	31	石器				
			土器埋設遺構	4					
			焼土遺構	3					
			配石遺構	1					
		弥生時代	捨て場	1	弥生土器 (前)				
			土坑	1	土師器				
		平安時代	竪穴住居跡	1	陶磁器				
			中世	掘立柱建物跡	16	(珠洲系陶器、			
		井戸跡		13	灰釉、青磁)				
		土坑		110	木製品				
		近世	焼土遺構	20	(曲物桶、折敷、				
			溝跡	5	箸、砧、下駄)				
		中世・近世	溝跡	4	井戸枠木材				
柱穴様ピット	1, 121		金属製品						
時期不明	土坑	20	(鉄釘、刀子、和鏡、						
	焼土遺構	5	筭、北宋銭、明銭、 寛永通宝)						
要 約	縄文中期大木 9・10 式並行期の竪穴住居跡は自然堤防の微高地上に分散している。後期十腰内 I・II 群期の土坑墓群は最終的に環状配列となり、竪穴住居跡がその外縁に立地する。鎌倉時代後半(13世紀後半)～戦国・安土桃山時代(16世紀)の集落跡は、掘立柱建物跡、井戸跡、カマド状遺構、大溝、土坑墓からなる。土坑墓10基から火葬骨が出土した。土坑墓と関連する大型柱穴10基も検出した。								

秋田県文化財調査報告書第453集

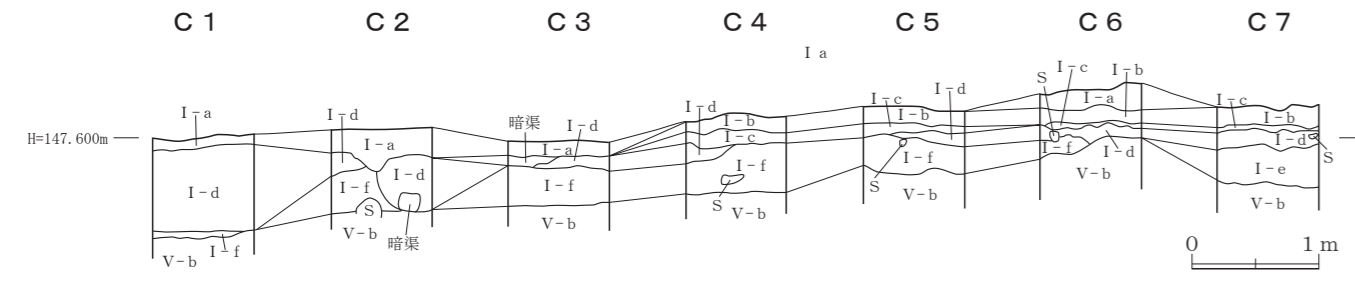
森吉家ノ前A遺跡(第3次)

— 森吉山ダム建設事業に係る埋蔵文化財発掘調査報告書XXII —

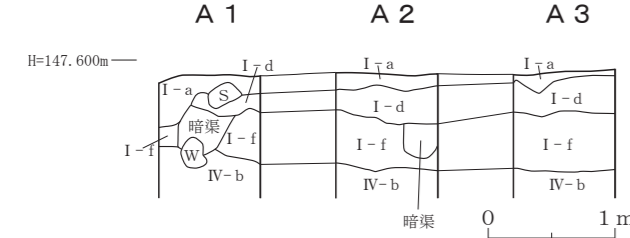
印刷・発行	平成 22 年 3 月
編 集	秋田県埋蔵文化財センター 〒014-0802 秋田県大仙市払田字牛嶋 20 番地 電話 (0187)69-3331 FAX (0187)69-3330
発 行	秋田県教育委員会 〒010-8580 秋田県秋田市山王 3 丁目 1 番 1 号 電話 (018)860-5193
印 刷	株式会社 大館印刷



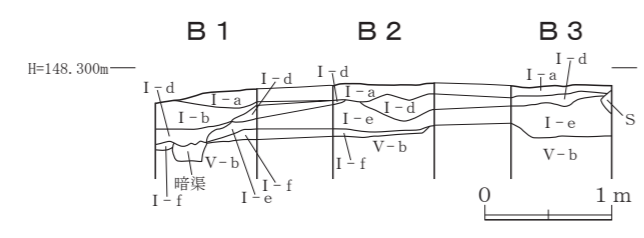
基本土層 山側調査区-C



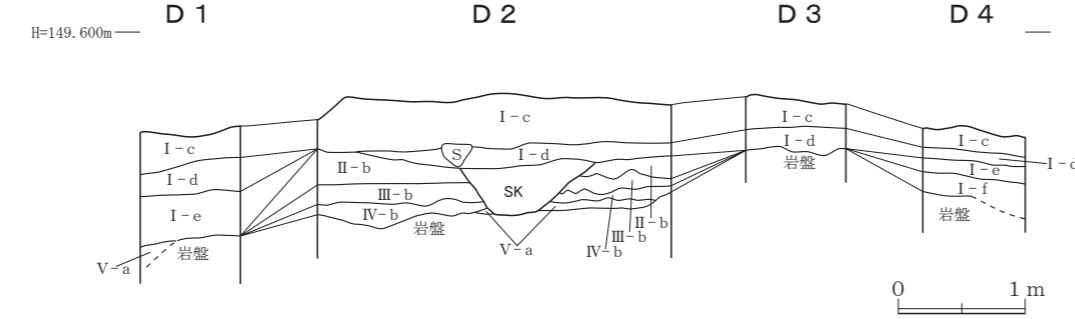
基本土層 山側調査区-A



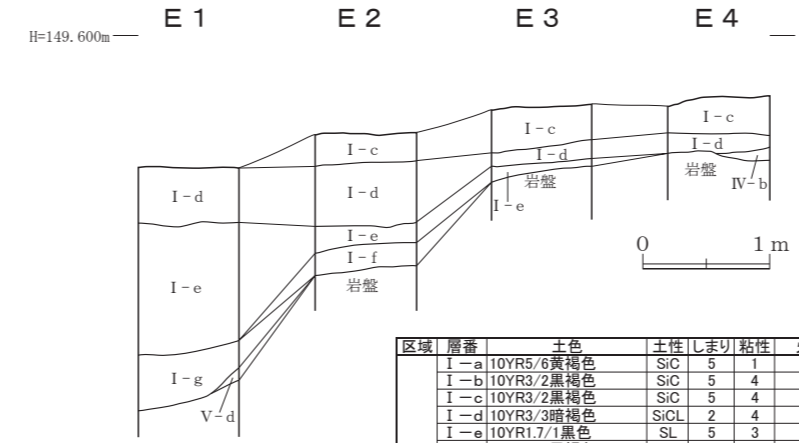
基本土層 山側調査区-B



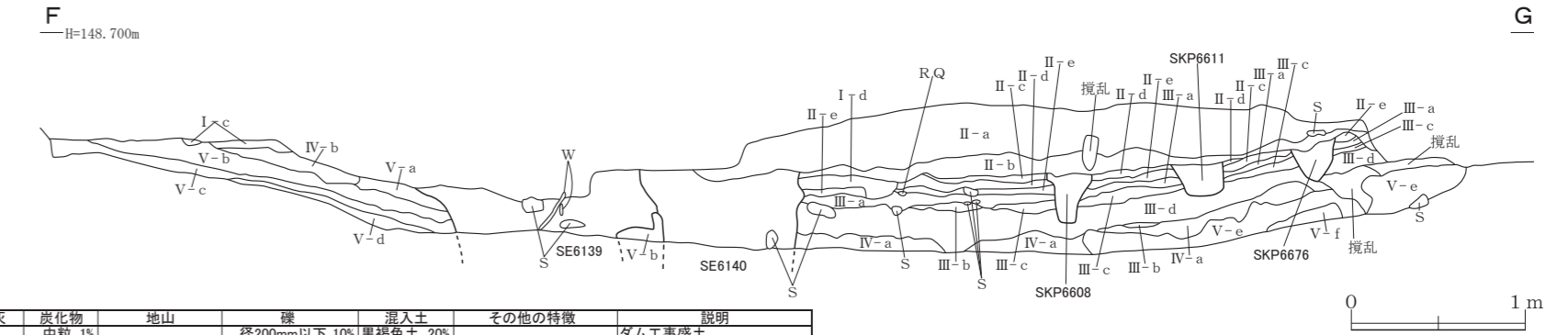
基本土層 山側調査区-D



基本土層 山側調査区-E



基本土層 山側調査区F-G



区画	層番号	土色	土質	LS	粘粒	火山灰	炭化物	地山	礫	混入土	その他の特徴	説明	
山側	I-a	10YR5/2黄褐色	SL	5	2			中粒 1%	径200mm以下 10%	黒褐色土 20%		ダム工事遺構	
	I-b	10YR3/2黄褐色	SL	5	3			中粒 1%	灰色細砂大塊 30%	黒褐色土 1%		水田遺構	
	I-c	10YR3/2黄褐色	SL	5	4			中粒 1%	灰色細砂大塊 30%	黒褐色土 1%	木片200mm以下	水田遺構	
	I-d	10YR3/2黄褐色	SL	2	4			中粒 1%	径200mm以下 10%	黒褐色土 1%		田舎(石)遺構	
	I-e	10YR1/1黒色	SL	5	3			中粒 3%	灰色細砂大塊 30%	黒褐色土 30%		田舎(石)遺構	
	I-f	10YR2/1黒褐色	SL	3	3			中粒 3%	径10mm以下 5%	黒褐色土 1%		田舎(石)遺構	
	I-g	10YR2/1黒褐色	SL	3	3			中粒 3%	径10mm以下 5%	黒褐色土 1%		田舎(石)遺構	
	II-a	10YR2/2黄褐色	SL	4	2			細小粒 15%	小粒 1%				中世以前の遺構
	II-b	10YR2/2黄褐色	SL	4	3			細小粒 15%	小粒 1%				中世の遺構(遺構の遺土)
	II-c	10YR2/2黄褐色	SL	4	3			細小粒 15%	小粒 1%				中世の遺構(遺構の遺土)
	II-d	10YR1/1黒色	SL	4	3			細小粒 20%	小粒 1%				平安-中世前期の遺構
	III-a	10YR5/4に少し黄褐色	SL	4	1			細小粒 80%	径10mm以下 5%	黒褐色土 10%			水田遺構(火山灰層)
III-b	10YR2/2黄褐色	SL	3	4			細小粒 10%	細小粒 2%				平安前期の遺構	
III-c	10YR4/4褐色	LS	4	1			小塊 5%					平安前期の遺構	
III-d	10YR2/2黄褐色	SL	4	3			小塊 5%					平安前期までの遺構の表土	
III-e	10YR2/2黄褐色	SL	4	3			小塊 5%					縄文-平安前期の表土	
IV-a	10YR4/4褐色	SL	5	2			地山土 40%					地山層	
IV-b	10YR5/4に少し黄褐色	SL	5	2			地山土 40%					地山層	
IV-c	10YR5/4に少し黄褐色	SL	5	2			地山土 40%					地山層	
V-a	10YR5/4に少し黄褐色	SL	5	2			地山土 40%					地山層	
V-b	5YR8/2に少し黒	LS	5	2								中世流石(石)遺構	
V-c	10YR2/2黄褐色	SL	5	2								山側調査区一般的地山層	
V-d	10YR4/4褐色	SL	5	1						細砂 20%		地山層	
V-e	5YR8/2に少し黒	SL	5	3								地山層	
V-f	5Y4/4暗オリーブ	LS	5	4								地山層	

第3次(平成19年度)山側調査区

第1次(平成14年度)調査区

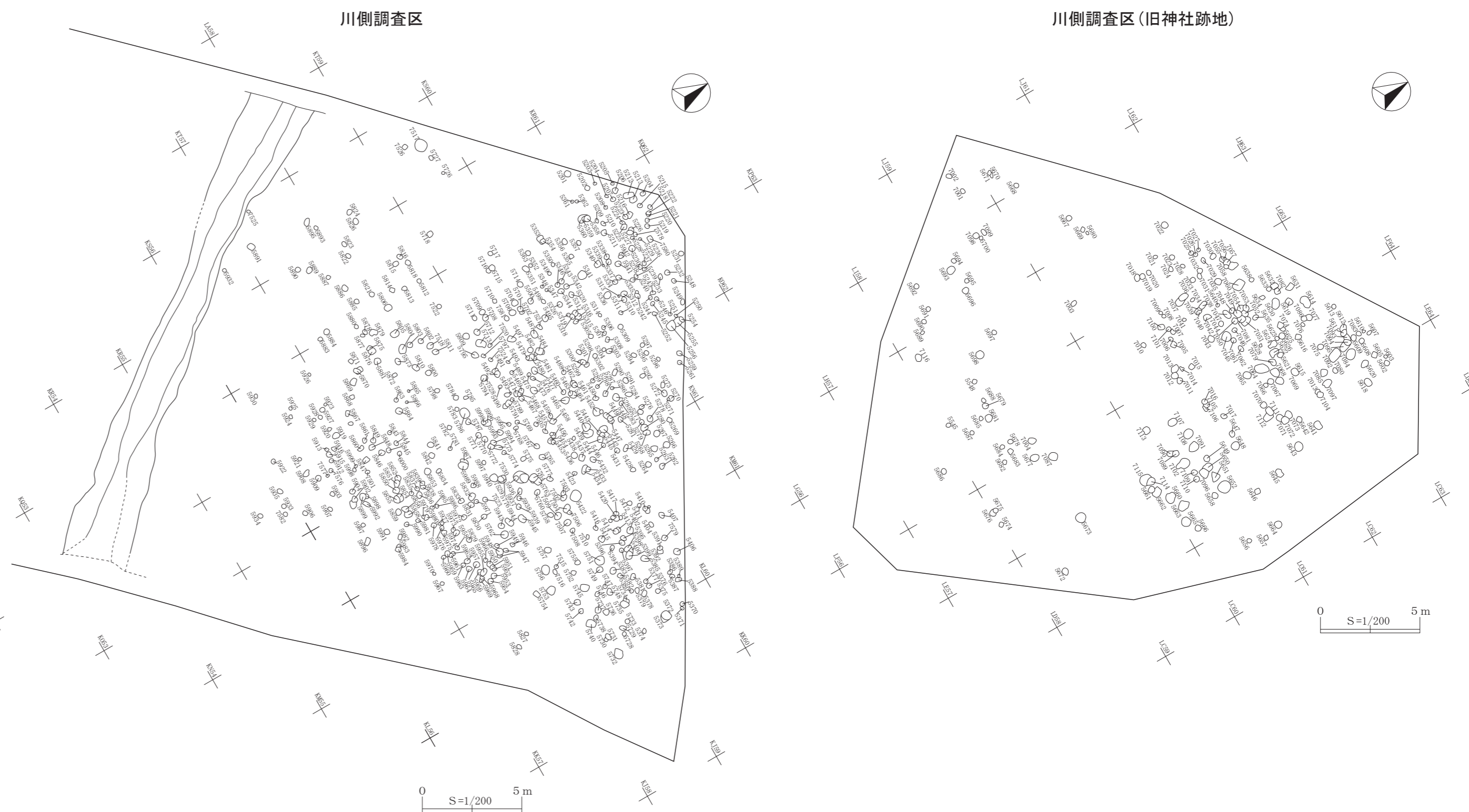
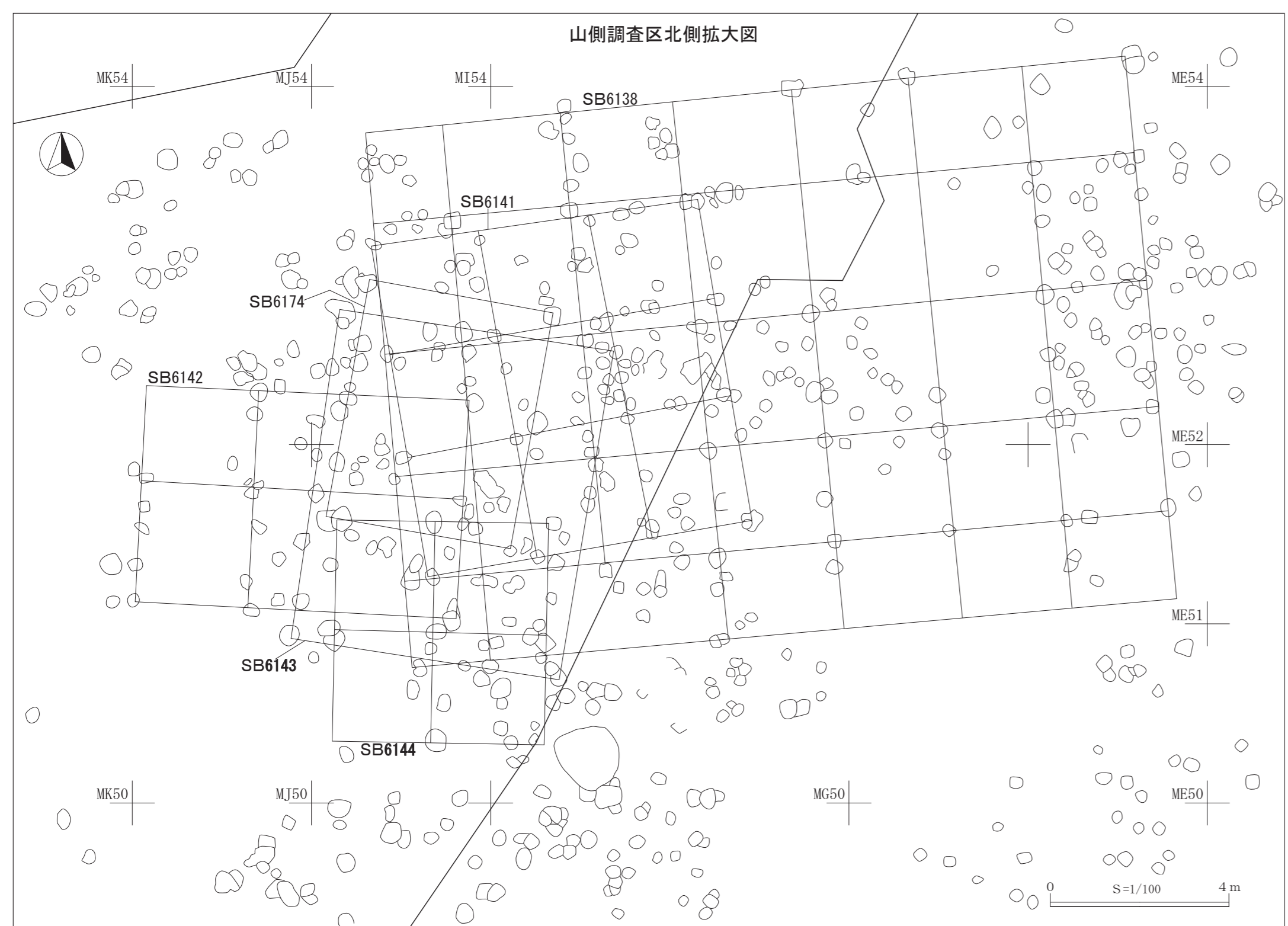
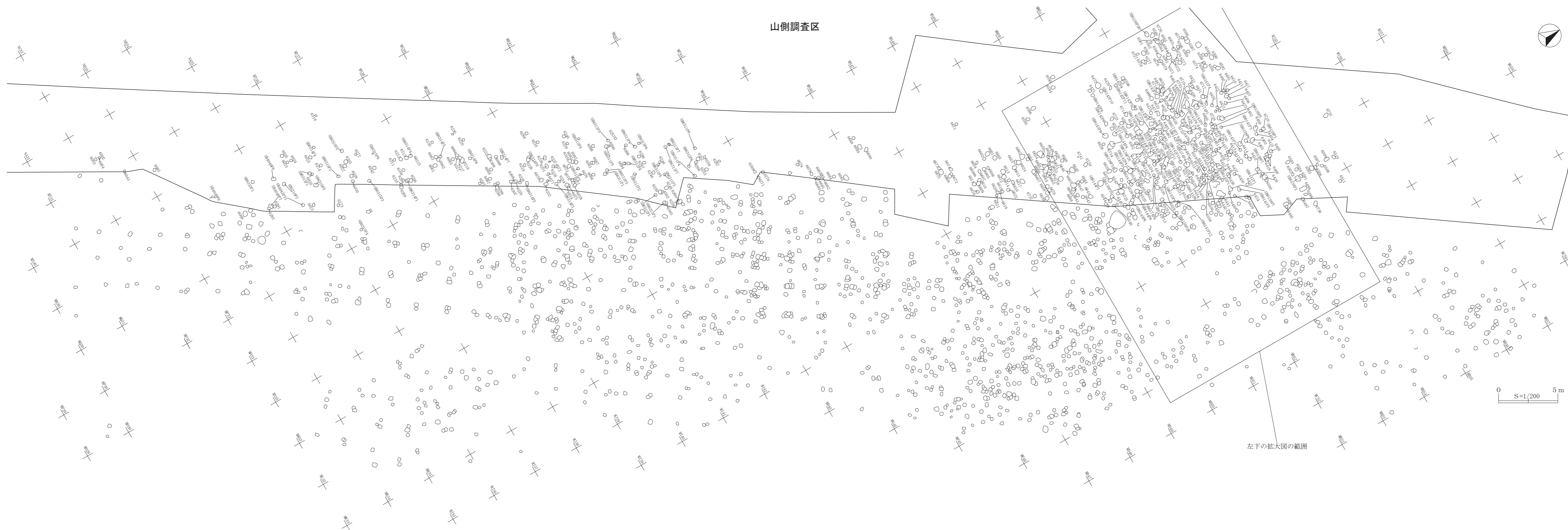
第2次(平成15年度)調査区

第3次(平成19年度)川側調査区

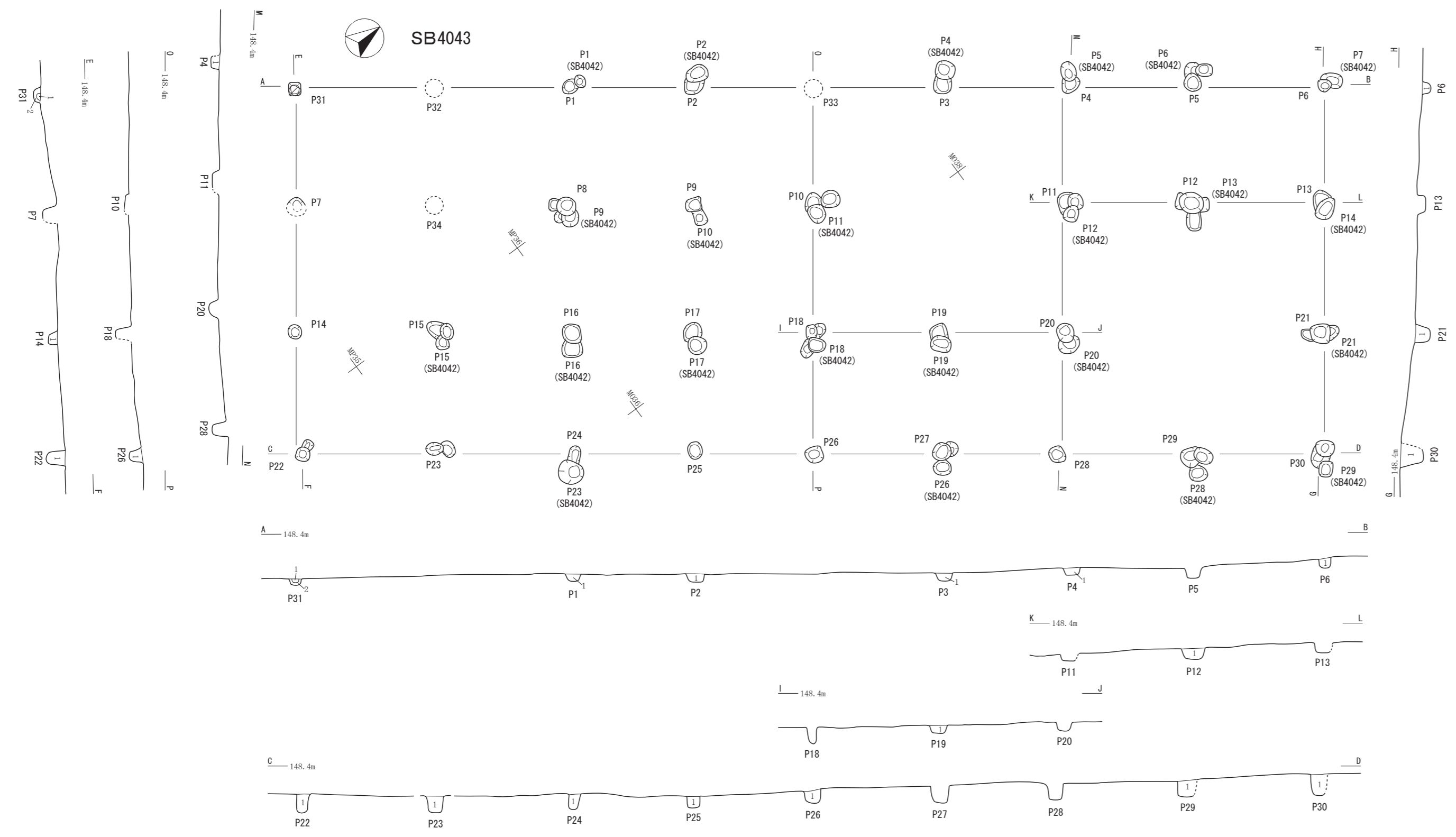


区画	層番号	土色	土質	LS	粘粒	火山灰	炭化物	地山	礫	混入土	その他の特徴	説明
川側	I-h	10YR3/2黄褐色	SL	5	2			地山土 40%	径50mm以下 3%			水田遺構
	I-i	10YR2/2黄褐色	SL	5	3			細小粒 3%	小粒 10%			水田遺構(土)
	I-j	10YR4/4褐色	LS	5	1			細小粒 3%	小粒 20%	径200mm以下 50%		水田遺構(土)
	I-k	10YR4/4褐色	SL	5	1			細小粒 15%	小粒 20%	径300mm以下 10%		水田遺構(遺構の遺土)
	II-l	10YR2/2黄褐色	SL	4	2			細小粒 15%	小粒 1%			中世の遺構(遺構の遺土)
	II-m	10YR5/4に少し黄褐色	SL	4	1			細小粒 80%	径10mm以下 5%	黒褐色土 10%		水田遺構(火山灰層)
川側	III-n	10YR2/2黄褐色	SL	4	2			径200mm以下 5%				遺物包含層
	III-o	10YR3/2黄褐色	SL	4	2							縄文-平安前期の遺構
	III-p	10YR3/2黄褐色	SL	4	2							遺物包含層
	III-q	10YR2/2黄褐色	SL	4	2							縄文-平安前期の遺構
	III-r	10YR4/4褐色	SL	5	2			地山土 40%				地山層
III-s	10YR5/6黄褐色	SL	5	3						細砂 20%		地山層

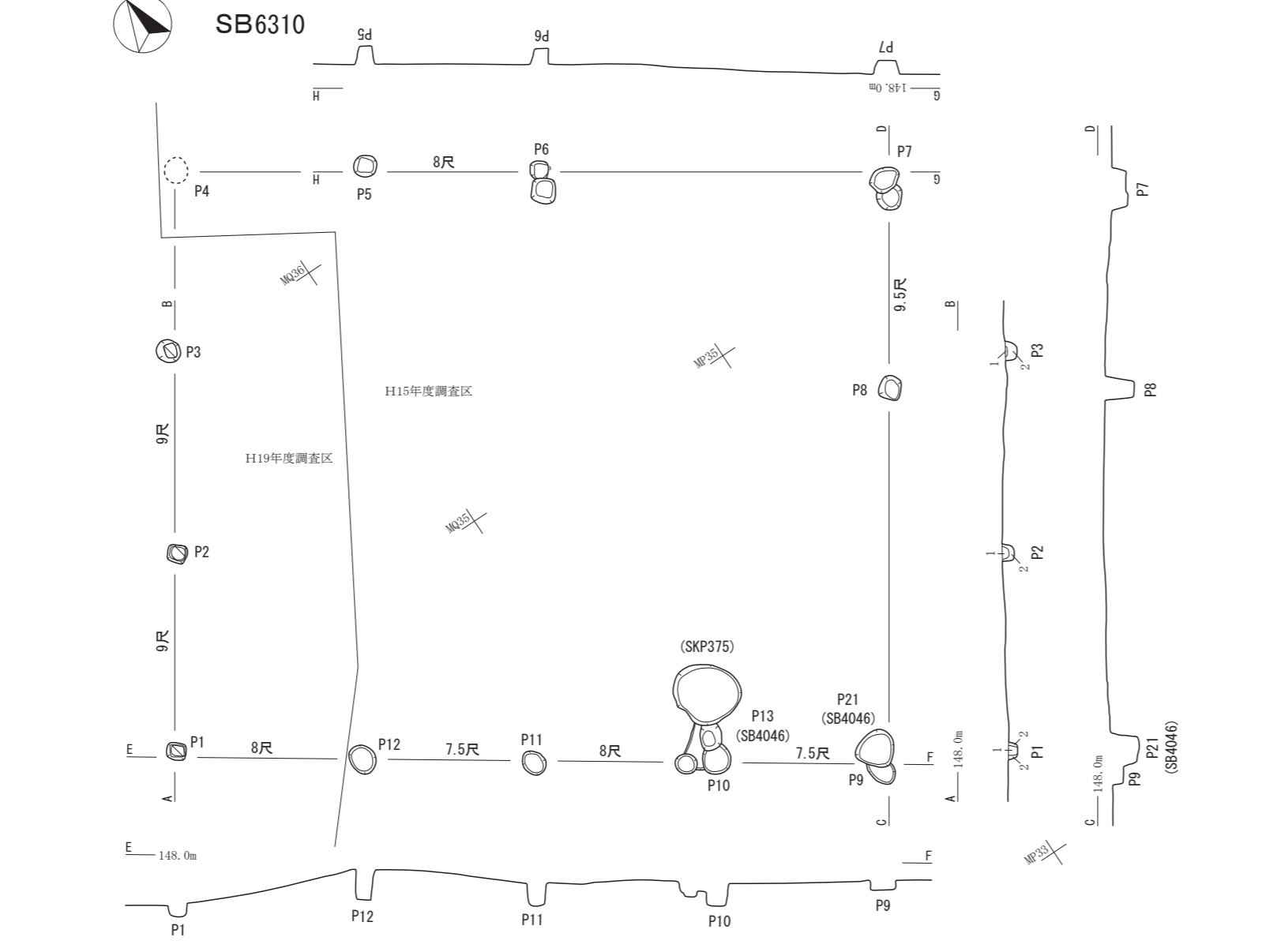
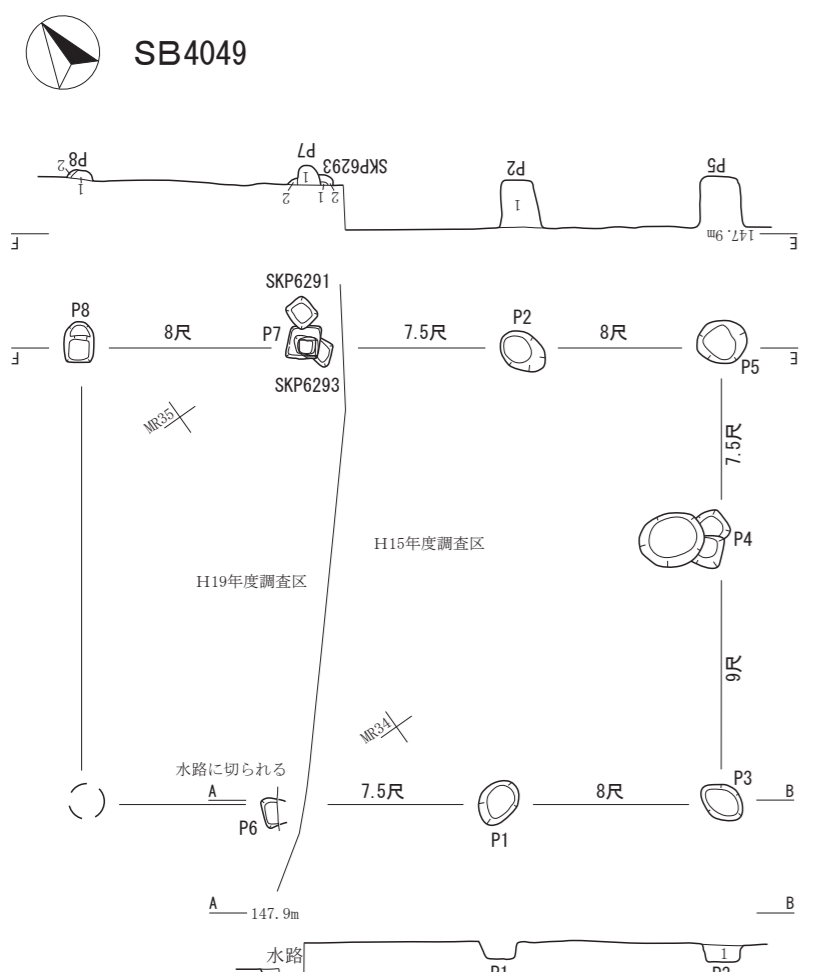
付図1 遺構配置図、基本土層図



付図2 柱穴様ピット分布図

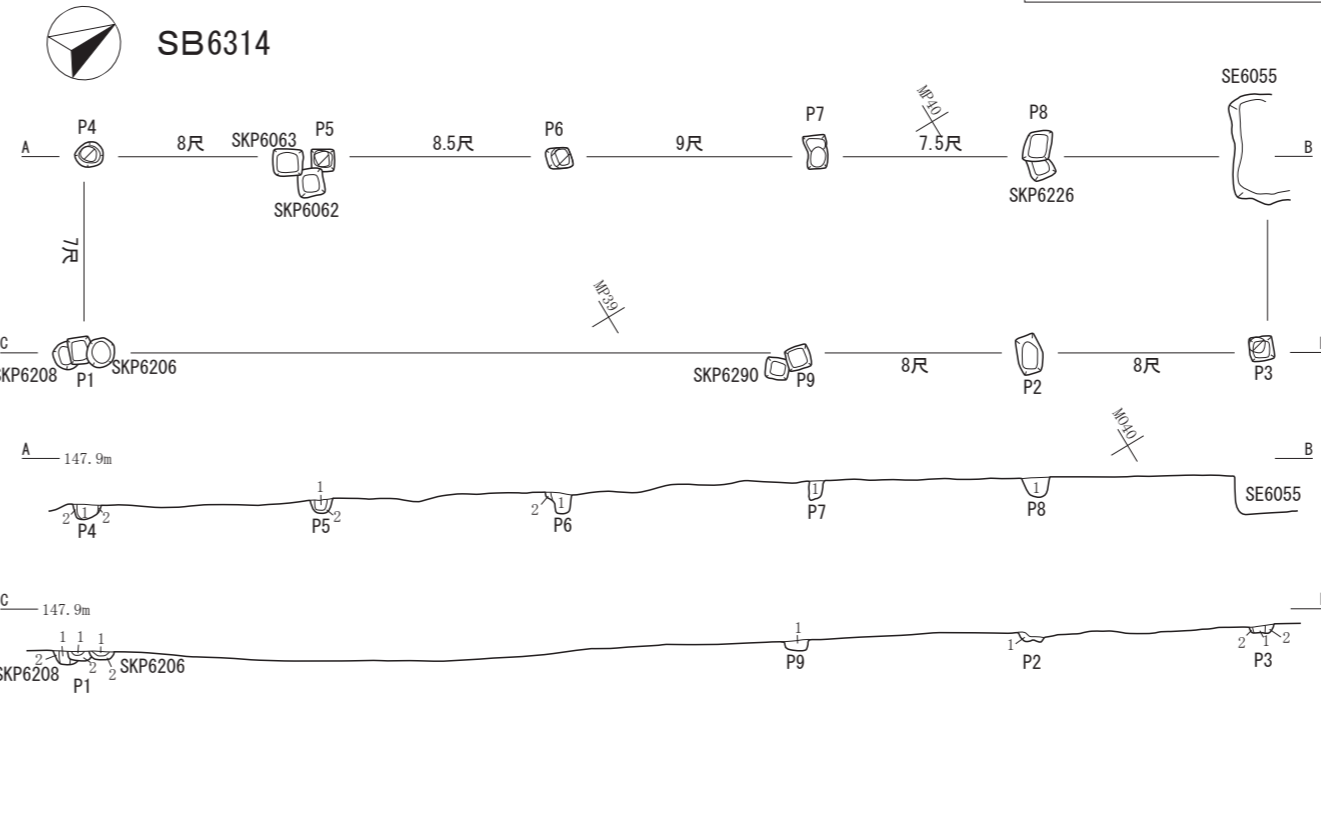


遺構	層	土色	土質 (L・S)	粘付	埋入土	堀山	礎土	炭化物
SB4043 P1	1	黒褐色土 (10YR2/1)	SIL	4	2	埋山土 50%	中粒 20%	
SB4043 P2	1	黒褐色土 (10YR2/2)	SIL	4	2	埋山土 50%	中粒 20%	
SB4043 P3	1	黒褐色土 (10YR2/1)	SIL	1	2	小粒 10%	中粒 20%	
SB4043 P4	1	黒褐色土 (10YR1/2)	SIL	4	2	小粒 5%	中粒 15%	
SB4043 P5	1	黒褐色土 (10YR2/2)	SIL	2	4	中粒 10%	中粒 20%	
SB4043 P6	1	黒褐色土 (10YR2/2)	SIL	2	4	中粒 10%	中粒 20%	
SB4043 P7	1	黒褐色土 (10YR2/1)	SIL	2	2	中粒 10%	中粒 20%	
SB4043 P8	1	黒褐色土 (10YR2/2)	SIL	2	4	中粒 10%	中粒 20%	
SB4043 P9	1	黒褐色土 (10YR2/2)	SIL	2	4	中粒 10%	中粒 20%	
SB4043 P10	1	黒褐色土 (10YR2/2)	SIL	2	4	中粒 10%	中粒 20%	
SB4043 P11	1	黒褐色土 (10YR2/2)	SIL	2	4	中粒 10%	中粒 20%	
SB4043 P12	1	黒褐色土 (10YR2/2)	SIL	2	4	中粒 10%	中粒 20%	
SB4043 P13	1	黒褐色土 (10YR2/2)	SIL	2	4	中粒 10%	中粒 20%	
SB4043 P14	1	黒褐色土 (10YR2/2)	SIL	2	4	中粒 10%	中粒 20%	
SB4043 P15	1	黒褐色土 (10YR2/2)	SIL	2	4	中粒 10%	中粒 20%	
SB4043 P16	1	黒褐色土 (10YR2/2)	SIL	2	4	中粒 10%	中粒 20%	
SB4043 P17	1	黒褐色土 (10YR2/2)	SIL	2	4	中粒 10%	中粒 20%	
SB4043 P18	1	黒褐色土 (10YR2/2)	SIL	2	4	中粒 10%	中粒 20%	
SB4043 P19	1	黒褐色土 (10YR2/2)	SIL	2	4	中粒 10%	中粒 20%	
SB4043 P20	1	黒褐色土 (10YR2/2)	SIL	2	4	中粒 10%	中粒 20%	
SB4043 P21	1	黒褐色土 (10YR2/2)	SIL	2	4	中粒 10%	中粒 20%	
SB4043 P22	1	黒褐色土 (10YR2/2)	SIL	2	4	中粒 10%	中粒 20%	
SB4043 P23	1	黒褐色土 (10YR2/2)	SIL	2	4	中粒 10%	中粒 20%	
SB4043 P24	1	黒褐色土 (10YR2/2)	SIL	2	4	中粒 10%	中粒 20%	
SB4043 P25	1	黒褐色土 (10YR2/2)	SIL	2	4	中粒 10%	中粒 20%	
SB4043 P26	1	黒褐色土 (10YR2/2)	SIL	2	4	中粒 10%	中粒 20%	
SB4043 P27	1	黒褐色土 (10YR2/2)	SIL	2	4	中粒 10%	中粒 20%	
SB4043 P28	1	黒褐色土 (10YR2/2)	SIL	2	4	中粒 10%	中粒 20%	
SB4043 P29	1	黒褐色土 (10YR2/2)	SIL	2	4	中粒 10%	中粒 20%	
SB4043 P30	1	黒褐色土 (10YR2/2)	SIL	2	4	中粒 10%	中粒 20%	
SB4043 P31	1	黒褐色土 (10YR2/2)	SIL	2	4	中粒 10%	中粒 20%	
SB4043 P32	1	黒褐色土 (10YR2/2)	SIL	2	4	中粒 10%	中粒 20%	
SB4043 P33	1	黒褐色土 (10YR2/2)	SIL	2	4	中粒 10%	中粒 20%	

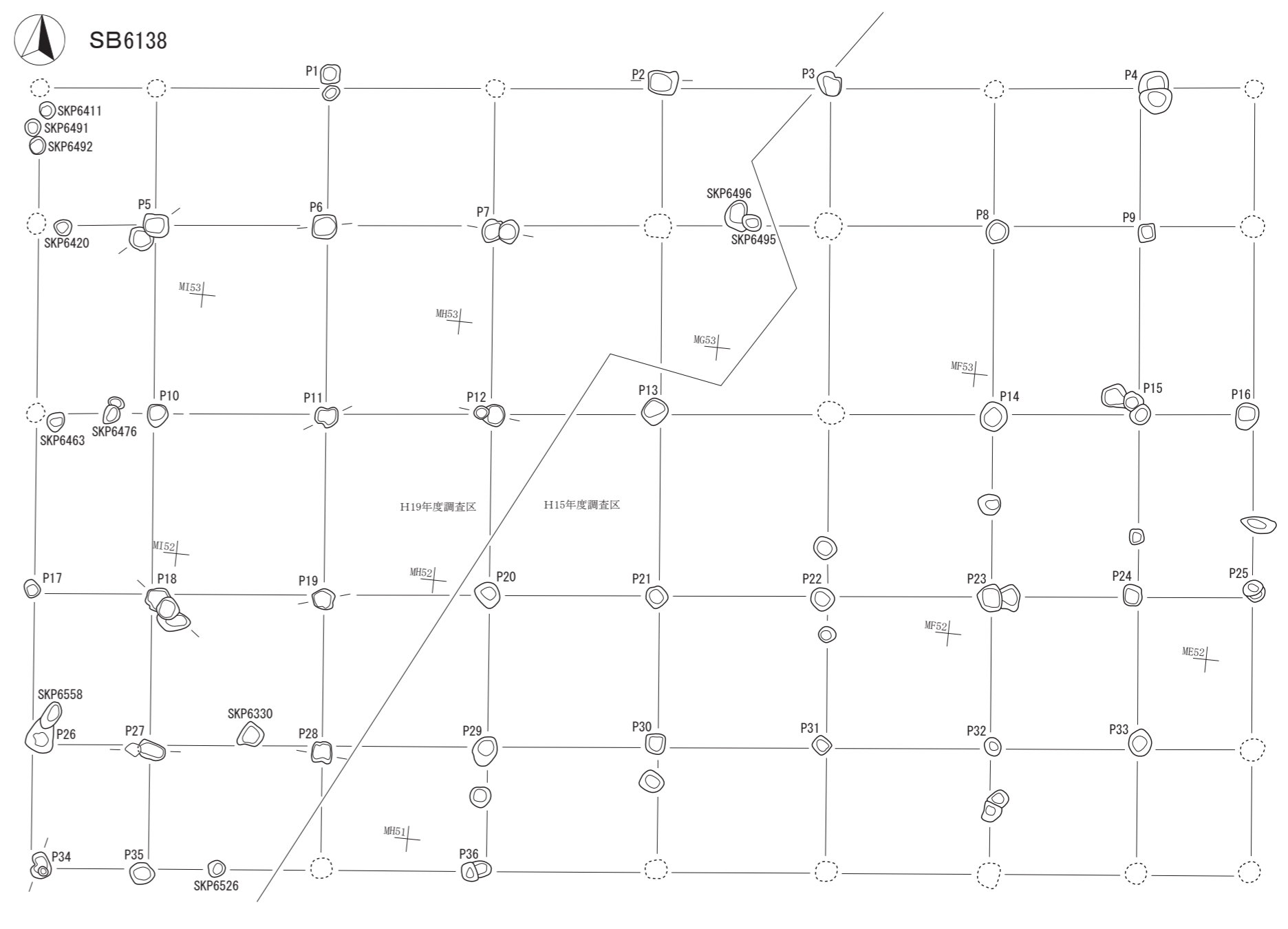


遺構	層	土色	土質 (L・S)	粘付	埋入土	堀山	礎土	炭化物
SB4049 P1	1	黒褐色土 (10YR2/2)	SIL	3	3	小粒 2%	中粒 3%	
SB4049 P2	1	黒褐色土 (10YR2/2)	SIL	3	3	小粒 2%	中粒 3%	
SB4049 P3	1	黒褐色土 (10YR1/2)	SIL	3	3	小粒 2%	中粒 3%	
SB4049 P4	1	黒褐色土 (10YR2/2)	SIL	3	3	小粒 2%	中粒 3%	
SB4049 P5	1	黒褐色土 (10YR2/2)	SIL	3	3	小粒 2%	中粒 3%	
SB4049 P6	1	黒褐色土 (10YR2/2)	SIL	3	3	小粒 2%	中粒 3%	
SB4049 P7	1	黒褐色土 (10YR2/2)	SIL	3	3	小粒 2%	中粒 3%	
SB4049 P8	1	黒褐色土 (10YR2/2)	SIL	3	3	小粒 2%	中粒 3%	

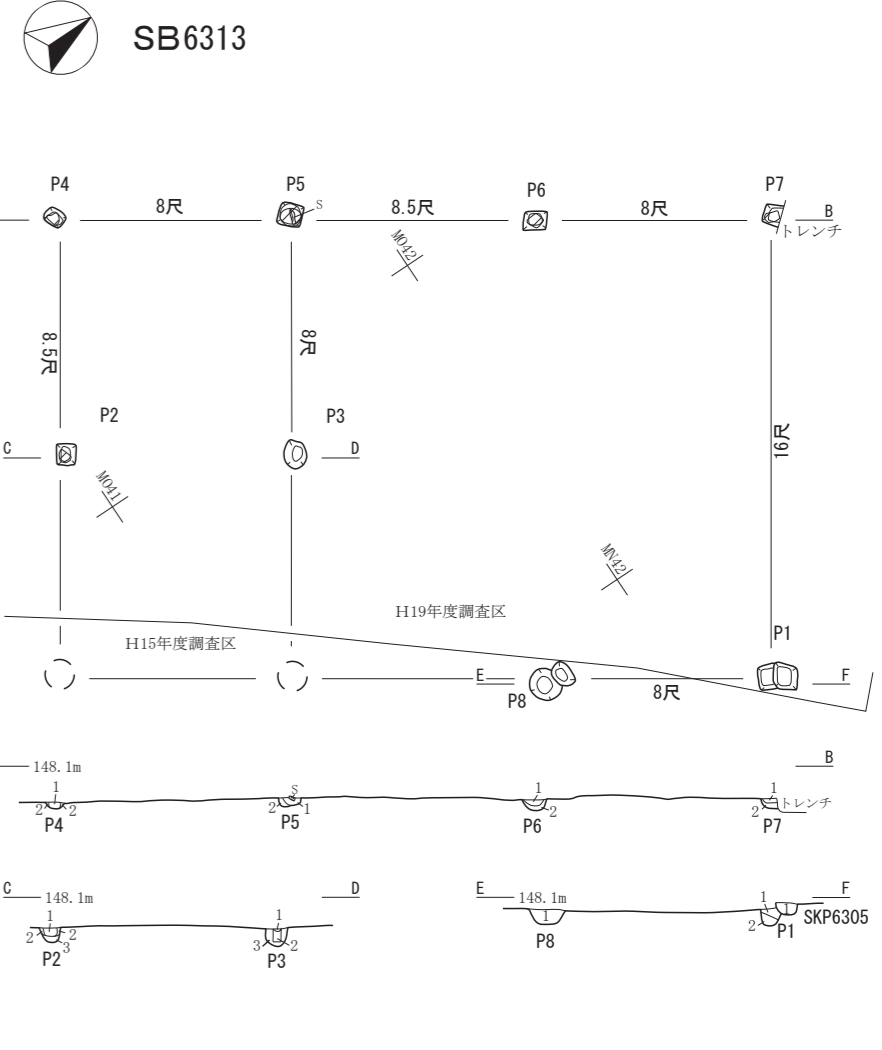
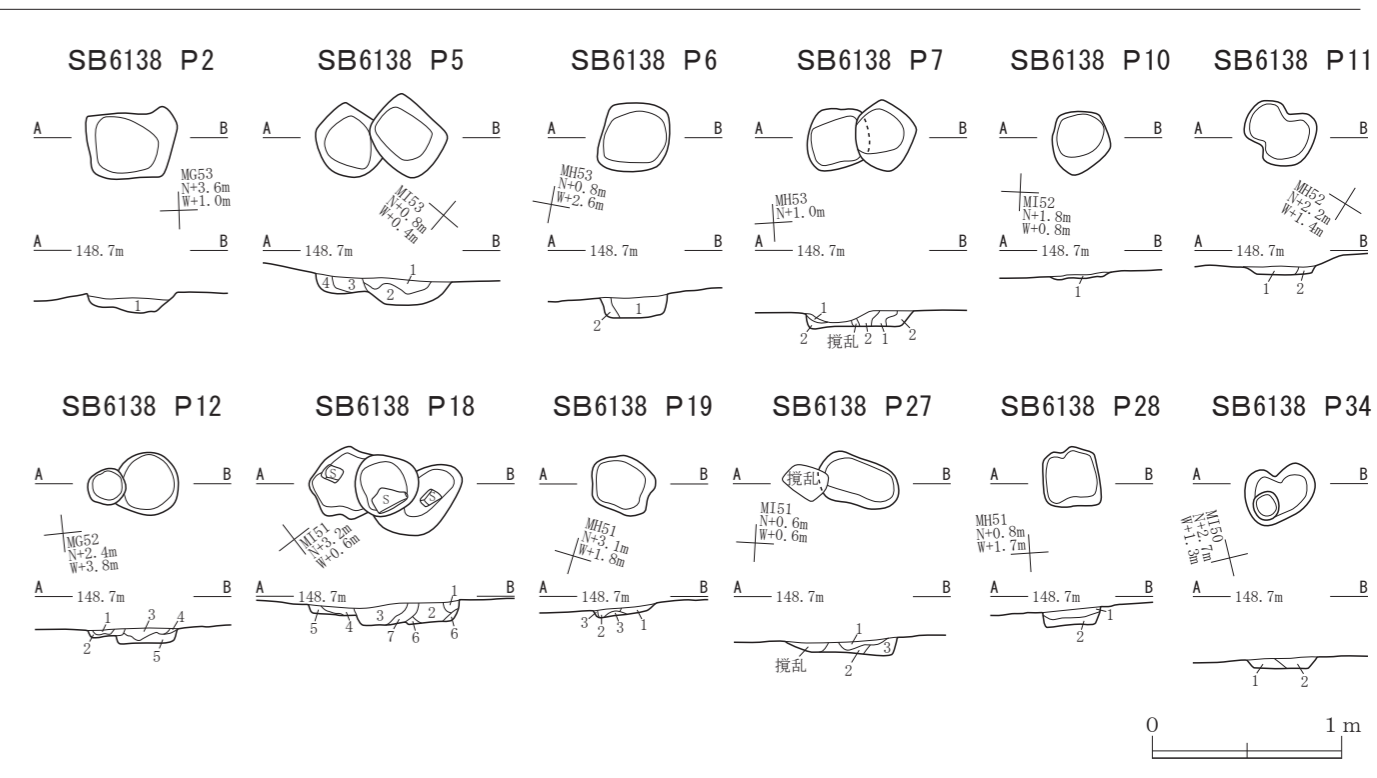
遺構	層	土色	土質 (L・S)	粘付	埋入土	堀山	礎土	炭化物
SB6310 P1	1	黒褐色土 (10YR2/2)	SIL	5	3			
SB6310 P2	1	黒褐色土 (10YR2/2)	SIL	5	3			
SB6310 P3	1	黒褐色土 (10YR2/2)	SIL	5	3			
SB6310 P4	1	黒褐色土 (10YR2/2)	SIL	5	3			
SB6310 P5	1	黒褐色土 (10YR2/2)	SIL	5	3			
SB6310 P6	1	黒褐色土 (10YR2/2)	SIL	5	3			
SB6310 P7	1	黒褐色土 (10YR2/2)	SIL	5	3			
SB6310 P8	1	黒褐色土 (10YR2/2)	SIL	5	3			
SB6310 P9	1	黒褐色土 (10YR2/2)	SIL	5	3			
SB6310 P10	1	黒褐色土 (10YR2/2)	SIL	5	3			
SB6310 P11	1	黒褐色土 (10YR2/2)	SIL	5	3			
SB6310 P12	1	黒褐色土 (10YR2/2)	SIL	5	3			
SB6310 P13	1	黒褐色土 (10YR2/2)	SIL	5	3			



遺構	層	土色	土質 (L・S)	粘付	埋入土	堀山	礎土	炭化物
SKP6206	1	黒褐色土 (10YR2/2)	SIL	5	3	埋山土 40%	中粒 40%	
SB6314 P1	1	黒褐色土 (10YR2/2)	SIL	5	3	埋山土 40%	中粒 40%	
SB6314 P2	1	黒褐色土 (10YR2/2)	SIL	5	3	埋山土 40%	中粒 40%	
SB6314 P3	1	黒褐色土 (10YR2/2)	SIL	5	3	埋山土 40%	中粒 40%	
SB6314 P4	1	黒褐色土 (10YR2/2)	SIL	5	3	埋山土 40%	中粒 40%	
SB6314 P5	1	黒褐色土 (10YR2/2)	SIL	5	3	埋山土 40%	中粒 40%	
SB6314 P6	1	黒褐色土 (10YR2/2)	SIL	5	3	埋山土 40%	中粒 40%	
SB6314 P7	1	黒褐色土 (10YR2/2)	SIL	5	3	埋山土 40%	中粒 40%	
SB6314 P8	1	黒褐色土 (10YR2/2)	SIL	5	3	埋山土 40%	中粒 40%	



遺構	層	土色	土質 (L・S)	粘付	埋入土	堀山	礎土	炭化物
SB6138 P2	1	黒褐色土 (10YR3/4)	SIL	5	3	埋山土 40%	中粒 40%	
SB6138 P5	1	黒褐色土 (10YR3/4)	SIL	5	3	埋山土 40%	中粒 40%	
SB6138 P6	1	黒褐色土 (10YR3/4)	SIL	5	3	埋山土 40%	中粒 40%	
SB6138 P7	1	黒褐色土 (10YR3/4)	SIL	5	3	埋山土 40%	中粒 40%	
SB6138 P10	1	黒褐色土 (10YR3/4)	SIL	5	3	埋山土 40%	中粒 40%	
SB6138 P11	1	黒褐色土 (10YR3/4)	SIL	5	3	埋山土 40%	中粒 40%	
SB6138 P12	1	黒褐色土 (10YR3/4)	SIL	5	3	埋山土 40%	中粒 40%	
SB6138 P18	1	黒褐色土 (10YR3/4)	SIL	5	3	埋山土 40%	中粒 40%	
SB6138 P19	1	黒褐色土 (10YR3/4)	SIL	5	3	埋山土 40%	中粒 40%	
SB6138 P27	1	黒褐色土 (10YR3/4)	SIL	5	3	埋山土 40%	中粒 40%	
SB6138 P28	1	黒褐色土 (10YR3/4)	SIL	5	3	埋山土 40%	中粒 40%	
SB6138 P34	1	黒褐色土 (10YR3/4)	SIL	5	3	埋山土 40%	中粒 40%	

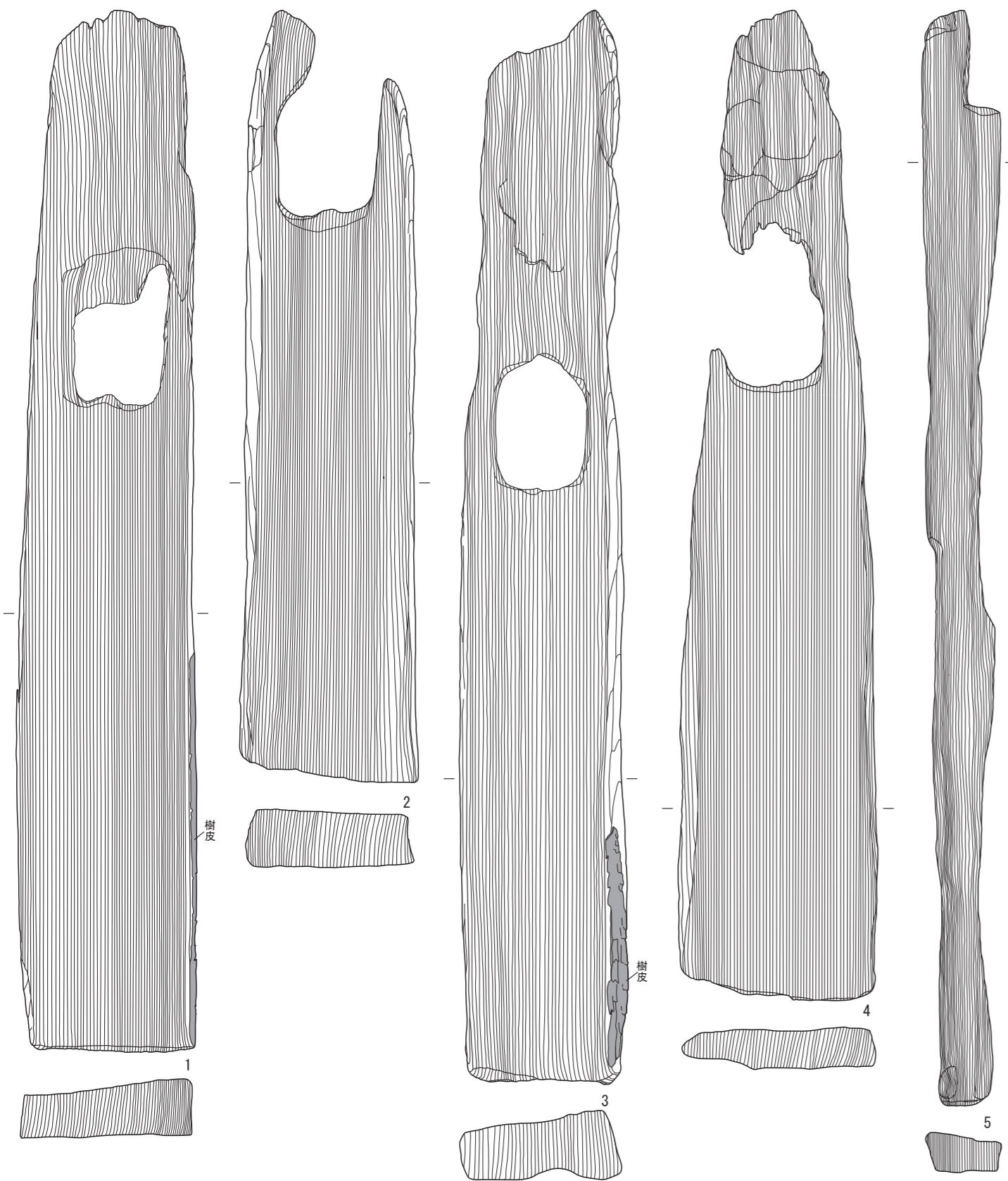


遺構	層	土色	土質 (L・S)	粘付	埋入土	堀山	礎土	炭化物
SKP6206	1	黒褐色土 (10YR2/2)	SIL	5	3	埋山土 40%	中粒 40%	
SB6313 P1	1	黒褐色土 (10YR2/2)	SIL	5	3	埋山土 40%	中粒 40%	
SB6313 P2	1	黒褐色土 (10YR2/2)	SIL	5	3	埋山土 40%	中粒 40%	
SB6313 P3	1	黒褐色土 (10YR2/2)	SIL	5	3	埋山土 40%	中粒 40%	
SB6313 P4	1	黒褐色土 (10YR2/2)	SIL	5	3	埋山土 40%	中粒 40%	
SB6313 P5	1	黒褐色土 (10YR2/2)	SIL	5	3	埋山土 40%	中粒 40%	
SB6313 P6	1	黒褐色土 (10YR2/2)	SIL	5	3	埋山土 40%	中粒 40%	
SB6313 P7	1	黒褐色土 (10YR2/2)	SIL	5	3	埋山土 40%	中粒 40%	
SB6313 P8	1	黒褐色土 (10YR2/2)	SIL	5	3	埋山土 40%	中粒 40%	

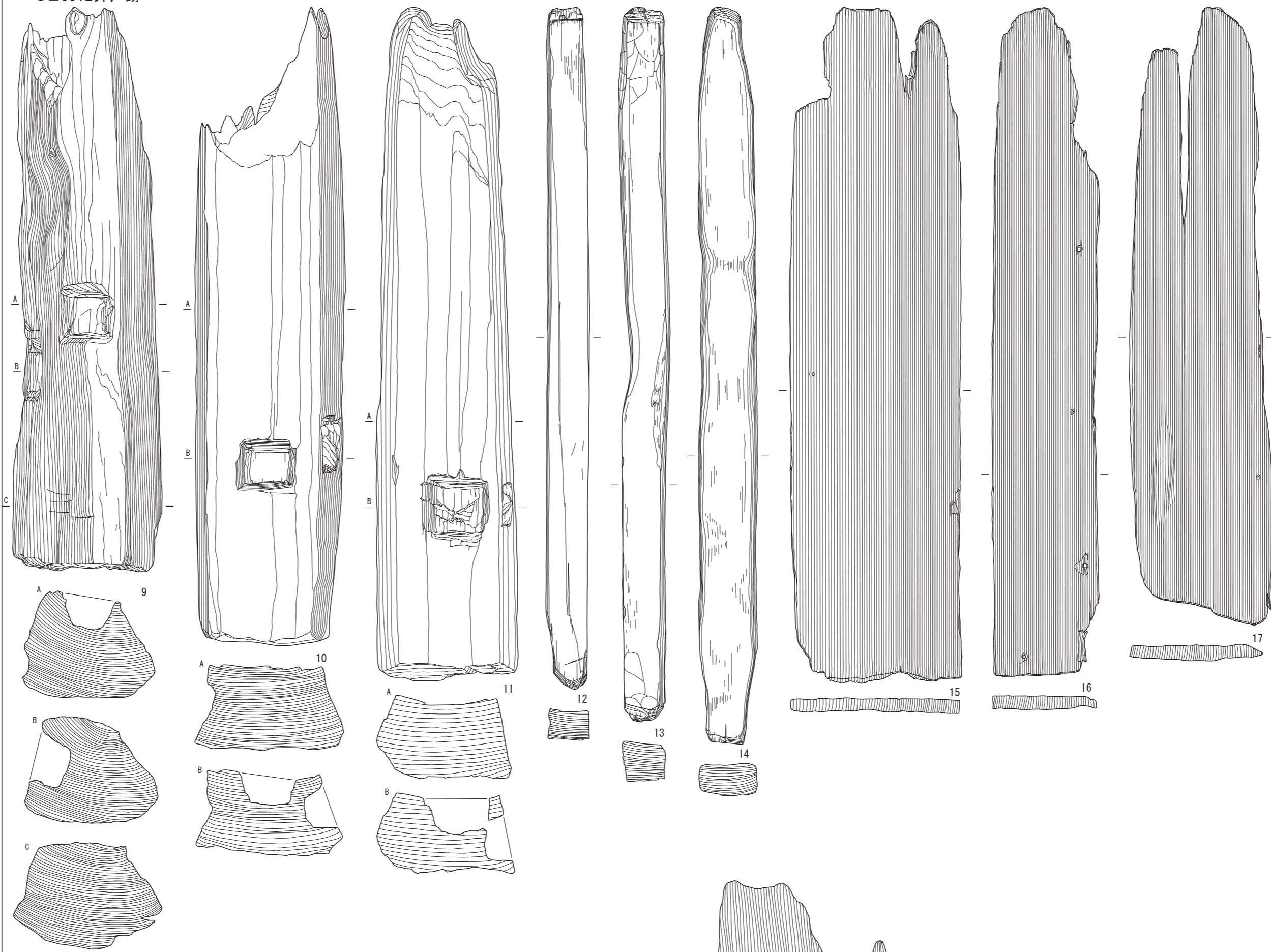
付図3 SB4043、SB4049、SB6138、SB6310、SB6313、SB6314掘立柱建物跡



SE6011井戸跡



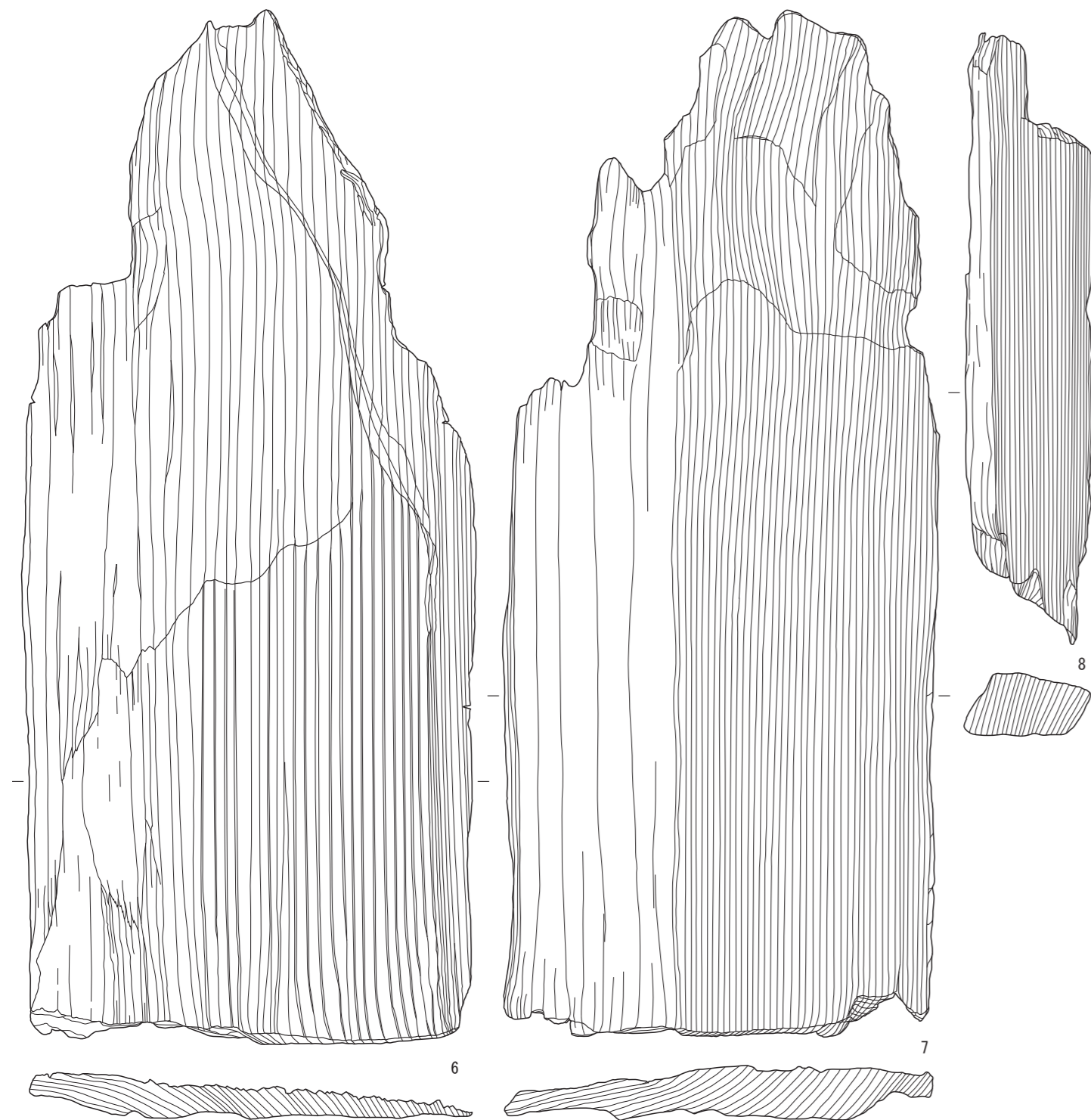
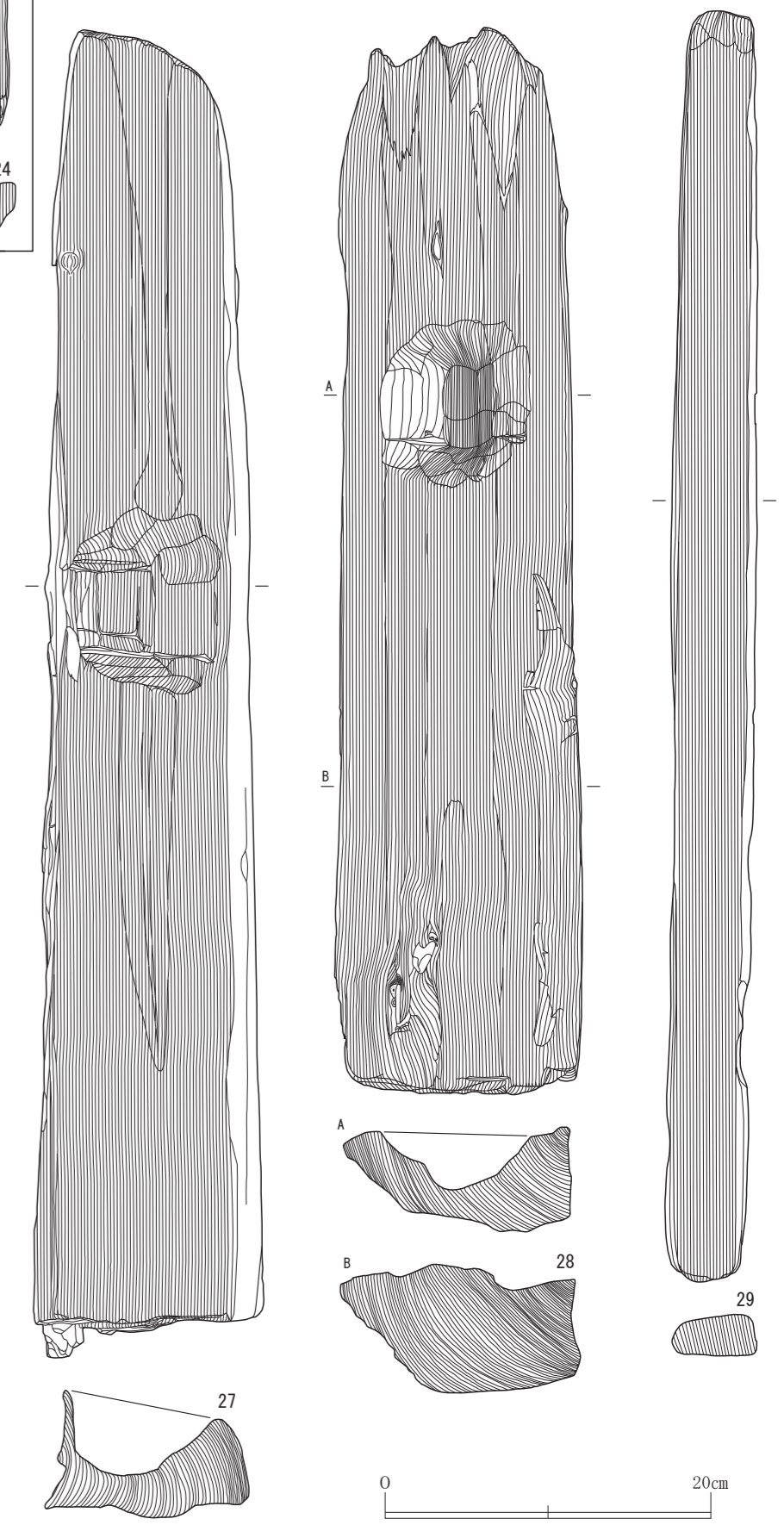
SE6012井戸跡



SE6051井戸跡

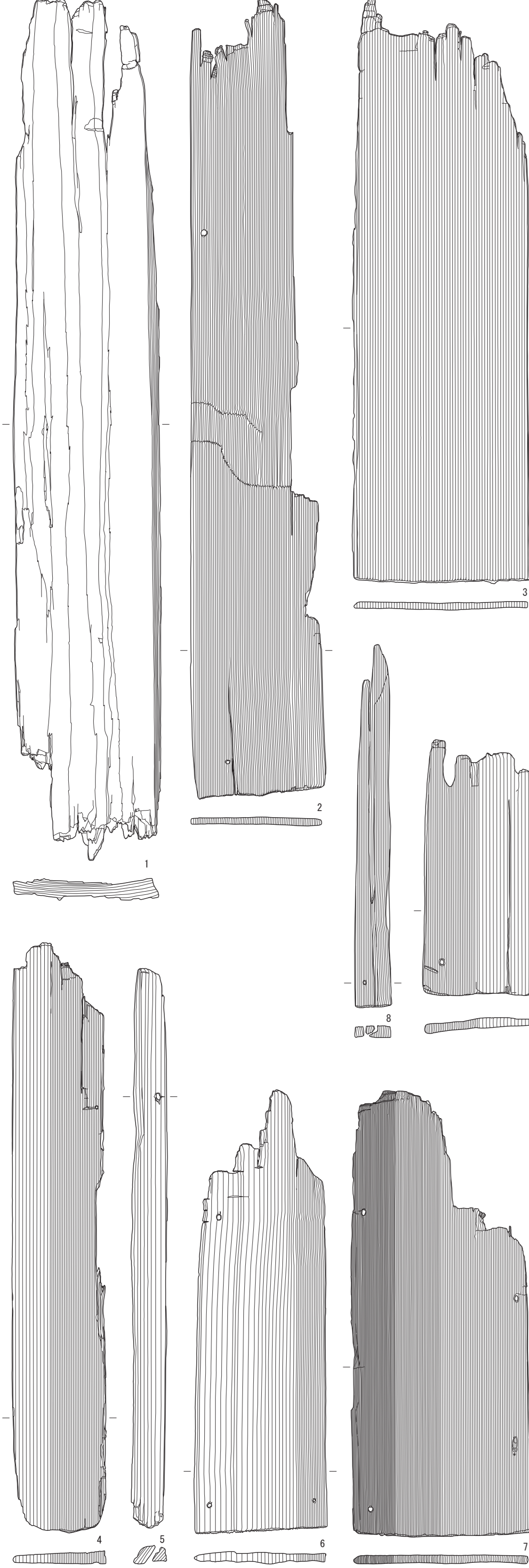


SE6057井戸跡

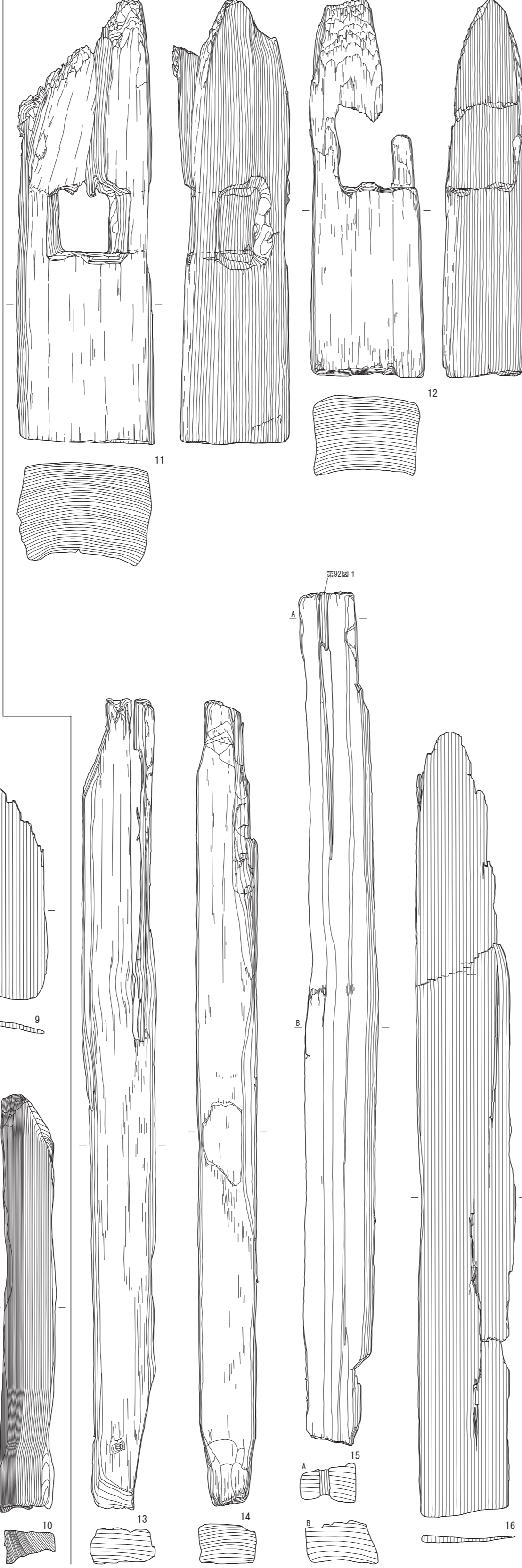


付図4 井戸跡出土木材(1)

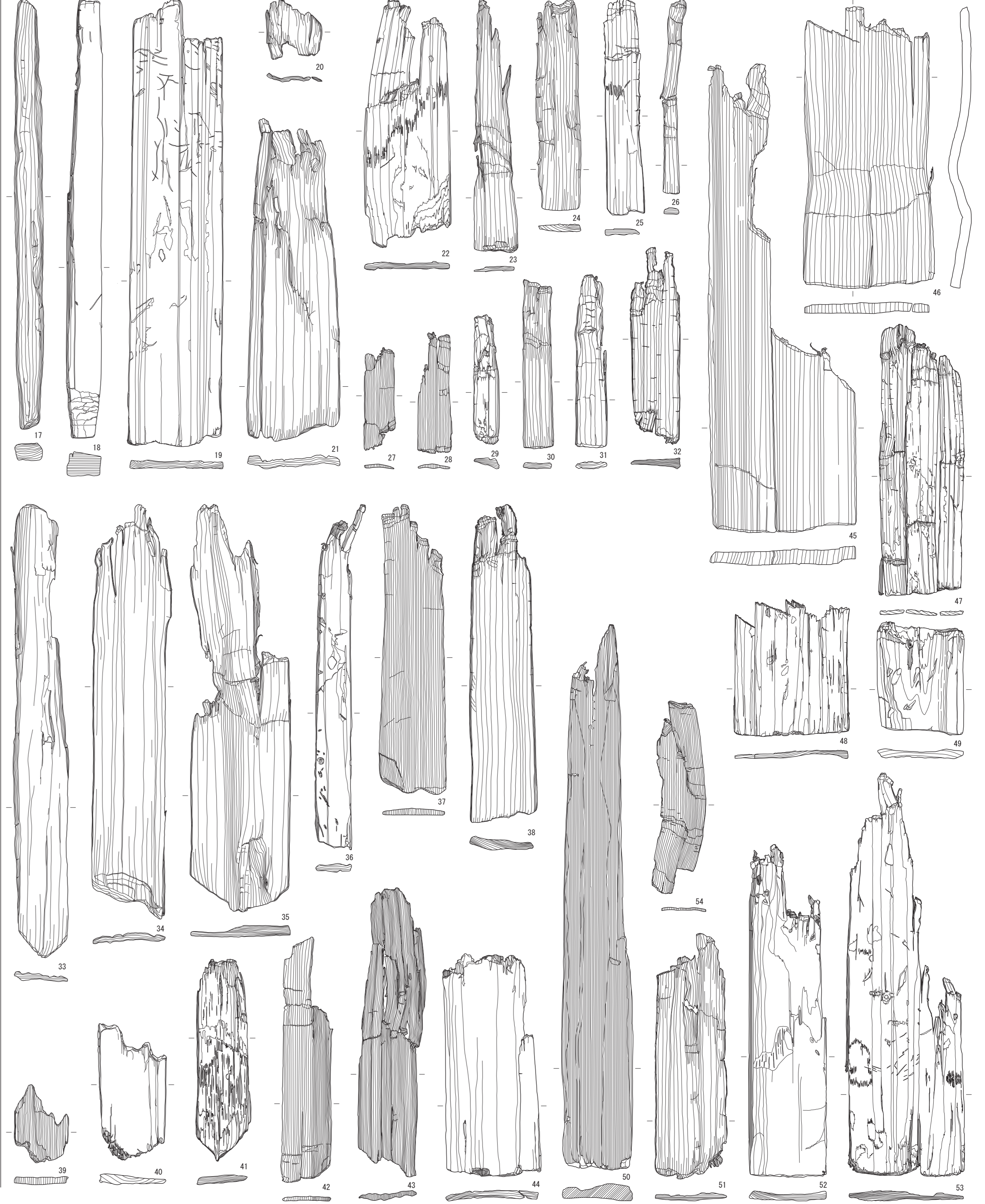
SE6057井戸跡



SE6099井戸跡



SE6139井戸跡



付図5 井戸跡出土木材(2)

0 20cm



付図6 井戸跡出土木材(3)